２０２３年度

# 講 義 要 項

## 保 育 学 科

西日本短期大学

保育学科　1年次開講科目

| 区分 | 授業科目 | 開講期 | ナンバリング | 担当者(●：実務家教員) | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎 | 健康・スポーツ科学Ⅰ | 前期 | 4-B1SE01 | 手嶋　孝司 | | | |
| 基礎 | 健康・スポーツ科学Ⅱ | 後期 | 4-B1FE02 | 手嶋　孝司 | | | |
| 基礎 | 心理学 | 前期 | 4-B1SR03 | ●冨永　明子 | | | |
| 基礎 | コンピュータ演習Ⅰ | 前期 | 4-B1SE04 | ●稲田　義邦 | | | |
| 基礎 | コンピュータ演習Ⅱ | 後期 | 4-B1FE05 | ●稲田　義邦 | | | |
| 基礎 | 総合演習Ⅰ | 前期 | 4-B1SR06 | ●冨永　明子 | 平山　隆浩 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 |
| | | | | 辻　優子 | 和田　紘平 | 髙丘　有季乃 | |
| 基礎 | 総合演習Ⅱ | 後期 | 4-B1FR07 | ●冨永　明子 | 平山　隆浩 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 |
| | | | | 辻　優子 | 和田　紘平 | 下稲　美里 | 髙丘　有季乃 |
| 基礎 | 茶道文化Ⅰ | 前期 | 4-B1SE08 | ●吉井　恵子 | | | |
| 基礎 | 茶道文化Ⅱ | 後期 | 4-B1FE09 | ●吉井　恵子 | | | |
| 専門 | 教育原理 | 前期 | 4-S1SE01 | ●溝上　敦子 | | | |
| 専門 | 保育原理 | 前期 | 4-S1SR02 | 前田　亜由美 | | | |
| 専門 | 保育者論 | 後期 | 4-S1FE03 | 下稲　美里 | | | |
| 専門 | 子ども家庭福祉 | 後期 | 4-S1FE04 | 辻　優子 | | | |
| 専門 | 社会的養護Ⅰ | 前期 | 4-S1SE05 | 永瀬　枯緑 | | | |
| 専門 | 社会福祉概論 | 前期 | 4-S1SE06 | 日下部　修 | | | |
| 専門 | 保育の心理学 | 前期 | 4-S1SE07 | ●冨永　明子 | | | |
| 専門 | 子ども理解と保育援助 | 後期 | 4-S1FE08 | 髙丘　有季乃 | | | |
| 専門 | 教育心理学 | 後期 | 4-S1FE09 | ●冨永　明子 | | | |
| 専門 | 特別支援教育総論 | 後期 | 4-S1FE10 | 辻　優子 | | | |
| 専門 | 子どもの保健 | 前期 | 4-S1SE11 | ●緒方　智美 | | | |
| 専門 | 子どもの健康と安全 | 後期 | 4-S1FE12 | ●緒方　智美 | | | |
| 専門 | 保育内容総論 | 前期 | 4-S1SE13 | 三吉　愛子 | | | |
| 専門 | 保育の計画と評価 | 後期 | 4-S1FE14 | 髙丘　有季乃 | | | |
| 専門 | 幼児と健康 | 後期 | 4-S1FE15 | 谷川　裕子 | | | |
| 専門 | 幼児と言葉 | 後期 | 4-S1FE16 | 下稲　美里 | | | |
| 専門 | 幼児と表現 | 後期 | 4-S1FE17 | 平山　隆浩 | 和田　紘平 | | |
| 専門 | 保育内容の理解と方法（ことば遊び） | 前期 | 4-S1SE18 | ●川﨑　徳子 | | | |
| 専門 | 保育内容の理解と方法（身体遊び） | 前期 | 4-S1SE19 | ●川内田　和則 | | | |
| 専門 | 保育内容の理解と方法（音遊び） | 前期 | 4-S1SE20 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 | | |
| 専門 | 保育内容の理解と方法（感覚遊び） | 前期 | 4-S1SE21 | 平山　隆浩 | | | |
| 専門 | 幼児教育方法論 | 後期 | 4-S1FE22 | ●溝上　敦子 | | | |
| 専門 | 乳児保育Ⅰ | 前期 | 4-S1SE23 | 城　真衣子 | | | |
| 専門 | 乳児保育Ⅱ | 後期 | 4-S1FE24 | 城　真衣子 | | | |
| 専門 | 子どもの遊び実践 | 前期 | 4-S1SE25 | 髙丘　有季乃 | | | |
| 専門 | 障害児保育Ⅰ | 前期 | 4-S1SR26 | 辻　優子 | | | |
| 専門 | 保育園芸 | 前期 | 4-S1SE27 | ●藤原　良治 | | | |
| 専門 | 子どものためのピアノ表現Ⅰ | 後期 | 4-S1FR28 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 | 加藤　みゆき | 小柳　厚子 |
| | | | | 巣山　千恵 | 小柳　厚子 | 横須賀　紋子 | |
| 専門 | 保育所実習Ⅰ | 後期 | 4-S1FE29 | 吉原　美南子 | | | |
| 専門 | 施設実習Ⅰ | 後期 | 4-S1FE30 | 吉原　美南子 | | | |
| 専門 | 保育実習指導ⅠA | 前期 | 4-S1SE31 | 吉原　美南子 | 辻　優子 | 髙丘　有季乃 | |
| 専門 | 保育実習指導ⅠB | 後期 | 4-S1FE32 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 | 下稲　美里 | |
| 専門 | 教育実習指導Ⅰ | 後期 | 4-S1FE33 | 平山　隆浩 | ●溝上　敦子 | 辻　優子 | |
| 専門 | 学外文化研修 | 後期 | 4-S1FE34 | ●冨永　明子 | | | |
| 専門 | 児童館・放課後児童クラブの機能と運営 | 後期 | 4-S1FE35 | 岩崎　由樹巳 | | | |
| 専門 | レクリエーション概論 | 後期 | 4-S1FE36 | ●原田　弘美 | | | |
| 専門 | レクリエーション実技Ⅰ | 後期 | 4-S1FE37 | ●原田　弘美 | | | |

保育学科　2年次開講科目

| 区分 | 授業科目 | 開講期 | ナンバリング | 担当者(●：実務家教員) | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎 | 日本国憲法 | 後期 | 4-B2FE01 | 村上　悠 | | | |
| 基礎 | 英語Ⅰ | 前期 | 4-B2SE02 | ●富永　真子 | | | |
| 基礎 | 英語Ⅱ | 後期 | 4-B2FE03 | ●富永　真子 | | | |
| 基礎 | 中国語Ⅰ | 前期 | 4-B2SE04 | ●菅原　尚子 | | | |
| 基礎 | 中国語Ⅱ | 後期 | 4-B2FE05 | ●菅原　尚子 | | | |
| 専門 | 幼児教育教師論 | 後期 | 4-S2FE06 | ●溝上　敦子 | | | |
| 専門 | 子ども家庭支援論 | 前期 | 4-S2SE07 | 辻　優子 | | | |
| 専門 | 子ども家庭支援の心理学 | 後期 | 4-S2FE08 | ●冨永　明子 | | | |
| 専門 | 相談援助 | 前期 | 4-S2SE09 | ●溝上　敦子 | | | |
| 専門 | 子どもの食と栄養Ⅰ | 前期 | 4-S2SE10 | 大仁田　あずさ | | | |
| 専門 | 子どもの食と栄養Ⅱ | 後期 | 4-S2FE11 | 大仁田　あずさ | | | |
| 専門 | 教育課程総論 | 前期 | 4-S2SE12 | 井上　和子 | | | |
| 専門 | 幼児と人間関係 | 前期 | 4-S2SE13 | ●冨永　明子 | | | |
| 専門 | 幼児と環境 | 前期 | 4-S2SE14 | 髙丘　有季乃 | | | |
| 専門 | 保育内容「健康」の指導法 | 前期 | 4-S2SE15 | 永山　寛 | | | |
| 専門 | 保育内容「人間関係」の指導法 | 後期 | 4-S2FE16 | 三吉　愛子 | | | |
| 専門 | 保育内容「環境」の指導法 | 後期 | 4-S2FE17 | 髙丘　有季乃 | | | |
| 専門 | 保育内容「言葉」の指導法 | 前期 | 4-S2SE18 | ●北野　哲也 | | | |
| 専門 | 保育内容「表現」の指導法 | 前期 | 4-S2SE19 | 平山　隆浩 | 吉原　美南子 | | |
| 専門 | 障害児保育Ⅱ | 前期 | 4-S2SE20 | 三吉　愛子 | | | |
| 専門 | 社会的養護Ⅱ | 後期 | 4-S2FE21 | 永瀬　枯緑 | | | |
| 専門 | 子育て支援 | 後期 | 4-S2FE22 | ●北野　哲也 | | | |
| 専門 | 子どものためのピアノ表現Ⅱ | 前期 | 4-S2SE23 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 | 加藤　みゆき | 小柳　厚子 |
| | | | | 巣山　千恵 | 小柳　厚子 | 横須賀　紋子 | |
| 専門 | 子どもと音楽表現 | 後期 | 4-S2FE24 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 | 加藤　みゆき | |
| | | | | 小柳　厚子 | | | |
| 専門 | 子どもと造形表現 | 前期 | 4-S2SE25 | 平山　隆浩 | | | |
| 専門 | 保育所実習Ⅱ | 前期 | 4-S2SE26 | 吉原　美南子 | | | |
| 専門 | 施設実習Ⅱ（施設・児童館） | 前期 | 4-S2SE27 | 吉原　美南子 | | | |
| 専門 | 保育実習指導Ⅱ(保育所) | 前期 | 4-S2SE28 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 | 髙丘　有季乃 | |
| 専門 | 保育実習指導Ⅲ(施設・児童館) | 前期 | 4-S2SE29 | 吉原　美南子 | 和田　紘平 | 髙丘　有季乃 | |
| 専門 | 教育実習指導Ⅱ | 通年 | 4-S2YE30 | 平山　隆浩 | ●溝上　敦子 | 辻　優子 | |
| 専門 | 教育実習 | 通年 | 4-S2YE31 | 平山　隆浩 | | | |
| 専門 | 保育・教職実践演習（幼稚園） | 後期 | 4-S2FE32 | 平山　隆浩 | ●溝上　敦子 | 辻　優子 | |
| 専門 | 卒業研究 | 通年 | 4-S2YR33 | ●冨永　明子 | 平山　隆浩 | 吉原　美南子 | 髙丘　有季乃 |
| | | | | 和田　紘平 | 髙丘　有季乃 | | |
| 専門 | 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ | 前期 | 4-S2SE34 | ●片本　仁 | | | |
| 専門 | レクリエーション実技Ⅱ | 前期 | 4-S2SE35 | ●原田　弘美 | | | |

＜ナンバリングについて＞

カリキュラムの体系性を示すため、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表したものです。

■学科コード　1 ビジネス法学科　2 緑地環境学科　3 社会福祉学科　4 保育学科
5 健康スポーツコミュニケーション学科　6 メディア・プロモーション学科

■科目区分　B 基礎科目　S 専門科目　P 実務科目　Q 資格科目

■開講期　1 一年次科目　2 二年次科目
S 前期科目　F 後期科目　Y 通年科目

■必修・選択　R 必修　E 選択

■科目ナンバー　二桁の数字

（例）「健康・スポーツ科学Ⅰ」の場合

| 学科コード | 科目区分 | 開講期 | 必修・選択 | 科目ナンバー |
|---|---|---|---|---|
| 4 | B | 1S | E | 01 |

# 1 年 前 期

《基礎科目》

| 科目名 | 健康・スポーツ科学Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 手嶋　孝司 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
大学において充実した生活を送り、さらには生涯にわたって豊かな人生を送るためには、心身の健全な育成と健康の増進が不可欠である。本講義では、心身の基礎的機能やその適応能力、多岐にわたるスポーツの役割などを理解し、健康的な生活習慣の獲得のために、運動の重要性やスポーツ実践の在り方について学ぶ。

**《授業の到達目標》**
1 日常生活における体育・スポーツや健康の重要性が説明できるようになる。
2 運動、栄養、休養などを柱とした望ましいライフスタイルを形成できる。
3 スポーツの在り方について理解し、積極的にスポーツに参画できるようになる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験70%
授業の取組30%

**《教科書》**
なし（適宜資料を配付する）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出された課題等については、返却の際に解説を行う。

**《成績評価基準》**
1 授業の内容を踏まえ、自身の考えで日常生活における体育・スポーツや健康の重要性が説明できる。
2 望ましいライフスタイルについて理解し、実践できる。
3 様々なスポーツへの関わり方を理解し、生涯にわたってスポーツに取り組む姿勢を身につける。

**《参考図書》**
「健康と運動の科学」九州大学健康科学センター（編）大修館書店

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | これまでどのように体育・スポーツに取り組んできたか考え、まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 2 | 健康やスポーツの歴史 | 健康やスポーツにまつわる法令などについて調べ、具体的にまとめる。（2時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 3 | 現代の生活における健康と運動・スポーツ | 健康に関する現代の生活の問題点をまとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 4 | 健康と生活習慣 | 健康な生活習慣の獲得の必要性とその方法について考え、まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 5 | 日常生活と健康・人生観と健康観 | 自身の健康観について考え、具体的にまとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 6 | 運動とからだの健康 | 運動とからだの健康に関する気になるニュースや記事、本などを調べ、まとめる<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 7 | 運動と心の健康 | 運動と心の健康に関する気になるニュースや記事、本などを調べ、まとめる<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 8 | 運動処方・行動変容ステージと変容技法 | 自身の運動実施状況や運動実施を阻害する要因についてまとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 9 | 運動・スポーツ実践の基礎知識 | 運動・スポーツを実施する際に気を付ける点や安全に関して調べ、まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 10 | スポーツ障害・応急処置 | スポーツによる障害や応急処置について調べ、まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 11 | 生涯にわたるスポーツ実践 | 「生涯スポーツ」等について調べ、まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 12 | アウトドアとスポーツ | 「アウトドアスポーツ」等について調べ、まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 13 | スポーツと社会の関わり① | オリンピックについて調べて。まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 14 | スポーツと社会の関わり② | スポーツボランティアについて調べて、まとめる（２時間）<br>今回の授業内容の復習(2時間) |
| 15 | まとめ | これまでの授業内容を復習する(2時間)<br>今回の授業内容の復習(2時間) |

《基礎科目》

| 科目名 | 心理学 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】
臨床心理士・公認心理士としての実務経験がある教員が授業を行う。幅広い心の世界をさまざまな角度から知る。毎回配布するプリントに基づいて講義を聴き学ぶ。さらに、各テーマについて自分自身の日常に引きつけながら理解していく。理論の学習のほか、体験的ワークや小グループでの意見交換を通して理解を深める。

**《授業の到達目標》**
1．心理学の基礎知識・理論について知り、心のはたらきについて理解する。
2．学んだ基礎理論や知識について、適切に説明できる。
3．日常生活で、自分や他者の思考・感情と行動のつながりがわかり、問題解決をめざすことができる。
4．学んだことを「保育の心理学」や「教育心理学」を理解するために応用できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%　レポート　10%
課題　%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**
適宜プリントを配布

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
レポートについては、必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

**《成績評価基準》**
学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解のもと説明ができるか。
また、授業に意欲をもって取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

**《参考図書》**
「心理学」無藤隆・森敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治著、有斐閣

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>心理学とは何か | 予習：「心理学」について関心のあることについて情報を集める（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 2 | 感覚・知覚 | 予習：専門書等で感覚や知覚についての基礎知識を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 3 | 記憶 | 予習：記憶のメカニズムに関する用語を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 4 | 欲求と行動 | 予習：人間の欲求に関する基礎知識を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 5 | 感情と情動 | 予習：感情についての基礎知識を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 6 | 性格①　性格のなりたち | 予習：性格に関する理論について調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 7 | 性格②　性格について知る方法 | 予習：性格検査について基礎知識を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 8 | 無意識と深層の心理 | 予習：「精神分析」や「分析的心理学」について調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 9 | 深層の心理を知る方法 | 予習：投影法検査に関する基礎知識を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 10 | 集団と社会行動 | 予習：社会心理学の理論について調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 11 | こころの問題①　こころの問題とは | 予習：「臨床心理学」の基礎知識を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 12 | こころの問題②　問題に対処するには | 予習：心理療法について調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 13 | 援助の心理と行動 | 予習：対人援助の基礎知識を調べておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 14 | 心理学を生き方に活用する | 予習：学んだ心理学の知識を生活の中でどう活かすかを考察する（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |
| 15 | 授業のまとめ | 予習：授業内容をふり返り、質問を考えておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理し、プリントにまとめる（2時間） |

《基礎科目》

| 科目名 | コンピュータ演習Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 稲田　義邦 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
保育者として必要な情報モラル及び情報セキュリティについて学び、園の運営に必要な文書や計算等をWordやExcel等を使って作成することができるようになる。そして、保育の計画や記録などの文書管理や一般的な事務処理を効率的に行うことができるようになることで、保育の質の向上を目指す。

**《授業の到達目標》**
・保育者として必要な情報モラル及び情報セキュリティについて、述べることができる。
・園の運営に必要な文書をWordで作成することができる。
・園の運営に必要な計算等をExcelで作成することができる。

**《成績評価の方法》**
課題　90%
授業の取組　10%

**《教科書》**
「情報リテラシー」（株）富士通ラーニングメディア　FOM出版

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
課題についてはデータ提出を行い、２週間以内にコメントを返却。

**《成績評価基準》**
・保育者として必要な情報モラル及び情報セキュリティについて、述べることができたか。
・園の運営に必要な文書をWordで作成することができたか。
・園の運営に必要な計算等をExcelで作成することができたか。

**《参考図書》**
なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ガイダンス | 予習：コンピュータの基本操作について教科書を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：コンピュータの基本操作についてノートにまとめる。(30分) |
| 2 | 情報モラル | 予習：教科書M1-M8を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書M1-M8での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 3 | 個人情報の適切な取り扱い | 予習：教科書M9-M18を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書M19-M28での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 4 | ネット社会に潜む危機と対策 | 予習：教科書M29-M42を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書M43-M48での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 5 | Wordの特徴と基本的文書作成 | 予習：Wordの基本操作について、教科書を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：Wordの基本操作について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 6 | Wordによる案内文書作成 | 予習：Wordの書式設定について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：Wordのフォント設定について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 7 | Wordによる図を挿入した文書作成 | 予習：図の挿入方法について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：図の挿入方法と配置について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 8 | Wordによる表を挿入した文書作成 | 予習：表の作成方法について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：表の挿入方法と配置について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 9 | Wordによる指導案作成1 | 予習：指導案の内容について検討しておくこと。(30分)<br>復習：指導案の形式について検討しノートにまとめる。(30分) |
| 10 | Wordによる指導案作成2 | 予習：指導案の内容と形式について検討しておくこと。(30分)<br>復習：指導案の内容と形式について検討しノートにまとめる。(30分) |
| 11 | Excelによる基本的な表作成 | 予習：Excelの基本操作について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：Excelの基本操作について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 12 | Excelによる関数利用 | 予習：Excelの関数の種類について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：Excelの関数利用について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 13 | Excelによるグラフ作成 | 予習：Excelのグラフの種類について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：Excelのグラフ利用について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 14 | Excelによるデータベース作成 | 予習：Excelのデータベース作成について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：Excelのデータベース活用について気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 15 | Word及びExcelによる課題作成・提出 | 予習：Word&Excelの課題について検討しておくこと。(30分)<br>復習：Word&Excelの課題について反省をノートにまとめる。(30分) |

《基礎科目》

| 科目名 | 総合演習Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子、平山　隆浩、吉原　美南子、溝上　敦子、辻　優子、和田　紘平、下稲　美里、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。<br>◯　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【卒業必修】大学生活の重要な基礎である学習力と、社会人となるための基本的認識や行動を身につけるために、テーマごとの講義、レポート作成、ワーク、ボランティア等の活動を行う。また、保育者を目指す上で必要なマナーの基礎講習を毎回行うとともに、2年次の就職活動に向けての進路指導を行う。専任教員によるクラス単位および個別の指導を通して、学習と学生生活の全般についてサポートする。

**《授業の到達目標》**

●建学の精神を理解し、「感謝の心」「謙虚な心」「和の心」を意識して行動することができる。
●大学生としての学習基礎スキルを身につける。
●社会人基礎力とはなにか具体的に説明することができる。
●社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。

**《成績評価の方法》**

課題　60%
授業の取組　40%

**《教科書》**

「これだけは知っておきたい
わかる・話せる・使える保育のマナーと言葉」
長島和代　編　わかば社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

・提出レポートは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。
・ポートフォリオは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。

**《成績評価基準》**

●建学の精神を理解し、「感謝の心」「謙虚な心」「和の心」を意識して行動することができるようになったか。
●大学生としての学習基礎スキルを身につけることができたか
●社会人基礎力とはなにか具体的に説明することができたか。
●社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができたか。

**《参考図書》**

随時配布

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 学科方針・履修指導・<br>前期自己課題の設定 | ◯予習内容(30分)　学生便覧に目を通しておく<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 2 | 身だしなみチェック<br>社会人基礎力① | ◯予習内容(30分)　事前配布資料等を参考に予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 3 | 学生生活の心得チェック | ◯予習内容(30分)　学生調査票内容を下書きする<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 4 | 社会人基礎力②電話等<br>ボランティアの意義方法 | ◯予習内容(30分)　指定された教科書のページをもとに予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 5 | 社会人基礎力③スーツの<br>着こなし・メイク等 | ◯予習内容(30分)　指定された教科書のページをもとに予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 6 | 個別面談・学校行事の企<br>画案を考える① | ◯予習内容(30分)　事前配布資料等を参考に予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 7 | 個別面談・学校行事の企<br>画案を考える② | ◯予習内容(30分)　自己課題について考える<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 8 | 個別面談・学校行事の企<br>画案を考える③ | ◯予習内容(30分)　オープンキャンパスについて企画案を考える<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 9 | メンタルヘルス講習会<br>（全学科合同） | ◯予習内容(30分)　自己課題について考える<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 10 | 進路ガイダンス・就職模<br>擬試験（全学科合同） | ◯予習内容(30分)　模擬試験に向けて予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 11 | 学校行事への取組<br>学外文化研修について | ◯予習内容(30分)　事前配布資料等を参考に予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 12 | クラスレクリエーション<br>（クラス別） | ◯予習内容(30分)　レクリエーションの意義について調べる<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 13 | 保育者としての心得 | ◯予習内容(30分)　指定された教科書のページをもとに予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 14 | 前期試験の諸注意・オー<br>プンキャンパス指導ほか | ◯予習内容(30分)　学生便覧の該当箇所を読む<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 15 | 社会人基礎力習熟度チェ<br>ック・夏休み直前指導 | ◯予習内容(30分)　これまでの授業内容をポートフォリオにまとめる<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |

《基礎科目》

| 科目名 | 茶道文化Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉井　恵子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】茶道は日常生活から掛け離れたものではありません。相手を思いやり、心を配り、おもてなしをするのが茶道の精神です。
風炉薄茶点前、和室での作法・立ち居振る舞いなど実技をしながら、「一服の茶を点て客をもてなす」ことを通して、茶道の精神を学び、和室での作法などを身につけていきます。

**《授業の到達目標》**
・和室での作法、挨拶ができるようになる。
・風炉の薄茶の点前がひと通りできるようになる。
・感謝の気持ちを持ち、相手を思いやり、心配りができるようになる。

**《成績評価の方法》**
実技　６０％
授業の取組　４０％

**《教科書》**
必要に応じてプリント配布

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業中に講評します

**《成績評価基準》**
・和室での作法の習得度
・風炉薄茶点前の習得度
・感謝の気持ちを持ち、相手を思いやり、心配りができているか
・日頃の授業態度

**《参考図書》**
「茶の湯表千家」他
適宜紹介します

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>和室での作法・挨拶 | 予習：シラバスを読むこと（３０分）<br>復習：和室での作法・挨拶を繰り返し練習すること（３０分） |
| 2 | 風炉薄茶点前を見る<br>茶の湯の道具・客の作法 | 予習：プリントを熟読すること（３０分）<br>復習：客の作法を繰り返し練習すること（３０分） |
| 3 | 割けいこ（帛紗さばき等）・茶の歴史 | 予習：プリントを熟読すること（３０分）<br>復習：割けいこを繰り返し練習すること（３０分） |
| 4 | 割けいこ（茶筅通し等）<br>呈茶の作法 | 予習：割けいこを繰り返し練習すること（３０分）<br>復習：割けいこを繰り返し練習すること（３０分） |
| 5 | 割けいこ<br>おもてなしについて | 予習：割けいこを繰り返し練習すること（３０分）<br>復習：割けいこを繰り返し練習すること（３０分） |
| 6 | 風炉薄茶点前（前半） | 予習：割けいこを繰り返し練習すること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 7 | 風炉薄茶点前（前半） | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 8 | 風炉薄茶点前（前半） | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 9 | 風炉薄茶点前（前半） | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 10 | 風炉薄茶点前（全） | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 11 | 風炉薄茶点前（全） | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 12 | 風炉薄茶点前（全）<br>炭について | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 13 | 風炉薄茶点前（全）<br>拝見の仕方 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 14 | 風炉薄茶点前（全） | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 15 | 総括<br>茶会形式にて | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：家族に美味しいお茶を点ててください（３０分） |

《専門科目》

| 科目名 | 教育原理 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 溝上　敦子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
「教育とは何か」「人間の成長とは何か」という基礎的基本的な問題を、哲学、思想、歴史的側面から理解する。また、社会における幼児教育機関での教育の営み、教育課程、教育制度、教育政策、諸法規などの内容を理解し、教育の在り方について自分で考える力を身に付ける。授業では、ワークシートや具体物の活用、グループ協議などを通して実践的な基礎力を培う。

**《授業の到達目標》**
１．教育の意義、教育の目的、教育と保育について理解し、教育の思想と歴史的変遷等、教育の基礎的事項を整理し、一般化して説明できる。
２．教育制度、教育政策、諸法規、教育課程、多様な教育実践の取組、経営的実践、評価等について整理して説明できる。
３．幼保小の連携や安全教育の必要性、また、乳幼児期の教育・保育の現状と課題について考察し表現できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　60%
課題　20%
授業の取組　20%

**《教科書》**
坂越正樹 他『乳幼児 教育・保育シリーズ 教育原理』』光生館、2020年

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出したレポートについては、2週間以内に評価し返却する。
筆記試験については、総括・まとめの時間で解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
１．教育の意義や目的、教育と保育、教育の思想と歴史的変遷等、教育の基礎的事項を理解し、整理して説明できたか。
２．教育制度、教育政策、諸法規、教育課程、多様な教育実践の取組、経営的実践、評価等について整理して説明できたか。
３．幼保小の連携や安全教育の必要性、また、乳幼児期の教育・保育の現状と課題について考察し表現できたか。

**《参考図書》**
『幼稚園教育要領解説』フレーベル館（2018）、『保育所保育指針解説』フレーベル館（2018）、福元真由美編 『はじめての子ども教育原理』有斐閣（2017）

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／教育の意義について | 教科書pp.１～５に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 2 | 教育・保育の目的 | 教科書pp.５～16に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 3 | 教育と福祉/人間形成と家庭・地域社会との関連 | 教科書pp.17～29に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 4 | 乳幼児期の教育と発達の特性/生涯学習の意義 | 教科書pp.45～62に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 5 | 教育制度の基本と日本の教育体系 | 教科書pp.63～79に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 6 | 諸外国の教育思想と子ども観 | 教科書pp.80～84に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 7 | 近代学校教育の成立と展開 | 教科書pp.80～84に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 8 | 日本における近代教育制度の創設 | 教科書pp.84～97に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 9 | 日本における幼児教育の変遷 | 教科書pp.98～115に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 10 | 幼稚園と保育所等における保育内容の変遷 | 教科書pp.117～135に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 11 | 教育の実践ー教育の目的と内容 | 教科書pp.136～155に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 12 | 特別支援教育 | 教科書pp.156～170に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 13 | 地域社会と学校 | 教科書pp.171～186に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 14 | 現代日本の教育の現状と課題について | 教科書pp.187～205に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 15 | 総括・まとめ | 前週に説明した重点内容に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（振り返り）。２時間 |

《専門科目》

| 科目名 | 保育原理 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 前田　亜由美 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】保育の基本（保育の意義、目的、内容、方法・形態等）や歴史、法律制度について知識を習得する。また、保育現場の事例をもとに、その背景にある子どもの心情や姿、保育者の援助や配慮の意図等を読み解く。加えて、子どもを取り巻く環境の変化や保育の現状についての調査データ等を用いて、保育の課題について解釈する。

**《授業の到達目標》**
1.保育の基本(保育の意義、目的、内容、方法・形態等)を理解し、説明することができる。 2.保育に関わる法律・制度を理解し、実践における社会的根拠を説明できる。 3.子ども理解の本質と保育場面の事例を関連づけて、子どもの心情や保育者の援助、配慮について解釈することができる。 4.子どもを取り巻く環境の変化を捉え、現代の保育における課題についての解決策を推論することができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　60%　レポート　%
課題　25%　実技　0%
授業の取組　15%
その他（　　）　0%

**《教科書》**
『アクティベート保育学01 保育原理』（2019年）汐見稔幸・大豆生田啓友（監修）ミネルバ書房

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業後に感想を記入して頂き、次回の授業内でフィードバックする。質問があった場合は、次回の授業内で解説を行う。
試験後、フィードバックとして解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
授業に意欲的に参加できるか。
本授業で学んだことを理解し、説明することができ、授業の到達目標が達成できているか。
保育に関わる法律・制度を理解しているか。

**《参考図書》**
『保育所保育指針』（2017年）厚生労働省
『幼稚園教育要領』（2017年）文部科学省
その他は、授業内で適宜紹介する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション ～保育とは？ | ■予習内容　教科書に目を通す（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 2 | 保育を原理的に考える | ■予習内容　教科書pp.3-21を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 3 | 保育の歴史に学ぶ1 | ■予習内容　教科書pp.153-174を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 4 | 保育の歴史に学ぶ2 | ■予習内容　教科書pp.153-174を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 5 | 保育と子ども理解 | ■予習内容　教科書pp.23-39を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 6 | 保育の内容と方法 | ■予習内容　教科書pp.65-77を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 7 | 保育の計画と評価 | ■予習内容　教科書pp.79-93を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 8 | 保育者の専門性と資質向上 | ■予習内容　教科書pp.137-150を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 9 | 保育に関わる法律と制度 | ■予習内容　教科書pp.209-224を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 10 | 保育と子育て支援 | ■予習内容　教科書pp.95-114を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 11 | 健康・安全と保育 | ■予習内容　教科書pp.115-135を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 12 | 多様な子ども理解と保育 | ■予習内容　教科書pp.176-193を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 13 | 学校や地域の連携のなかで行う保育 | ■予習内容　教科書pp.195-207を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 14 | これからの保育の課題と展望 | ■予習内容　教科書pp.225-240を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 15 | まとめ | ■予習内容　第1～14回授業の資料等を振り返り、整理する（1時間）<br>□復習内容　第1～15回授業の資料等を振り返り、整理する（1時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 社会的養護Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 永瀬　枯緑 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化してきており、虐待や障がい等、様々な課題を抱える家庭が増えている。授業では社会的養護の概念や理念を学びつつ、子どもの人権擁護の意義について理解を深める。また、保育士としての基本的な資質・能力の向上を図り、実践力の基盤をつくる。

**《授業の到達目標》**

・社会的養護を受ける児童の実態や家庭の状況などを学び、支援の方法や保育者としての責務、役割を説明することができる。
・子どもの権利擁護について説明することができる。
・社会的養護の概念や制度と実施体系について説明することができる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　75%
授業の取組　25%

**《教科書》**

「社会的養護Ⅰ」監修　公益財団法人　児童育成協会　編集　相沢仁　林浩康　中央法規　2021

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

授業の最初に、前講の重要事項の復習を解説する。また、classroomに毎時間の講義内容をアップすることで、復習に活用できるようにする。

**《成績評価基準》**

・社会的養護を受ける児童の実態や家庭の状況などを学び、支援の方法や保育者としての責務、役割を説明できるようになったか。
・子どもの権利擁護について説明できるようになったか。
・社会的養護の制度と実施体系について説明できるようになったか。

**《参考図書》**

なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 社会的養護の理念と概念 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 2 | 社会的養護の歴史的変遷 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 3 | 子どもの人権擁護と社会的養護 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 4 | 社会的養護の基本原則 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 5 | 社会的養護における保育士等の倫理と責務 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 6 | 社会的養護の制度と法体系 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 7 | 社会的養護のしくみと実施体系 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 8 | 社会的養護のファミリーソーシャルワーク | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 9 | 社会的養護の対象と支援のあり方 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 10 | 家庭養護と施設養護 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 11 | 社会的養護にかかわる専門職 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 12 | 社会的養護に関する社会的状況 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 13 | 施設等の運営管理の現状と課題 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 14 | 被措置児童等の虐待防止の現状と課題 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 15 | 社会的養護と地域福祉の現状と課題 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 社会福祉概論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 日下部　修 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
社会福祉の歴史的変遷を通してその意味や理念を理解します。次いで、現代日本の社会福祉の制度と実施体系を理解します。さらに社会福祉と児童家庭福祉の関係と児童と家庭をめぐる諸問題の関連を理解し、保育士としてとるべき姿勢や援助方法について説明できるようになります。こうして保育士として必要な社会福祉に関する基本的知識を修得します。

**《授業の到達目標》**
①現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における児童家庭福祉の視点について説明できる。
②社会福祉制度や実施体系について主要なものを列挙できる。
③社会福祉における相談援助の要点を説明できる。
④社会福祉サービスの利用者保護の仕組みを説明できる。
⑤社会福祉の動向と課題について説明できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験 90%
授業の取組 10%

**《教科書》**
・志濃原亜美：編『みらい×子どもの福祉ブックス　社会福祉』　みらい　2020年
（授業では、プリントを配布します。）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験後に講評あるいは解説の時間を設けます。

**《成績評価基準》**
筆記試験で、到達目標の①～⑤について問われたときに回答することができる。
授業中の居眠りや私語、携帯電話・スマートフォンの使用は認めない。これを順守出来ないと認めた場合は、授業の取組で減点する可能性がある。

**《参考図書》**
適宜紹介する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション、社会福祉を学ぶ意味 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 2 | 社会福祉の理念と概念 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 3 | 社会福祉の歴史（イギリスを中心に） | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 4 | 社会福祉の歴史（日本を中心に） | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 5 | 子どもに関わる社会問題と権利擁護 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 6 | 子ども家庭福祉の基本理念と福祉制度 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 7 | 高齢者福祉の基本理念と福祉制度 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 8 | 障がい者福祉の基本理念と福祉制度 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 9 | 地域福祉の基本理念と福祉制度 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 10 | 社会福祉関連法及び関連機関 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 11 | 社会福祉の財政 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 12 | 社会福祉の専門職に求められる資質と役割 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 13 | 相談援助の方法と技術 | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 14 | 会福祉における利用者保護の仕組み | 予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分) |
| 15 | 車いす被介助者と介助者の体験 | 予習：図書室の文献やネットなど車いすのパーツの名称をみておくこと。(30分)<br>復習：体験したことについて感じたことなどをまとめておくこと。(30分) |

《専門科目》

| 科目名 | 保育の心理学 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】臨床心理士・公認心理士としての実務経験がある教員が授業を行う。乳幼児期の発達と心理的特徴についての基礎知識と理論を、テキストに沿って講義と視聴覚教材により学ぶ。各回のテーマについて、保育現場の具体的な場面における状況を用いて知識を応用できるよう考察し、ミニレポートにまとめる。さらに、小グループで意見交換を行い、より理解を深める。

**《授業の到達目標》**
1．乳幼児の発達の特徴について基本的事項を説明できる。
2．乳幼児期の心理に関する重要な理論や用語と、発達を促す視点について説明できる。
3．具体的な事例について、保育者の適切な対応を想定することができる。
4．学んだ知識と視点をもとに、保育現場での実践において、乳幼児の発達を促すための関わりを想定できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%　レポート　10%
課題　%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**
「保育の心理学～実践につなげる、子どもの発達理解」井戸ゆかり編著、萌文書林

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

**《成績評価基準》**
学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解、説明ができるか。
また、授業に意欲を持って取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

**《参考図書》**
「子どもとかかわる人のための心理学」沼山博・三浦主博編著、萌文書林

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／発達を理解する意義 | 予習：教科書の「はじめに」～ｐ3を読み、授業の流れを把握しておく（2時間）<br>復習：教科書を読み、プリントをまとめて授業内容を整理する（2時間） |
| 2 | 子どもの発達と環境 | 予習：教科書ｐ4～12を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 3 | 発達理論～生涯発達の視点から | 予習：教科書ｐ13～21を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 4 | 子ども観と保育観 | 予習：教科書ｐ21～34を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 5 | 情緒の発達と自我 | 予習：教科書ｐ35～50を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 6 | 自己主張と自己抑制 | 予習：教科書ｐ51～58を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 7 | 愛着の形成 | 予習：教科書ｐ59～66を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 8 | 社会的相互作用 | 予習：教科書ｐ67～76を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 9 | 身体の発育と運動機能の発達 | 予習：教科書ｐ77～89を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 10 | 知覚と認知の発達 | 予習：教科書ｐ91～102を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 11 | ことばの発達と社会性 | 予習：教科書ｐ103～112を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 12 | 基本的生活習慣の獲得と発達 | 予習：教科書ｐ113～123を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 13 | 子どもの遊びと学び | 予習：教科書ｐ137～144を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 14 | 乳幼児期の学びを支える保育 | 予習：教科書ｐ145～158を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 15 | 幼児期後の人生を見据えた保育／まとめ | 予習：教科書ｐ160～182を読む。授業全体をふり返り、質問を考えておく（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 子どもの保健 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 緒方　智美 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】子どもの保健は健康を守るだけでなく、健康を増進する積極的な活動でなければならない。変化する社会の中で子どもと家族の置かれている現状を理解し、子どもの健康を保持・増進させることを目的とした保健活動について学ぶ。また、発育・発達の途中にある子どもの特性を理解し、子どもの保健・母子保健の意義、母子保健行政の役割について学び、子どもの健康に関し保育の中で支援できる知識を身につける。

**《授業の到達目標》**
１.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。
２.子どもの身体的な発育・発達と保健について理解できる。
３.子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解できる。
４.子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での 適切な対応について理解できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　60%
課題　30%
授業の取組　10%
欠席　－2点　　遅刻－1点

**《教科書》**
「子どもの保健テキスト」改定第２版　小林美由紀編著　森脇浩一編集協力（診断と治療社）
その他、必要時、資料を配布する。

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業で提出した課題については、すべて個別に返却します。
質問は随時受け付けし、質問のうち、全体に周知したほうがよい内容については、授業内で全体にフィードバックします。その際、質問した個人が特定されないよう十分配慮します。

**《成績評価基準》**
科目修了試験(60%)、課題レポート(30%)、受講態度(10%)
筆記試験は講義出席2/3以上を受験資格とする。
講義の内容について課題レポート・ミニテストを課すことがある。

**《参考図書》**
「環境構成の理論と実践　保育の専門性に基づいて」　高山静子書　（エイデル研究所）

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ガイダンス<br>子どもの健康と保健 | 予習　教科書ｐ1～13の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 2 | 子どもの出生<br>現代社会の現状と課題 | 予習　教科書ｐ14～29の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 3 | 身体発育と運動機能の発達 | 予習　教科書ｐ30～43の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 4 | 生理機能の発達と生活習慣 | 予習　教科書ｐ44～52の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 5 | 子どもの発達と環境構成 | 予習　教科書ｐ30～52の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 6 | 地域における保健活動と子どもの虐待防止 | 予習　教科書ｐ53～61の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 7 | 子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握 | 予習　教科書ｐ62～66の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 8 | 免疫の発達と感染症の予防及び適切な対応 | 予習　教科書ｐ67～83の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 9 | 子どもの救急疾患の特徴と適切な対応 | 予習　教科書ｐ84～93の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 10 | 新生児の病気、先天性の病気の特徴と対応 | 予習　教科書ｐ94～100の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 11 | アレルギー疾患の特徴と適切な対応 | 予習　教科書ｐ101～108の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 12 | 慢性疾患の特徴と適切な対応 | 予習　教科書ｐ109～121の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 13 | 保護者との情報共有と家族の支援 | 予習　教科書ｐ122～131の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 14 | 子どもの健康診断と関連機関との連携 | 予習　教科書ｐ132～141の熟読（2時間）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（2時間） |
| 15 | まとめ | 教科書・配布資料よりすべてを復習しておくこと |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容総論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 三吉　愛子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】

保育の基本的な考えや専門的知識を身につけ、総合的な保育の指導や援助、配慮を意識しながら保育現場の事例や保育に関する映像を読み解く。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の構造を捉え、子どもの成長・発達の道筋を理解し、ねらいに基づいた具体的な内容やそれにかかわる環境構成・援助方法を考える。

**《授業の到達目標》**

1.保育内容を保育内容総論として学ぶ意義について理解し、保育実践に応用できるようになる。2.保育内容の歴史的変遷を学び、現代の保育内容について説明することができる。 3.保育事例から子どもの発達や生活の様子、現代社会における子どもを取り巻く環境、遊びを保育現場の実態と関係づけて解釈することができる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　50%　レポート　%
課題　20%　実技　0%
授業の取組　30%
その他（　　）　0%

**《教科書》**

『保育内容総論』（2020年）神長美津子・津金美智子・田代幸代（編著）光生館

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

毎回の授業終了時にリアクションペーパーを記入し、次回の授業内でフィードバックする。質問等があった場合は、次回の授業内で解説を行う。

**《成績評価基準》**

授業に意欲的に参加できるか。
本授業で学んだことを理解し、説明することができ、授業の到達目標が達成できているか。
保育事例を保育現場の実態と関連付けて解釈できているか。

**《参考図書》**

『演習保育事例満載！保育内容総論 あなたならどうしますか？』（2021年）酒井幸子・守巧（編著）萌文書林

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>保育の基本と保育内容 | ■予習内容　教科書 第１部 第１章を読んでくる（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 2 | 成熟社会のなかでの子どもと保育・教育 | ■予習内容　教科書 第１部 第２章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 3 | 教育要領、保育指針における保育内容の考え方 | ■予習内容　教科書 第１部 第３章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 4 | 遊びを通した総合的な指導 | ■予習内容　教科書 第１部 第４章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 5 | 幼児期の教育と小学校教育の接続 | ■予習内容　教科書 第１部 第５章を読み疑問点をまとめておく(30分)<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 6 | 保育内容の変遷 | ■予習内容　教科書 第１部 第６章を読み疑問点をまとめておく(30分)<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 7 | 子ども理解に基づく保育の展開 | ■予習内容　教科書 第２部 第７章を読み疑問点をまとめておく(30分)<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 8 | 保育の計画の考え方 | ■予習内容　教科書 第２部 第８章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 9 | 指導計画作成の考え方と作成の実際 | ■予習内容　教科書 第２部 第９章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 10 | 指導計画の評価・改善と保育者の役割 | ■予習内容　教科書 第２部 第１０章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 11 | 園行事の考え方と指導 | ■予習内容　教科書 第２部 第１１章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 12 | 物や人との関わりを深める環境の構成と教材研究 | ■予習内容　教科書 第３部 第１２章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 13 | 保育記録を書くことの意義と実際 | ■予習内容　教科書 第３部 第１３章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 14 | 障がいのある子どもの指導 | ■予習内容　教科書 第３部 第１４章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 15 | 保育内容の現状と課題・まとめ | ■予習内容　教科書 第３部 第１５・１６章を読み疑問点をまとめておく（30分）<br>□復習内容　第1～15回授業の資料等を振り返り、整理する（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容の理解と方法（ことば遊び） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 川﨑　徳子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
〇子どもの生活と遊びにおける他者との関係や集団の中での育ちの理解と援助に関わる知識や技術を学ぶ。
〇子どもの生活や遊びにおいて、イメージを豊かにし感性を養うための環境構成と保育の展開に必要な知識や技術を学ぶ。
〇子どもの生活や遊びにおける様々な遊具や用具、資材や教材等の特性の理解とその作成や活用に必要な知識や技術を学ぶ。

**《授業の到達目標》**
〇子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解する。
〇子どもの生活や遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得し、実践できるようになる。
〇保育における教材等の作成及び活用と保育の環境構成及び具体的展開の為の技術を習得し、実践できるようになる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　－　％　レポート３０％
課題（制作と実演）３０％
実技（素話・絵本の実技等）２０％
授業の取組等（受講態度、感想文、課題提出等）２０％
その他（　　）　－　％

**《教科書》**
〇使用しない。
〇プリントを配布する。

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
〇ストーリーテリング(素話)・絵本・ことば遊び・児童文化財制作発表等の実技には、その都度講評を行う。
〇講義後の感想・質問・課題に対しては、次回の講義で解説等を行う。
〇レポート課題については、課題発表時に事前に解説を行う。

**《成績評価基準》**
〇子どもの心身の発達や環境、保育内容（ことば遊び）についての理解ができたか。
〇ことば遊びの知識や技術を習得できたか。
〇保育教材の制作と活用、環境構成、保育技術を習得できたか。

**《参考図書》**
保育所保育指針
幼稚園教育要領
幼保連携型認定こども園教育・保育要領

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション・子どもの発達と児童文化財 | 予習：「絵本」について事前に調べておく（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 2 | 児童文化財の楽しさと演じ方1(絵本・紙芝居) | 予習：「紙芝居」について事前に調べておく（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 3 | 児童文化財の楽しさと演じ方2（人形劇等） | 予習：「人形劇・ペープサート等」について事前に調べておく（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 4 | 児童文化財の楽しさと演じ方3（わらべ歌等） | 予習：「わらべ歌等」について事前に調べておく（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 5 | 児童文化財の楽しさと演じ方4(素話等) | 予習：「ストーリーテリング（素話）等」について事前に調べておく（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 6 | 児童文化財制作1<br>素話実技1 | 予習：児童文化財制作の為の教材準備と素話実技の準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 7 | 児童文化財制作2<br>素話実技2 | 予習：児童文化財制作と素話実技の準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 8 | 児童文化財制作3<br>素話実技3 | 予習：児童文化財制作と素話実技の準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 9 | 児童文化財制作4<br>素話実技4 | 予習：児童文化財制作と素話実技の準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 10 | 作品発表・実演・講評1 | 予習：制作した児童文化財の実演準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 11 | 作品発表・実演・講評2 | 予習：制作した児童文化財の実演準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 12 | 作品発表・実演・講評3<br>絵本実技・講評1 | 予習：制作した児童文化財の実演と絵本実技の準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 13 | 絵本実技・講評2 | 予習：絵本実技の準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 14 | 絵本実技・講評3 | 予習：絵本実技の準備を行う（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |
| 15 | まとめ | 予習：これまでの学びのまとめを行い、児童文化財作品の提出準備をする（30分）<br>復習：授業での気付きを記録する（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容の理解と方法（身体遊び） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 川内田　和則 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
子どもの心身の発達や取り巻く環境を理解し、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な身体遊びを体験を通して学び、実践的に技術を習得する。また、保育者の役割を理解し、環境構成や具体的展開のための技術の習得を目指す。

**《授業の到達目標》**
1 子どもにとっての身体遊びの意義を理解する。
2 身体遊びの体験を通して、保育者として自ら実践できる力や遊びをアレンジする力を育む。
3 指導案を作成し、身体遊びの展開ができる。

**《成績評価の方法》**
課題30%
実技50%
授業の取組20%

**《教科書》**
なし（適宜資料を配付する）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出課題等は評価・フィードバックをした上で返却を行う。

**《成績評価基準》**
1 子どもにとっての身体遊びの意義を理解できたか。
2 身体遊びの体験を通して、保育者として自ら身体遊びを実践することができたか。
3 指導案の作成ができ、実際に身体遊びを展開できたか。

**《参考図書》**
『楽しく学ぶ運動遊びのすすめ』(2017) 編集 柴田卓・石森真由子 発行(株)みらい・『乳幼児のための豊かな感性を育む身体表現遊び』(2020年) 著 瀧信子ほか 発行(株)ぎょうせい

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション/身体遊びの意義 | 身体遊びについて、その種類や効果について調べて、まとめる（30分）<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 2 | 子どもの発育発達と遊び | 子どもの発育発達と遊びの関係について調べて、まとめる(30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 3 | ストレッチ・徒手体操、移動運動 | 移動運動について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 4 | マット・とび箱を使った運動 | マット・とび箱運動について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 5 | 鉄棒・平均台を使った運動 | 鉄棒・平均台について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 6 | ロープ（縄跳び）を使った身体遊び | ロープ（縄跳び）を使った身体遊びについて調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 7 | フープを使った身体遊び | フープを使った身体遊びについて調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 8 | ボールを使った身体遊び | ボールを使った身体遊びについて調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 9 | 身体遊びと表現① | 伝承遊び・手遊び・歌遊びについて調べて、まとめる(30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 10 | 身体遊びと表現② | 身近な素材やパラバルーンを生かした遊びについて調べて、まとめる(30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 11 | 身体遊びと表現③ | 組体操（遊び）について調べて、まとめる(30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 12 | グループ支援の計画 | 実際にどのような活動を取り入れるかを調べて、支援の準備を行う30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 13 | グループ支援の実際① | グループ支援の計画に基づき、実際に活動に必要な準備、練習を行う(30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 14 | グループ支援の実際② | グループ支援の計画に基づき、実際に活動に必要な準備、練習を行う(30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |
| 15 | まとめ | これまでの授業内容を復習する(30分)<br>今回の授業内容の復習（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容の理解と方法（音遊び） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、和田　紘平 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
子どもの鋭敏な感性を伸ばし、豊かな心を育むために必要な音楽的要素、読譜力、音程感覚、リズム感等を楽曲を通し、また言葉としての歌詞、環境から感じられる自然の音等から学びます。これらの様々な音を感じることのできる耳と心を育み、子ども達と楽しく音楽表現ができる保育者に必要な技術を実技、実践を通して習得します。

**《授業の到達目標》**
・保育所保育指針による、子どもの発達に即した音との関わりや表現について、五領域との関係づけを具体的に述べることができる。
・子どもの豊かな感性や創造性を育むために必要な音楽的要素を解釈し表現技術に応用できる。
・毎日の小さな積み重ね（音楽表現ノートの記入を含む）により、表現技術の実践力を確実に身につけることができる。

**《成績評価の方法》**
課題（小テストを含む）25%
実技(音楽表現実技の発表）50%
授業の取組（音楽表現ノートを含む）25%

**《教科書》**
"あなたも弾けるやさしい童謡唱歌" 木村鈴代編著 同文書院
"教職課程のための大学ピアノ教本-バイエルとツェルニーによる展開" 教育芸術社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
・「音楽表現ノート」を準備し、毎回、予習と授業内での学びを記入。授業終了時に提出。コメントなど記入されたノートを各自受け取り、次回の授業までに復習と予習を記入し備える。
・「小テスト」を随時実施。音楽的要素の理解を深める為、全問正解するまで、再提出の回数は問わない。

**《成績評価基準》**
・五領域との関係づけが意識できるようになったか。
・音楽的要素の解釈及び理解を深め、表現技術に応用できるようになったか。(読譜力・楽語の理解・正確な演奏技術）
・音楽表現実技の発表にて、音楽表現活動の実践ができるようになったか。

**《参考図書》**
保育所保育指針解説

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>音楽表現に必要な要素 | 予習(30分）保育所保育指針解説「表現」を読んでおく<br>復習(30分）自分の音楽表現活動の記録をつける |
| 2 | 五領域の「表現」とは | 予習(30分）保育所保育指針解説「表現」と関連する他の五領域を読んでおく<br>復習(30分）授業でのきづき、表現活動の記録をつける |
| 3 | 表現と他の領域との関わり⑴ ｻｳﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）音日記を毎日記録する |
| 4 | 表現と他の領域との関わり⑵ 生活の歌 | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する |
| 5 | 表現と他の領域との関わり⑶ 季節の歌① | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する |
| 6 | 表現と他の領域との関わり⑷ 季節の歌② | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する |
| 7 | 表現と他の領域との関わり⑸ 子どもの歌① | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する |
| 8 | 表現と他の領域との関わり⑹ 子どもの歌② | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する |
| 9 | 子どものための楽しい表現実践⑴ ﾘﾄﾐｯｸ① | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する |
| 10 | 子どものための楽しい表現実践⑵ ﾘﾄﾐｯｸ② | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する |
| 11 | 子どものための楽しい表現実践⑶ ﾍﾟﾝﾀﾄﾆｯｸ | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する |
| 12 | 子どものための楽しい表現実践⑷ ﾘｽﾞﾑ楽器 | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する |
| 13 | 子どものための楽しい表現実践⑸ 鍵盤楽器 | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する |
| 14 | 総合的な音楽表現活動 | 予習(30分）音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける<br>復習(30分）出来るようになったこと､足りない部分は何かを考え改善策を､記録する |
| 15 | 音楽表現実技の発表 | 予習(30分）日々の記録を振り返り、自身の変化に気づき、改善していく<br>復習(30分）発表の反省から、今後必要な音楽表現活動の対策を考え実行する |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容の理解と方法（感覚遊び） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
子どもたちの豊かな感性と創造性を育むため、保育者自身が感覚を研ぎ澄まし世界を感覚で捉えるということを取り戻す必要がある。Play with Materials（素材との戯れ ）をキーワードに、自らの五感と感覚を意識しながら、様々な感覚を豊かにする造形遊びを体験し素材研究を行う。 毎回感覚で捉えたことをノートに書き、14回目に五感・感覚マップとしてまとめる。

**《授業の到達目標》**
○身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ活動を通して、保育の展開に必要となる知識や技術を習得する。
○身体の感覚を研ぎ澄まし、感覚で世界を捉え、保育者に求められる観察力を身につける。
○幼児期に、豊かな感性と創造性を育むことの意味と重要性について体験を通して理解し説明することができる。

**《成績評価の方法》**
レポート　30%
課題　50%
授業の取組　20%

**《教科書》**
保育内容領域表現　日々わくわくを生きる子どもの表現
堂本真実子　編著　わかば社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
・制作課題については、提出後に講評と個別指導を行う。
・五感。感覚マップについては、提出の翌週に講評を行う。
・レポート課題は、後期「幼児と表現」の授業で返却する。

**《成績評価基準》**
○身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ活動を通して保育の展開に必要となる知識や技術を習得できたか。
○身体の感覚を研ぎ澄まし、感覚で世界を捉え、保育者に求められる観察力を身につけることができたか。
○幼児期に、豊かな感性と創造性を育むことの意味と重要性について体験を通して理解し説明することができたか。

**《参考図書》**
随時提示する

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 五感と感性を育む保育 | ○予習内容(30分)　シラバスを熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 2 | 布と戯れる | ○予習内容(30分)　トートバックのデザインを考える<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 3 | 風と戯れる<br>- 飛ばす - | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 4 | 草・葉っぱ・花びらと戯れる　- 色水遊び - | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 5 | フィンガーペインティング | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 6 | 水・砂と戯れる<br>- サンドアート - | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 7 | 光と戯れる①　- ペープサートで影絵あそび - | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 8 | 光と戯れる②　- ペープサートで影絵あそび - | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 9 | 質感の異なる素材を用いたブリコラージュ① | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 10 | 質感の異なる素材を用いたブリコラージュ② | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 11 | 音探し・音づくり① | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 12 | 音探し・音づくり② | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 13 | 粘土遊び | ○予習内容(30分)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 14 | 五感・感覚マップの制作 | ○予習内容(30分)　感覚ノートを整理しておく<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |
| 15 | 子どもの育ちと感覚 | ○予習内容(30分)　これまでの学びをポートフォリオにまとめる<br>○復習内容(30分)　感覚が捉えたものをノートにまとめる |

《専門科目》

| 科目名 | 乳児保育Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 城　真衣子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
乳児保育の意義・目的・役割等の理解を深め、3歳未満児の発達を踏まえた保育内容や運営の実際を学ぶ。

**《授業の到達目標》**
①乳児保育の意義・目的について歴史的変遷を理解し、日本社会における乳児保育の役割について説明ができる。②保育所、乳児院等多様な場における乳児保育を学び、それぞれの具体的な保育内容を考証する。③3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について理解し、実際の保育現場の事例を解説できる。④職員間、保護者、地域の関係機関との連携や協働について理解し、今後の学びへの自らの課題を見つけ出す。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　50　%　レポート　20　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　30　%　その他（　　）　　%

**《教科書》**
『乳児保育の基礎と実践』関根久美・山本智子　大学図書出版

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験のフィードバックとして講評や解説の時間を設ける。授業内に配布するワークシートについては、次回の授業内で授業に反映させる又はコメントをつけて返却する。

**《成績評価基準》**
①乳児保育の現状について、意義・目的・課題を歴史的変遷を踏まえ理解しているか（筆記試験）②多様 な乳児保育の場における実際の保育内容をまとめる（ワークシート、レポート）③3歳未満児の発達理解、発達に即した保育内容の理解について筆記試験で確認する④組織的に働くための自己課題について学びを深めた上でレポートにまとめる（レポート）

**《参考図書》**
適宜紹介します

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 乳児保育の意義 | 予習：シラバスを読んでくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 2 | 乳児保育･子育て家庭支援の社会的状況と課題 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 3 | 保育所における乳児保育 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 4 | 保育所以外の児童福祉施設における乳児保育 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 5 | 家庭的保育・小規模保育等における乳児保育 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 6 | 家庭を取り巻く環境と子育て支援の場 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 7 | 0歳児～満3歳児の生活と環境 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 8 | 0歳児～満3歳児の遊びと環境 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 9 | 0歳児～満3歳児の保育に移行する時期の保育 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 10 | 0歳児～満3歳児の発達を踏まえた援助や関わり | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 11 | 0歳児～満3歳児の発達を踏まえた保育の配慮 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 12 | 乳児保育における計画・記録・評価とその意義 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 13 | 職員間の連携・協働 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 14 | 保護者との連携・協働 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 15 | 自治体や地域関係機関等との連携・協働 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |

《専門科目》

| 科目名 | 障害児保育Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
保育現場では障害のある子どもや発達の気になる子どもが増えている。まずは、障害のとらえ方や障害に対する基本的知識を学び、障害の種類や特性への理解を深める。また、視聴覚教材を使って、事例に触れながら保育士としての実践力の向上を図る。必要に応じてグループワーク・疑似体験等を取り入れる。

**《授業の到達目標》**
・障害児保育を支える理念や原理を説明できる。
・障害の種類や特性を的確に説明できる。
・保育現場での配慮事項や環境の工夫を述べることができる。
・保護者への望ましい援助や関係機関との連携について説明できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%
授業の取組　20%

**《教科書》**
「障がい児保育」　監修　小橋明子　編著　小橋拓真　著　小山内あかね　竹野内ゆかり　中山書店　2019

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験内容に対する振り返りや解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
・障害児保育の理念や原理を説明できるようになったか。
・障害の特性等を的確に説明できるようになったか。
・保育現場での配慮事項や環境の工夫を述べることができるようになったか。
・保護者への望ましい援助や関係機関との連携について説明できるようになったか。

**《参考図書》**
なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ガイダンス・障害児保育の概要 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 2 | 「障害（がい）」の概念と障害児保育の基本 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 3 | 発達とは | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 4 | 脳の発達と障害 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 5 | 障害児の理解と保育における発達の援助 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 6 | 感覚統合について | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 7 | 視覚・聴覚・言語障害児の理解と援助 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 8 | 肢体不自由児の理解と援助 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 9 | 知的障害児の理解と援助 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 10 | 発達障害児の理解と援助 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 11 | 重症心身障害児・医療的ケア児の理解と援助 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 12 | 特別な配慮を要する子どもの保育の実際 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 13 | 指導計画及び個別の支援計画の作成 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 14 | 発達を促す生活や遊びの環境について | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 15 | 保護者や関係機関との連携、課題について | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育園芸 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 藤原　良治 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**

公園やテーマパークなどの草花演出や栽培を実践現場で携わった教員が、講義と実習を交えた形式で授業を行います。

講義は、草花・野菜の栽培を通して植物のしくみ、ふれあう楽しさ、環境に配慮した育成等について学習していきます.

季節に応じて授業を進めていきますので、春～初夏にかけての栽培が中心となります。実習は主に正面玄関周辺のプランターや屋上の花壇を利用します。

**《授業の到達目標》**

・植物の取り扱い方ができるようになる。
・植物の基礎的な維持管理ができるようになる。
・草花植栽の基礎的な演出ができるようになる。
・授業で取り扱う植物の性質と名前を覚える。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　50%
実技　20%
授業の取組 30%

**《教科書》**

使用しない

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

最終授業の筆記試験終了時に試験内容の解説及び質疑応答を行います。

**《成績評価基準》**

・授業の態度や取り組み意欲を判断して評価します。
・小テストや実習を通して理解、習得の度合いを判断して評価します。
・筆記試験の結果を通して総合評価します。

**《参考図書》**

『別冊 NHK 趣味の園芸 園芸入門』ほか

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 植物観察及び植物のしくみについて | 予習内容：「授業のテーマ」の内容について事前に学習を行う（0,5時間）<br>復習内容：学習した内容を整理して習得に努める（0,5時間） |
| 2 | 植物の育成土壌について | 予習内容：「授業のテーマ」の内容について事前に学習を行う（0,5時間）<br>復習内容：小テストの内容を理解し、学習した内容ついて復習する（0,5時間） |
| 3 | 草花栽培① | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 4 | 〃　② | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 5 | 〃　③ | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 6 | 〃　④ | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 7 | 植物の生育環境について | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 8 | ハーブ・野菜（サツマイモ）の栽培① | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 9 | 〃　② | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 10 | 植物を利用したクラフト遊び① | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 11 | 〃　② | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 12 | ビオトープについて | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 13 | 子供と園芸① | 予習内容：　〃<br>復習内容：　〃 |
| 14 | 〃　② | 予習内容：　〃<br>復習内容：筆記試験に向けて授業で学習した内容ついて復讐する（2時間） |
| 15 | 筆記試験及びまとめ | 予習内容：全講義内容についての理解に努める。（2時間以上）<br>復習内容：筆記試験の内容を理解し、学習した内容ついて復讐する（1時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 子どもの遊び実践 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】この科目は、様々な手遊びや歌遊び等の遊戯の提案を通して、実習や保育現場で活用できる遊びのアイデアを養いつつ、保育実践に必要な力を実践的に鍛えようとするものです。子どもの発達段階や保育計画を踏まえた状況に応じて、遊びの企画力・指導力を養うことを目的とします。授業で想定した対象児や状況に合わせて、グループワークで遊びの提案を行ったり発表したりすることで、より実践力を高めます。

**《授業の到達目標》**
①保育実践の場での手遊びや歌遊び等の意義を理解する。
②子どもの発達段階や状況に応じた遊びの提案ができる。
③授業内での遊び実践を通して、保育実践に活用できる遊びのレパートリーを増やす。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　0%　レポート　0%
課題　40%　実技　40%
授業の取組　20%
その他（）　0%

**《教科書》**
必要に応じてプリント配布。

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
・「遊びのひきだしノート」（手遊びや歌遊びの内容・対象年齢・発達ポイントを記したもの）を毎授業開始時に提出。適宜コメント等をつけてフィードバックを行う。（次回授業で返却）
・授業内での「遊びのひきだしノート」に記入した遊びの発表について授業内で感想・解説等のフィードバックを行う。

**《成績評価基準》**
①保育実践の場での手遊びや歌遊び等の意義を理解できるようになったか。
②子どもの発達段階や状況に応じた遊びの提案ができるようになったか。
③授業内での遊び実践を通して、保育実践に活用できる遊びのレパートリーを増やすことができたか。

**《参考図書》**
適宜紹介する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション・「遊び」とは | |
| 2 | 保育者が提案する遊戯（手遊び等）の意義 | |
| 3 | グループワーク：手遊び紹介・発表（３歳児） | ３歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。（６０分） |
| 4 | グループワーク：手遊び紹介・発表（４歳児） | ４歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。（６０分） |
| 5 | グループワーク：手遊び紹介・発表（５歳児） | ５歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。（６０分） |
| 6 | グループワーク：手遊び紹介・発表（２歳児） | ２歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。（６０分） |
| 7 | グループワーク：手遊び紹介・発表（１歳児） | １歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。（６０分） |
| 8 | グループワーク：手遊び紹介・発表（０歳児） | ０歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。（６０分） |
| 9 | 視覚教材の意義・使い方について | |
| 10 | 視覚教材づくり | 視覚教材づくり、発表の練習。（６０分） |
| 11 | 視覚教材づくり | 視覚教材づくり、発表の練習。（６０分） |
| 12 | 視覚教材づくり | 視覚教材づくり、発表の練習。（６０分） |
| 13 | 視覚教材づくり | 視覚教材づくり、発表の練習。（６０分） |
| 14 | 視覚教材の発表・フィードバック | 視覚教材づくり、発表の練習。（６０分） |
| 15 | まとめ | |

《専門科目》

| 科目名 | 保育実習指導ＩＡ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、辻　優子、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】
本実習の準備として基本的なマナー及び実習の基礎知識等を身に付ける。一日見学実習に必要な書類、課題、授業内でのワーク等に丁寧に取り組み、期限厳守が求められる。実習生としての自覚を持ち、基本的マナーや知識、実習の意義や目的等を理解した上で、一日見学実習（保育所・施設）を経験し、今後の課題や目標を明確にする。

**《授業の到達目標》**

保育実習の意義・目的を理解し、実習生としての基本的なマナーや身だしなみを意識して授業に取り組むことができる。一日見学実習に必要な書類や授業内のワーク等の提出期限を厳守できる。実習中の観察の視点や日誌の書き方等を学び、一日見学実習の実践や日誌の作成時に活用でき、自らの実習の目標を設定し説明できる。直前指導・一日見学実習・事後指導を通し自己評価し、課題・学習目標を明確化できる。

**《成績評価の方法》**

課題　　45%
レポート　　30%
授業の取組　25%

**《教科書》**

新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版　[編著]石橋裕子・林 幸範
同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

提出物・課題：各教員からの解説時間を設ける。
ワークシート：毎回授業後に提出する。翌週の授業開始時に返却する。

**《成績評価基準》**

保育実習の意義･目的の理解､実習生としての基本的なﾏﾅｰや身だしなみを意識し､一日見学実習に必要な書類､授業内ﾜｰｸ等の提出期限厳守､実習中の観察の視点や日誌の書き方を学び､一日見学実習の実践や日誌の作成時に活用､自らの実習目標を設定し説明でき､直前指導･一日見学実習･事後指導を通し自己評価､課題や学習目標を明確化すること等できたか。

**《参考図書》**

改訂2版『これだけは知っておきたい 保育のマナーと言葉』長島和代（編）わかば社
その他の参考書は、授業内で適宜提示する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:教科書に目を通す。(30分)<br>復習:授業内学習を振り返り、教科書2～5頁をまとめ、その関連頁を読む。(30分) |
| 2 | 実習の意義と目的⑴<br>位置付けと資格取得 | 予習:「保育士資格取得課程履修内規」便覧115～116頁､教科書6～9頁を読む。(30分)<br>復習:「保育士資格取得課程履修内規」の振り返り､授業関連頁のまとめ。(30分) |
| 3 | 実習の意義と目的⑵<br>必要な手続き⑴ | 予習:教科書22～23頁、178～181頁を読む。(30分)<br>復習:授業内提示の実習関連書類を期日より早めに仕上げ提出する。(30分) |
| 4 | 保育所についての理解<br>名札作成⑴ | 予習:教科書18～21頁､178～175頁、参考書32頁を読む。(30分)<br>復習:授業内提示の課題を振り返り、期日より早めに提出物を仕上げる。(30分) |
| 5 | 必要な手続き⑵<br>名札作成⑵ | 予習:教科書26～29頁を読む。29頁最後の問いの答えを考える。(30分)<br>復習:施設調べ学習課題を、期日より早めに仕上げ提出する。(30分) |
| 6 | 基本的マナーについて<br>施設調べ学習の発表 | 予習:参考書10～13頁、18～19頁を読む。(30分)<br>復習:グループ内での学びを深める。授業内学習から自己を振り返る。 |
| 7 | 事前オリエンテーション<br>について | 予習:教科書14～21頁、参考書28～31頁、40頁を読む。(30分)<br>復習:授業内提示資料を熟読する。(30分) |
| 8 | 実習の心得・目標設定守<br>秘義務について | 予習:教科書180～181頁、204～206頁、参考書56～57頁を読む。(30分)<br>復習:授業内提示資料を熟読する。(30分) |
| 9 | 一日見学実習先の発表<br>メンバー顔合わせ | 予習:教科書18～21頁、参考書18～19頁、22頁、40頁を再確認する。(30分)<br>復習:授業内提示資料を熟読する。(30分) |
| 10 | 実習日誌の意義<br>実習時の注意事項 | 予習:教科書180～188頁を読む。(30分)<br>復習:授業内提示資料を熟読する。(30分) |
| 11 | 必要な手続き⑶<br>レポート課題について | 予習:教科書52～53頁、参考書86～91頁を読む。(30分)<br>復習:授業内提示資料を再考する。(30分) |
| 12 | 実習日誌の書き方<br>実習の目標・課題設定 | 予習:教科書180～188頁、参考書86～91頁を再確認する。(30分)<br>復習:授業内提示資料を再考する。(30分) |
| 13 | 自己到達目標の実施<br>実習中の連絡・手続き | 予習:ワークシート及び授業内容を振り返り、見学実習に備える。(30分)<br>復習:授業内提示資料を熟読する。(30分) |
| 14 | 一日見学実習直前指導<br>事後課題について | 予習:実習の心構え、準備物等を確認する。(30分)<br>復習:授業内提示資料を熟読し再考する。(30分) |
| 15 | 一日見学実習<br>施設・保育所 | 予習:実習に必要な準備物等を再確認する。(30分)<br>復習:事後課題を作成し、期日前に提出する。(30分) |

# 1 年 後 期

《基礎科目》

| 科目名 | 健康・スポーツ科学Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 手嶋　孝司 | | | | |
| 授業方法 | 実技 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)の理解を踏まえて、 自身の健康を維持・増進するための運動遊びやスポーツの理解を行い、生涯にわたってスポーツ活動を実践するための基礎的な能力と態度の育成を目指す。また、基本的な運動・遊びやゲーム・スポーツ種目を通して、運動やスポーツの楽しさを実感するとともに社会的スキルを養う。

**《授業の到達目標》**
1 自己の健康・体力を理解し、日常的に運動する習慣を身につける。
2 身体活動を通して、運動技能および体力の向上を目指す。
3 集団の中の個人としての役割や責任を担い、コミュニケーション技能などの社会的スキルを獲得する。

**《成績評価の方法》**
課題20%
実技20%
授業への取組60%

**《教科書》**
なし（適宜資料を配付する）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出された課題等については、返却の際に解説を行う。

**《成績評価基準》**
1 自己の健康・体力を理解し、日常的に運動を実践できている。
2 運動技能や体力の向上ができている。
3 授業だけでなく、授業準備や片付けなど積極的に行い、集団の中の個人としての役割や責任を担い、社会的スキルを身につける。

**《参考図書》**
『実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学』九州大学健康科学センター（編）大修館書店

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 健康・スポーツ科学Ⅰの内容を復習しておく（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 2 | 自己の体力を知る① | 体力テストについて調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 3 | 自己の体力を知る② | 体力テストについて調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 4 | 自己の体力を知る③ | 体力テストについて調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 5 | 基礎的な運動 | 歩・走・跳を使った遊びや運動について調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 6 | ゴール型スポーツ①基礎技術 | ゴール型スポーツとは何か調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 7 | ゴール型スポーツ②企画・運営と実際 | 実際に行うゴール型スポーツのルールを調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 8 | ニュースポーツ① | ニュースポーツとは何か調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 9 | ネット型スポーツ①基礎技術 | ネット型スポーツとは何か調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 10 | ネット型スポーツ②企画・運営と実際 | 実際に行うネット型スポーツのルールを調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 11 | ニュースポーツ② | ニュースポーツとは何か調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 12 | ベースボール型スポーツ①基礎技術 | ベースボール型スポーツの種類について調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 13 | ベースボール型スポーツ②企画・運営と実際 | 実際に行うベースボール型スポーツのルールを調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 14 | ニュースポーツ③ | ニュースポーツとは何か調べる（30分）<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |
| 15 | まとめ | これまでの授業内容を復習する(30分)<br>今回の授業内容の振り返り（30分） |

《基礎科目》

| 科目名 | コンピュータ演習Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 稲田　義邦 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
実務で使われることが多いOfficeのアプリケーションを利用して、電子紙芝居や電子絵本・実習指導案などを実際に作成し、現場で役立つスキルを習得するとともに、子どもたちの視点から見た表現方法の工夫についても考察する。これらのことを通して、現場での効果的なコンピュータの活用方法を身に付ける。

**《授業の到達目標》**
・ 情報発信の必要性と課題について説明することができる。
・電子紙芝居や電子絵本などを子どもたちや保護者に分かりやすい表現で作成することができる。
・WordやExcelを用いて、実習指導案を作成することができる。

**《成績評価の方法》**
課題　90%
授業の取組　10%

**《教科書》**
「情報リテラシー」（株）富士通ラーニングメディア　FOM出版

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
課題についてはデータ提出を行い、２週間以内にコメントを返却。

**《成績評価基準》**
・情報発信の必要性と課題について説明することができたか。
・電子紙芝居や電子絵本などを子どもたちや保護者に分かりやすい表現で作成することができたか。
・WordやExcelを用いて、実習指導案を作成することができたか。

**《参考図書》**
なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ガイダンス | 予習：Word&Excelの基本操作について、教科書を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：Word&Excelの基本操作についてノートにまとめる。(30分) |
| 2 | 情報発信の必要性と課題 | 予習：教科書M49-M64を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書M49-M72での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 3 | WordとExcelと連携による文書作成 | 予習：WordとExcelの連携について熟読しておくこと。(30分)<br>復習：WordとExcelの連携での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 4 | PowerPointの機能と特徴 | 予習：教科書P1-P3を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書P1-P3での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 5 | PowerPointによるプレゼンテーション作成1 | 予習：教科書P4-P13を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書P4-P13での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 6 | PowerPointによるプレゼンテーション作成2 | 予習：教科書P14-P29を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書P14-P31での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 7 | PowerPointでの特殊効果の設定 | 予習：教科書P32-P35を熟読しておくこと。(30分)<br>復習：教科書P32-P35での気づきをノートにまとめる。(30分) |
| 8 | PowerPointによる自己紹介作成1 | 予習：自己紹介の内容について検討しておくこと。(30分)<br>復習：自己紹介の内容について検討しノートにまとめる。(30分) |
| 9 | PowerPointによる自己紹介作成2 | 予習：自己紹介の表現方法について検討しておくこと。(30分)<br>復習：自己紹介の表現方法について検討しノートにまとめる。(30分) |
| 10 | PowerPointによる電子紙芝居・電子絵本作成1 | 予習：電子紙芝居・電子絵本の内容について検討しておくこと。(30分)<br>復習：電子紙芝居・電子絵本の内容について検討しノートにまとめる。(30分) |
| 11 | PowerPointによる電子紙芝居・電子絵本作成2 | 予習：電子紙芝居・電子絵本の表現方法について検討しておくこと。(30分)<br>復習：電子紙芝居・電子絵本の表現方法について検討しノートにまとめる。(30分) |
| 12 | 電子紙芝居・電子絵本の発表 | 予習：電子紙芝居・電子絵本の発表内容について検討しておくこと。(30分)<br>復習：電子紙芝居・電子絵本の発表内容の反省をノートにまとめる。(30分) |
| 13 | WordやExcelによる指導案作成1 | 予習：指導案の内容について検討しておくこと。(30分)<br>復習：指導案の内容について検討しノートにまとめる。(30分) |
| 14 | WordやExcelによる指導案作成2 | 予習：指導案の内容について更に検討しておくこと。(30分)<br>復習：指導案の内容について更に検討しノートにまとめる。(30分) |
| 15 | Word及びExcelによる課題作成・提出 | 予習：Word&Excelの課題について検討しておくこと。(30分)<br>復習：Word&Excelの課題と反省についてノートにまとめる。(30分) |

《基礎科目》

| 科目名 | 総合演習Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子、平山　隆浩、吉原　美南子、溝上　敦子、辻　優子、和田　紘平、下稲　美里、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。<br>◯　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【卒業必修】　前半は行事にクラスで取り組むことを通して、協調性や判断力、コミュニケーション力をつける場とする。後半は2年次の卒業研究を視野に、保育学科の専門領域について知り、考えて興味関心を焦点化していく。総合演習Ⅰに引き続き、ボランティア活動やマナー講習、進路指導等を通して、社会人、保育者としての意識を高めていく。

**《授業の到達目標》**

●大学生としての学習スキルを向上させる。
●協調性とコミュニケーションの重要性を意識して、企画や作業を協力して行うことができる。
●社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。
●共感力や主体性、誠実さなどの「人間力」を身につける。

**《成績評価の方法》**

課題　60%
授業の取組　40%

**《教科書》**

「これだけは知っておきたい
わかる・話せる・使える保育のマナーと言葉」
長島和代　編　わかば社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

・提出レポートは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。
・ポートフォリオは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。

**《成績評価基準》**

●大学生としての学習スキルを向上させることができたか。
●協調性とコミュニケーションの重要性を意識して、企画や作業を協力して行うことができたか。●社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができるようになったか。●共感力や主体性、誠実さなどの「人間力」を身につけることができたか。

**《参考図書》**

随時資料を配布

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 履修指導・後期自己課題の設定・諸連絡 | ◯予習内容(30分)　指定された教科書のページをもとに予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 2 | ボランティア活動の計画を立てる | ◯予習内容(30分)　事前配布資料等を参考に予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 3 | 福浜祭準備 | ◯予習内容(30分)　クラスごとに計画準備を行う<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 4 | 進路ガイダンス①( 就職活動の流れ )福浜祭準備 | ◯予習内容(30分)　クラスごとに計画準備を行う<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 5 | 福浜祭準備 | ◯予習内容(30分)　クラスごとに計画準備を行う<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 6 | 進路ガイダンス②<br>福浜祭準備 | ◯予習内容(30分)　クラスごとに計画準備を行う<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 7 | 福浜祭準備 | ◯予習内容(30分)　クラスごとに計画準備を行う<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 8 | ボランティア活動 | ◯予習内容(30分)　ボランティアの意義について調べ整理する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 9 | 保育者としての心得 | ◯予習内容(30分)　指定された教科書のページをもとに予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 10 | 進路ガイダンス③（履歴書指導等) | ◯予習内容(30分)　事前配布資料等を参考に予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 11 | 卒業研究説明会・学生生活アンケート | ◯予習内容(30分)　事前配布資料等を参考に予習する<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 12 | 卒業研究個別説明会 | ◯予習内容(30分)　事前配布資料等を参考に予習する<br>◯復習内容(30分)　ゼミエントリーシートを記入し研究内容をまとめる |
| 13 | 労働法講座 | ◯予習内容(30分)　労働法について事前に調べる<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 14 | 後期試験の諸注意<br>ゼミ顔合わせ | ◯予習内容(30分)　ゼミでやりたいことなどを事前にまとめておく<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |
| 15 | 社会人基礎力習熟度チェック | ◯予習内容(30分)　これまでの授業内容をポートフォリオにまとめる<br>◯復習内容(30分)　授業内容についてノートにまとめる |

《基礎科目》

| 科目名 | 茶道文化Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉井　恵子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】茶の湯は日本のあらゆる伝統工芸、伝統文化を含んでいます。書、美術工芸、建築、庭はもちろんのこと菓子、料理、掃除にまで広がっています。
茶道の実技や講義を通して、日本文化を学び、感性を豊かにして、茶道の精神を身につけていきます。

**《授業の到達目標》**
・和室での作法、立ち居振る舞いが美しくできるようになる。
・風炉・炉の薄茶点前ができるようになる。
・さまざまなことに興味を持ち、積極的に学ぶことによって教養を身につける。
・茶道の精神を身につけて、日常生活に役立つようにする。

**《成績評価の方法》**
実技　６０％
授業の取組　４０％

**《教科書》**
必要に応じてプリント配布

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業中に講評します

**《成績評価基準》**
・和室での作法の習得度
・風炉・炉の薄茶点前の習得度
・茶道の精神が身についてきたか
・日頃の授業態度

**《参考図書》**
「茶の湯　こころと美」他
適宜紹介します

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>和室での作法・挨拶 | 予習：シラバスを読むこと（３０分）<br>復習：和室での作法・挨拶を繰り返し練習すること（３０分） |
| 2 | 風炉薄茶点前<br>茶の湯の歴史 | 予習：プリントを熟読すること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 3 | 風炉薄茶点前<br>五感で楽しむ | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 4 | 風炉薄茶点前<br>茶室・露地 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 5 | 風炉薄茶点前<br>花入れ・茶花 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 6 | 炉薄茶点前を見る<br>茶道具（風炉・炉） | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 7 | 炉薄茶点前<br>茶の湯と季節 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 8 | 炉薄茶点前 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 9 | 炉薄茶点前 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 10 | 炉薄茶点前 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 11 | 炉薄茶点前<br>茶事について | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 12 | 炉薄茶点前<br>濃茶について | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 13 | 炉薄茶点前 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 14 | 炉薄茶点前 | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分） |
| 15 | 総括<br>茶会形式にて | 予習：点前のイメージトレーニングをすること（３０分）<br>復習：家族に美味しいお茶を点ててください　（３０分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育者論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 下稲　美里 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】保育士の役割や専門性、倫理、協働等、保育士になる上での基本的な知識を習得する。また、授業を通して、社会の中で働くことの意識を持ち、自分がどのような保育者になりたいかを考え、「保育観」を確立していくための土台を作っていく。保育事例や保育に関する動画等から、保育者の役割や援助方法、配慮の視点について考え、述べることができるようになる。また、グループ間で共有しながら主体的に学ぶ。

**《授業の到達目標》**

1．保育士の役割、倫理、協働、保育士の制度的位置付けについて説明することができる。　2．保育士の専門性と専門性を支える省察の繋がりについて説明することができる。　3．保育士間の連携・協働の重要性、家庭との連携や支援の在り方について学び、保育士としての対応や行動等でできることを自分なりに述べることができる。　4.保育士の在り方について問いながら、自分が目指す保育者観と関連づけることができる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　60%　レポート　0%
課題　25%　実技　0%
授業の取組　15%
その他（　　）　0%

**《教科書》**

『アクティベート保育学02 保育者論』（2019年）汐見稔幸・大豆生田啓友（監修）ミネルヴァ書房

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

毎授業の終盤で感想の記入を求めるが、授業内容の捉え方のずれや質問等があった場合は、授業内で全体に解説を行う。
筆記試験のフィードバックとして、解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**

1．授業に意欲的に参加できたか。
2．感想等の課題に真摯に取り組み、期日までに提出ができたか。
3．本授業で学んだことを自分の言葉で説明したり、述べたりすることができ、授業の到達目標が達成できたか。

**《参考図書》**

保育所保育指針（2017年）厚生労働省、幼稚園教育要領（2017年）文部科学省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（2017年）内閣府他　　その他は、授業内で適宜紹介する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション～保育者になるということ | ■予習内容　教科書に目を通すこと（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 2 | 社会人になる自覚と責任～働くということ | ■予習内容　教科書に目を通すこと（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 3 | 保育所の午前の保育と保育士の役割 | ■予習内容　教科書pp.57-66を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 4 | 保育所の午後の保育と保育士の役割 | ■予習内容　教科書pp.66-74を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 5 | 子どもの内面や発達を理解する保育者 | ■予習内容　教科書pp.77-92を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 6 | 遊びを援助する保育者 | ■予習内容　教科書pp.95-110を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 7 | 保育士の制度的位置付け～保育士の資格・要件 | ■予習内容　教科書pp.23-34を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 8 | 保育士の倫理 | ■予習内容　全国保育士会倫理綱領について調べ、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 9 | 保育者の専門性と省察 | ■予習内容　教科書pp.72-73、108-110、121-125、216-218を熟読する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 10 | 保育者の同僚性・協働性～語り合いと学び合い | ■予習内容　教科書pp.193-206を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 11 | 家庭との連携と保護者に対する支援① | ■予習内容　教科書pp.133-138を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 12 | 家庭との連携と保護者に対する支援② | ■予習内容　教科書pp.139-148を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 13 | 多様な子どもの理解と支援する保育士 | ■予習内容　教科書pp.149-165を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 14 | 保育士の専門性とは？ | ■予習内容　教科書pp.209-225を熟読し、整理する（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 15 | まとめ | ■予習内容　第1～14回授業の資料を振り返り、整理する（2時間）<br>□復習内容　第1～15回授業を振り返り、自分なりに整理する（2時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 子ども家庭福祉 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
子ども家庭福祉に関連する歴史的変遷、理念と、法体系、そしてそれらの基盤となる子どもの人権と尊厳についてと、それらを支える専門職及び関連分野との連携・ネットワーク等について学ぶ。

**《授業の到達目標》**
・現代社会における家庭福祉の意義と歴史的変遷について説明することができる。
・子どもの人権擁護や子ども家庭福祉の制度と実施体系について説明することができる。
・子ども家庭福祉の現状と課題をふまえ、今後の動向や展望について説明することができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　　80　%
授業の取組　20　%

**《教科書》**
「子ども家庭福祉　第２版」監修　公益財団法人　児童育成協会　編集　新保幸男　小林理　中央法規　2023

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験問題に対する振り返りや解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
・現代社会における家庭福祉の意義と歴史的変遷について説明することができるようになったか。
・子どもの人権擁護や子ども家庭福祉の制度と実施体系について説明することができるようになったか。
・子ども家庭福祉の現状と課題をふまえ、今後の動向や展望について説明することができるようになったか。

**《参考図書》**
なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ-子ども家庭福祉の理念と概念 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 2 | 子ども家庭福祉の歴史的変遷と諸外国の動向 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 3 | 子どもの人権擁護 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 4 | 子ども家庭福祉の制度と実施体制 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 5 | 子ども家庭福祉の施設と専門職 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 6 | 少子化と地域子育て支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 7 | 母子保健と子どもの健全育成 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 8 | 多様な保育ニーズへの対応 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 9 | 子ども虐待・ドメスティックバイオレンスの防止 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 10 | 貧困家庭や外国籍の子ども・家庭への対応 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 11 | 社会的養護 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 12 | 障害のある子どもへの対応 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 13 | 少年非行等への対応 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 14 | 次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 15 | 地域における連携・協働とネットワーク | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 子ども理解と保育援助 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
(1)保育は子ども理解からはじまる、その意味を理解する。
(2)子どもの内面を理解し、発達や学びの過程で生じる様々な要因について実践事例より理解する。
(3)子ども理解から保育者との信頼関係をつくり一人ひとりに応じた援助のあり方を理解する。

**《授業の到達目標》**
(1)子ども理解の意義をについて説明できる。
(2)子どもを理解することから発達や学びを捉える原理について説明できる。
(3)子ども理解を深める保育者の基本的態度について説明できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　50　%
レポート　40　%
課題　10　%

**《教科書》**
特に指定しない、適宜資料を配付する

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
前回のリアクションペーパーを基に授業のはじめに確認、共有化を図る。

**《成績評価基準》**
授業への取り組み姿勢、リアクションペーパー　50%
試験　50%

**《参考図書》**
髙嶋・砂上・森上編「子ども理解と援助」ミネルヴァ書房201

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション、受講にあたっての授業概要 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 2 | 保育における子ども理解の意義 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 3 | 子どもの生活やあそびと援助 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 4 | 子どもと保育者との関係づくり | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 5 | 子ども同士の関係づくり | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 6 | 個と集団における体験と育ち | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 7 | 子どもの葛藤やつまずき | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 8 | 子どもを理解する観察の意味 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 9 | 子どもを理解する記録の意味 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 10 | 保育の省察・評価 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 11 | 保護者との子ども育ちの共有 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 12 | 保育者の協働 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 13 | 発達の課題に応じた援助 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 14 | 発達に対応する関係機関 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 15 | まとめと課題 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |

《専門科目》

| 科目名 | 教育心理学 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
臨床心理士・公認心理士としての実務経験がある教員が授業を行う。教育心理学に関する基礎知識と理論について、テキストに沿って講義と視聴覚教材により学ぶ。また、幼児教育現場での事例の考察や、グループディスカッションによる事例検討を行うことを通して、より理解を深める。

**《授業の到達目標》**
1．幼児期の心身の発達と学習の過程についての基礎的なことがらを説明できる。
2．発達段階ごとの心理的特徴をふまえた子どもの学習活動を支えるための考え方ができる。
3．学んだ知識をもとに、幼児教育・保育の現場での事象を読み解き、教育・保育実践に応用できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%　レポート　10%
課題　%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**
「保育のためのやさしい教育心理学」髙村和代・安藤史高・小平英志著、ナカニシヤ出版

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

**《成績評価基準》**
学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解、説明ができるか。
また、授業に意欲を持って取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

**《参考図書》**
新保育ライブラリ　子どもを知る「教育心理学」無藤隆・麻生武（編著）　北大路書房

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／教育心理学とは | 予習：教科書の「まえがき」を読み、授業の流れを把握しておく（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 2 | 子どもの育ち①<br>発達段階・発達課題 | 予習：教科書ｐ1～9を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 3 | 子どもの育ち②　乳幼児期・児童期・青年期 | 予習：教科書ｐ9～15を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 4 | 子どもの学び①　学習 | 予習：教科書ｐ17～21を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 5 | 子どもの学び②<br>知能、記憶 | 予習：教科書ｐ22～29を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 6 | 動機づけ① 内発的動機づけと外発的動機づけ | 予習：教科書ｐ31～38を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 7 | 動機づけ②　子どものやる気を促すために | 予習：教科書ｐ38～40を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 8 | 教育方法①<br>代表的な教授法 | 予習：教科書ｐ41～47を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 9 | 教育方法②　学びの支援、情報機器の活用 | 予習：教科書ｐ48～54を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 10 | 教育評価①　評価とは～目的・基準・時期 | 予習：教科書ｐ55～59を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 11 | 教育評価②　幼児教育・保育における評価 | 予習：教科書ｐ60～63を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 12 | クラス運営①　クラス集団でのかかわり | 予習：教科書ｐ65～71を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 13 | クラス運営②<br>保育者の資質 | 予習：教科書ｐ71～75を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 14 | 配慮を要する子どもについて | 予習：教科書ｐ91～103を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 15 | 事例を通した考察<br>授業のまとめ | 予習：授業全体をふり返り、質問を考えておく（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 特別支援教育総論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
実際の保育等の現場では、障害等のある子どもたちが増えている。授業では、特別支援教育の理念を踏まえ、特別支援教育制度の理解を深めるとともに、適切な指導および必要な支援につなげるための実践的な知識を修得する。

**《授業の到達目標》**
・特別支援教育の歴史や制度について説明できる。
・保育所・幼稚園・小中学校等における特別支援教育の現状や課題について説明できる。
・各障害の特性を理解し、基本的な指導内容・方法等を説明できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験70%
授業の取組30%

**《教科書》**
「よくわかる障害児保育　第２版」尾崎康子　小林真　水内豊和　阿部美穂子　編　ミネルヴァ書房　2019

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験内容に対する振り返りや解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
・特別支援教育の歴史や制度について説明できるようになったか。
・保育所・幼稚園・小中学校等における特別支援教育の現状や課題について説明できるようになったか。
・各障害の特性を理解し、基本的な指導内容・方法等を説明できるようになったか。

**《参考図書》**
なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 特別支援教育の歴史と現状 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 2 | 障害児保育に必要な視点 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 3 | 障害児保育に必要な専門性 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 4 | 障害発生の医学的視点 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 5 | 知的障害の原因と特性 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 6 | 知的障害に対する支援方法 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 7 | ASDの原因と特性 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 8 | ASDに対する支援方法 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 9 | ADHDの原因と特性 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 10 | ADHDに対する支援方法 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 11 | 特別な教育的ニーズのある児への支援方法 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 12 | 特別な教育的ニーズのある児の保護者支援と方法 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 13 | 特別支援計画の作成方法と意義 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 14 | 幼小連携の必要性と目的 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 15 | 望ましい特別支援教育体制の在り方、まとめ | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 子どもの健康と安全 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 緒方　智美 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】
子どもの健康及び安全の確保は、子どもの生命の保持と健やかな生活の基本であり、一人一人の子どもの健康の保持及び増進並びに安全の確保とともに、保育所全体における健康及び 安全の確保に努めることが重要となる。本授業では、子どもに多い疾患の特徴や体調不良時の対応、保育の場で子どもが安全で健康に生活するために必要な環境への配慮について学び実践力を習得する。

**《授業の到達目標》**

１.保健的観点を踏まえた保育環境や援助について説明できる
２.衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策・感染症対策について説明できる
３.子どもの体調不良等に対する適切な対応を説明できる
４.子どもの発達や状態等に即した適切な対応を説明できる
５.子どもの健康及び安全への組織的取組や保健活動の計画及び評価等について説明できる

**《成績評価の方法》**

筆記試験　60%
課題レポート（個人・グループ）　20%
授業の取組　20%

欠席　－2点　　遅刻－1点

**《教科書》**

「子どもの健康と安全　新・基本保育シリーズ⑯」公益財団法人児童育成協会　監修／松田博雄、金森三枝　編集（中央法規出版）その他配布資料

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

授業で提出した課題については、すべて個別に返却します。
質問は随時受け付けし、質問のうち、全体に周知したほうがよい内容については、授業内で全体にフィードバックします。その際、質問した個人が特定されないよう十分配慮します。

**《成績評価基準》**

科目修了試験(60%)、課題レポート（個人・グループ）(20%)、受講態度(20%)
筆記試験は講義出席2/3以上を受験資格とする。

**《参考図書》**

2018年度改訂版保育所における感染症対策ガイドライン
保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
（全て厚生労働省）

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ガイダンス<br>保育者の健康管理 | 予習　教科書、資料等の振り返り（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 2 | 子どもの健康と保育の環境 | 予習　教科書ｐ2～10の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 3 | 個別対応と集団全体の健康 | 予習　教科書ｐ12～22の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 4 | 保健的対応の基本的考え方 | 予習　教科書ｐ98～108の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 5 | 衛生管理 消毒方法、エプロンの衛生管理 | 予習　教科書ｐ24～32の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 6 | 感染症の集団発生と予防、対応 | 予習　教科書ｐ86～96の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 7 | 事故防止及び安全対策 | 予習　教科書ｐ36～58の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 8 | 体調不良や傷害が発生した場合の対応 | 予習　教科書ｐ60～70の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 9 | 救急処置および救急蘇生法 | 予習　教科書ｐ72～84の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 10 | 3歳児未満への適切な対応 | 予習　教科書ｐ110～120の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 11 | 保健計画および評価 身体計測・発育発達の評価 | 予習　教科書ｐ160～170の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 12 | 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応 | 予習　教科書ｐ122～134の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 13 | 障害のある子への適切な対応 職員間の連携/協働 | 予習　教科書ｐ136～146の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 14 | 家庭・専門機関・地域との連携 | 予習　教科書ｐ148～158の熟読（30分）<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |
| 15 | 授業のまとめ | 予習　教科書及び配布資料の総復習<br>復習　教科書、資料等の振り返り（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育の計画と評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
　この科目では、子ども理解に基づく保育の計画・評価について、その必要性と方法について学びます。
　授業の後半では、講義を踏まえて、子どもの事例を基に実際に遊びや園生活についての指導計画を作成し、発表します。

**《授業の到達目標》**
①保育の質向上のための保育の計画や評価の意義・方法を理解し、説明できる。
②子どもの発達段階に合わせた保育計画を作成することができる。
③全体的な計画と指導計画について、発達段階別に発表することができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　0%　レポート　0%
課題　40%　実技　40%
授業の取組　20%
その他（）　0%

**《教科書》**
保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
10～14回目の授業内で指導計画の発表と模擬保育を行う。授業終了時に発達段階別の保育計画を提出する。
指導計画の返却時にフィードバックとしてコメント等で評価内容を可視化。

**《成績評価基準》**
①保育の質向上のための保育の計画や評価の意義・方法を理解し、説明できたか。
②子どもの発達段階に合わせた保育計画を作成することができたか。
③全体的な計画と指導計画について、発達段階別に発表することができたか。

**《参考図書》**
適宜紹介します。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション・保育における計画の意義 | 復習内容：保育における計画の意義について説明できるようにしておくこと（30分） |
| 2 | 日本における保育計画の歴史と現状 | 復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 3 | 各指針、要領での保育計画と評価の位置づけ | 予習内容：幼稚園教育要領、保育所保育指針の保育計画・評価に関する箇所について読んでおくこと（30分）復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 4 | 幼稚園の教育課程の編成について | 予習内容：幼稚園教育要領の保育計画に関する箇所について読んでおくこと（30分）<br>復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 5 | 保育所・認定こども園等の全体的な計画について | 予習内容：保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領の保育計画に関する箇所について読んでおくこと（30分）復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 6 | 保育の評価 | 予習内容：各指針・要領の保育の評価に関する箇所について読んでおくこと（30分）<br>復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 7 | 指導計画の書き方 | 予習内容：各指針・要領の保育の計画に関する箇所について読んでおくこと（30分）<br>復習内容：授業ノート・配布資料の振り返り（30分） |
| 8 | ０歳児の指導計画と評価 | 予習内容：０歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成（40分）<br>復習内容：模擬保育の振り返り（30分） |
| 9 | ３～４歳児の指導計画と評価 | 予習内容：３～４歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成（40分）<br>復習内容：模擬保育の振り返り（30分） |
| 10 | １～２歳児の指導計画と評価 | 予習内容：１～２歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成（40分）<br>復習内容：模擬保育の振り返り（30分） |
| 11 | ５歳児の指導計画と評価 | 予習内容：５歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成（40分）<br>復習内容：模擬保育の振り返り（30分） |
| 12 | 小学校との接続の視点からみた保育計画と評価 | 予習内容：各指針・要領の保育の小学校との接続に関する箇所について読んでおくこと（30分）復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 13 | 評価の可視化のためのドキュメンテーション① | 予習内容：保育のドキュメンテーションについて調べてくる（30分）<br>復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 14 | 評価の可視化のためのドキュメンテーション② | 復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |
| 15 | まとめ | 復習内容：授業ノートの振り返り（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 幼児と健康 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 谷川　裕子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
幼児の健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養うための「健康」の意義を捉える。
子どもを取り巻く生活環境から、幼児期の身体や運動機能発育発達を踏まえ、生活習慣および安全教育などへの理解を深める。

**《授業の到達目標》**
心身の健康に関する領域「健康」意義について理解する。また幼児期の発育・発達の特徴とその意味を理解し、子どもが健康で安全生活を送るための知識を身につけ、健康支援ができるようになる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　50%
課題　20%
授業の取組　30%

**《教科書》**
特に指定しません。授業に必要な資料は授業時に配布いたします。

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業内の課題やリアクションペーパー等の提出物に関しては、理解度を確認し適宜フィードバック等を行い返却する。

**《成績評価基準》**
1.保育内容「健康」の意義について専門的な知識を習得し、説明することができる。
2.幼児期の発育発達の特徴と意味を理解し、子どもの取り巻く環境や要因について説明することができる。
3.子どもが健康で安全な生活を送るための保育者の援助や支援の方法などについて具体的に説明することができる。

**《参考図書》**
幼稚園教育要領
保育所保育指針
幼保連携型認定こども園教育・保育要領

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 「健康」とは何か | 「子どもらしい生活」についてまとめる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 2 | 子どもにとっての健康の意味 | 子どもの健康を捉える視点としてどのような視点が重要か考える（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 3 | 子どもの「健康」を取り巻く現状と課題 | 生活環境について調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 4 | 子どもの心身の発育発達/発育発達の構成要因 | スキャモンの発育曲線について調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 5 | 幼児期の身体の特徴 | 自分自身の出生児の身長・体重等について調べる　（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 6 | 幼児期の生理的機能の発達 | 大人と子どもの生理的機能の働きについて調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 7 | 幼児期の情緒・社会性の発達 | 子どもの遊びの変化について調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 8 | 幼児期の基本的生活習慣の形成 | 自分自身の現在と幼児期の生活習慣についてまとめる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 9 | 幼児期の健康的な生活リズム | 一日の生活活動時間についてまとめる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 10 | 幼児期の安全管理・安全教育 | 子どもの事故やけがの特徴について調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 11 | 幼児期の健康管理・保健指導 | 自分自身の予防接種について調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 12 | 幼児期の運動発達の特徴/動作の獲得や運動能力 | 協応作用について調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 13 | 幼児期の運動遊び | 幼児期の遊びの内容をまとめる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 14 | 子どもが健康で安全な生活を送るための支援 | 虐待やネグレクトの原因について調べる（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |
| 15 | まとめ | これまでの授業全般について振り返る（30分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 幼児と言葉 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 下稲　美里 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】　領域「言葉」の指導の基盤となる保育内容「言葉」に関する基本の専門的知識を習得する。保育事例や保育に関する映像等をもとに、子どもの言葉の獲得に繋がる保育とは何かを考えていく。子どもの言葉を豊かにするために、保育者としてどのような援助や配慮が必要かを具体的に考え、グループワークで共有していく。また、児童文化財を用いた実践を行い、保育技術のスキルを身に付ける。

**《授業の到達目標》**

1.　保育内容「言葉」の意義や子どもの言葉の発達、領域「言葉」のねらい及び内容、児童文化財に関する基本的な専門知識を習得し、説明したり、それらに関する質問に答えたりすることができる。　2. 言葉の発達を支援する保育者の役割を学び、援助方法や配慮等を具体的に述べることができる。　3. 児童文化財「絵本」「ストーリーテリング」「言葉遊び」の意義や実践方法等の基本を理解し、実際に実践することができる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　50%　レポート　0%
課題　20%　実技　15%
授業の取組　15%
その他（　　）　0%

**《教科書》**

『保育者をめざす人の保育内容「言葉」』（2017年）駒井美智子（編）みらい

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

毎授業の終盤で授業を振り返り、感想の記入を求めるが、授業内容に捉え方のずれや質問が記入されている場合は、授業内で全体に解説を行う。
試験のフィードバックとして、解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**

1. 授業に意欲的に参加できたか。
2. 感想等の課題に真摯に取り組み、期日までに提出ができたか。
3. 本授業で学んだことを自分の言葉で説明したり、述べたりすることができ、授業の到達目標が達成できたか。
4. 児童文化財の意義や基本的知識を習得し、実践できたか。

**《参考図書》**

幼稚園教育要領（2017年）文部科学省、保育所保育指針（2017年）厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（2017年）内閣府他　　その他は、授業内で適宜紹介する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション ～幼児教育の基本について | ■予習内容　教科書に目を通すこと（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 2 | 保育内容「言葉」の意義 | ■予習内容　教科書pp.13-24を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 3 | 子どもの言葉の発達過程（0・1・2歳児） | ■予習内容　教科書pp.39-45、63-70を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 4 | 子どもの言葉の発達過程（3・4・5歳児） | ■予習内容　教科書pp.45-50、70-74を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 5 | 領域「言葉」のねらい及び内容と保育 | ■予習内容　教科書pp.25-38を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 6 | 児童文化財の意義と種類、歴史 | ■予習内容　教科書pp.99-139を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 7 | 言葉に対する感覚① ～言葉の美しさや楽しさ | ■予習内容　教科書pp.115-126を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 8 | 言葉に対する感覚② ～「言葉遊び」の実践 | ■予習内容　「言葉遊び」について調べる（30分）<br>□復習内容　「言葉遊び」の実践を復習する（30分） |
| 9 | 言葉の発達における「絵本」の意義 | ■予習内容　教科書pp.99-102を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 10 | 「絵本」の読み聞かせの基本と実践 | ■予習内容　教科書pp.102-104を熟読する。絵本を2冊準備し、下読みする（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 11 | 「紙芝居」の意義と歴史、演じ方の基本 | ■予習内容　教科書pp.110-113を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 12 | 季節と遊び「かるた」作りと実践 | ■予習内容　かるたの歴史、種類、遊び方について調べる（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 13 | ストーリーテリングの意義と歴史、話し方の基本 | ■予習内容　教科書pp.104-110を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　ストーリーテリングのおはなしを1つ覚える（30分） |
| 14 | 言葉の発達を支援する保育者の言葉 | ■予習内容　教科書pp.87-95を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 15 | まとめ | ■予習内容　第1～14回授業の資料等を振り返り、整理する（30分）<br>□復習内容　第1～15回授業の資料等を振り返り、整理する（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 幼児と表現 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩、和田　紘平 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
幼児期の表現について事例や画像資料等を使いながらレクチャーを行う。また授業を通して体験したことや考えたこと取り組んだ活動などをポートフォリオとしてまとめていくなど、活動しながら学ぶ授業とする。

**《授業の到達目標》**
○領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因について説明することができる。
○幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項について説明することができる。
○幼児の感性や創造性を豊かにするための保育者の役割について理解し説明することができる。

**《成績評価の方法》**
レポート　50%
課題　50%

**《教科書》**
保育内容領域表現　日々わくわくを生きる子どもの表現
堂本真実子　編著　わかば社
幼稚園教育要領解説　フレーベル館

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出課題については、2週間以内にコメントをつけて返却する

**《成績評価基準》**
○領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因について説明することができたか。
○幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項について説明することができたか。
○幼児の感性や創造性を豊かにするための保育者の役割について理解し説明することができたか。

**《参考図書》**
幼稚園教育要領解説
保育所保育指針解説書、
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 領域「表現」の持つ意味について | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 2 | 幼児の発達と素朴な表現について① | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 3 | 幼児の発達と素朴な表現について② | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 4 | 環境の構成と表現について | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 5 | 生活の中にある表現について①文化的環境 | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 6 | 生活の中にある表現について②自然環境 | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 7 | 生活の中にある表現について③音探し | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 8 | 生活の中にある表現について④季節と行事 | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 9 | 「子どもの表現の見方」について | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 10 | 感性を育む①<br>造形的視点から | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 11 | 感性を育む②<br>音楽的視点から | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 12 | 表現を支える保育者の基本的なあり方 | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 13 | 子どもの豊かな表現を引き出す | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:授業での気づきを付箋にまとめる（30分） |
| 14 | 表現の楽しさはどこから来るのか | 予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習:半期の学びをまとめる（30分） |
| 15 | 半期の学びを振り返る | 予習:これまでの学びをポートフォリオにまとめる（30分）<br>復習:半期の学びを振り返る（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 幼児教育方法論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 溝上　敦子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

幼児教育の基本的な指導原理や理論を理解し、さまざまな教育方法を身につけ、具体的に指導案として構想できるようにする。また、幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を理解し、情報機器なとも適宜に取り入れながら保育技術の向上を図る。授業では、実践的に指導案・ドキュメントの作成や模擬授業、またグループでの協同学習などを取り入れ学びを深める。

**《授業の到達目標》**

１ 幼児教育の基礎的な理論と方法や教育方法の在り方を理解し、具体的な形で説明することができる。
２ 保育を構成する基礎的要件を理解し具体的に活用できる。
３ 幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を説明できる。
４ 教育の目的に適した基本的な指導技術を身につけ、基礎的な学習指導理論をもとに指導案を作成することができる。
５ 保育に適した情報機器の基礎的な活用能力を習得する。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　60%
課題　20%
授業の取組　20%

**《教科書》**

小田豊・中坪史典 編著『幼児理解からかじまる保育・幼児教育方法〔第2版〕』（2020）建帛社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

提出した課題レポートについては、2週間以内に評価し返却する。
筆記試験については、総括・まとめの時間で解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**

１幼児教育の基礎的な理論と方法等を理解し説明できるか。
２保育を構成する基礎的要件を理解し活用できたか。
３幼児理解に基づく評価の基礎的な考え方を説明できるか。
４教育の目的に適した基本的な指導技術を身につけ、基礎的な学習指導理論をもとに指導案を作成することができたか。
５保育場面での基礎的な情報機器の活用能力を習得できたか。

**《参考図書》**

『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針解説』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館(2018)、神長美津子 他編『保育方法論』光生社（2021）

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／保育の方法とは | 事前の配布資料をもとに事前学習に取り組む。2時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 2 | 幼児期の教育方法/子ども理解の方法 | 教科書pp.1～6に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 3 | 幼児期の発達特性/幼児理解と保育者の援助 | 教科書pp.7～14に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 4 | 環境を通しての保育/保育計画と環境構成 | 教科書pp.15～22に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 5 | 遊びを通しての保育/幼児の遊びと発達 | 教科書pp.23～32、pp.43～50に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 6 | 保育形態と援助方法/協同する経験と援助 | 教科書pp.51～58、事前配布資料に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 7 | 幼児同士のトラブルと保育者の援助/保護者対応 | 教科書pp.33～42、pp.59～68、に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 8 | 幼児教育における健康及び安全指導・食育 | 教科書pp.69～78に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 9 | 幼児教育における特別支援教育/家庭との連携 | 教科書pp.79～90、pp.101～110に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 10 | 「主体的・対話的で深い学び」と教材研究 | 事前資料の配布で予習する。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 11 | 教材作成と保育での活用方法（情報機器の活用） | 事前資料の配布で予習する。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 12 | 家庭・地域との連携/幼・保・小連携 | 教科書pp.91～110に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 13 | 保育者の省察を促す保育記録　（評価・改善） | 教科書pp.111～120に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 14 | 保育者の研修と資質上/省察とカンファレンス | 教科書pp.121～130に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 15 | 総括・まとめ | 前週に説明した重点内容に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の振り返り。２時間 |

《専門科目》

| 科目名 | 乳児保育Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 城　真衣子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
前期で学んだ乳児保育の目的や意義、3歳未満児の発達や保育内容等の理解を踏まえ、実践を通してより具体的に学び実践を身につける。

**《授業の到達目標》**
①3歳未満児の発育、発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本の理解を確認する。②3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境設定について理解し、自ら説明することができる。③乳児保育における配慮の実際について実践を通して学び、その方法が身につく。④乳児保育の計画について発達を踏まえ作成することができる。実際の事例を記録にとって計画につなげることができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　50　%　レポート　20　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　30　%　その他（　　）　　%

**《教科書》**
『乳児保育の基礎と実践』関根久美・山本智子　大学図書出版

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験のフィードバックとして講評や解説の時間を設ける。授業内に配布するワークシートについては、次回の授業内で授業に反映させる又はコメントをつけて返却する。

**《成績評価基準》**
①前期の授業の内容を理解しているか授業内で確認（ミニテスト）を行う。後期の授業内での理解については試験にて評価する。②毎授業で配布するワークシートや必要に応じて出された宿題にて評価を行う。
③実践の発表により評価を行う。④ワークシートと課題で評価を行う。

**《参考図書》**
適宜紹介します

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 乳児保育の基本 | 予習：前期の授業の振り返りをしてくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 2 | 0歳児クラスの生活の流れ | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 3 | 0歳児クラスの保育環境 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 4 | 0歳児クラスの援助の実際 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 5 | 1歳児クラスの生活の流れ | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 6 | 1歳児クラスの保育環境 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 7 | 1歳児クラスの援助の実際 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 8 | 2歳児クラスの生活の流れ | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 9 | 2歳児クラスの保育環境 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 10 | 2歳児クラスの援助の実際 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 11 | 心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 12 | 集団での生活における配慮 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 13 | 環境の変化や移行に対する配慮 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 14 | 長期的な指導計画と短期的な指導計画 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |
| 15 | 個別的な指導計画と集団の指導計画 | 予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる<br>復習：授業ワークシートの復習部分を行う |

《専門科目》

| 科目名 | 子どものためのピアノ表現Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、和田　紘平、加藤　みゆき、室北　昌子、巣山　千恵、小柳　厚子、横須賀　紋子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】
ピアノ及び子どもの歌弾き歌いの基礎的な演奏技術を習得するためグループレッスンと個人レッスンを受講する。前期に学んだ音楽表現の知識を実際にピアノ演奏に活かし、表現方法など演奏技術を習得する。演奏できるようになることで、音楽表現の喜びや楽しさを実感する。

**《授業の到達目標》**
・幼児の音楽教育の中で必要とされるピアノ演奏技術の習得にあたり、楽譜に書かれた音楽の諸要素について解釈し説明することができる。
・バイエル教則本70番程度の楽曲について、ピアノで表現することができる。
・付点リズムを含む子どもの歌をピアノで伴奏しながら歌うことができる。

**《成績評価の方法》**
課題　25%(音楽表現ノートを含む)
実技　50%
授業の取組　25%

**《教科書》**
[教職課程のための大学ﾋﾟｱﾉ教本-ﾊｲｴﾙｰﾂｪﾙﾆｰによる展開]教育芸術社
[あなたも弾けるやさしい童謡唱歌集]木村鈴代編著同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
音楽表現ノートを、毎回授業時に教員に提出する。
ノートの記述内容は、授業内での学び、アドバイス、各自の練習計画(予習・復習を含む）を記入する。
授業内に教員のコメント記入後、ノートを受け取り、次回に備える。

**《成績評価基準》**
・楽譜に書かれた音楽の諸要素を解釈し、音楽用語を用いて教員とコミュニケーションをとることができるか。
・バイエル70番程度の楽曲をピアノ演奏できるか。
・子どもの歌を、前奏をつけ、歌い出しの合図を言い、正しいリズムでピアノ伴奏をしながら、正しい音高及びリズムでの歌唱ができるか。

**《参考図書》**
随時指示する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 2 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ① | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 3 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ② | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 4 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ③ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 5 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ④ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 6 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑤ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 7 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑥ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 8 | 中間発表会 | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:中間発表会の成果と反省をまとめ、次の楽曲を弾き込む（30分） |
| 9 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑦ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 10 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑧ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 11 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑨ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 12 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑩ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 13 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑪ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 14 | ﾋﾟｱﾉ個人ﾚｯｽﾝ・弾き歌いｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑫ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |
| 15 | ピアノ表現及び弾き歌い表現技術発表 | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分)<br>復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分) |

《専門科目》

| 科目名 | 保育所実習Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について10日間の実習を通して総合的に学び、保育の計画・観察・記録及び自己評価について具体的に理解する中で、保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。

**《授業の到達目標》**
1.保育所の役割や機能を具体的に理解する。2.観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。3.既習の科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。4.保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。5.保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。

**《成績評価の方法》**
実技　60%
事前指導・事後指導・実習報告会・提出物　40%

**《教科書》**
『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』 石橋裕子・林 幸範　 同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
直前指導時に記入したワークシートは、事後指導時に返却する。
事後指導時に記入したワークシートは、次年度「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」の授業内で返却する。
実習終了後に提出した実習日誌については、次年度行われる実習報告会までに返却する。

**《成績評価基準》**
1.保育所の役割や機能を具体的に理解できたか。2.観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めることができたか。3.既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解できたか。4.保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解できたか。5.保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解できたか。

**《参考図書》**
『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』小櫃智子（編）わかば社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:事前のオリエンテーションまでに、実習先の種別･内容等を理解する。(1時間)<br>復習:実習先での指導内容をまとめ、課題(指導案･教材）の準備をする。(１時間) |
| 2 | 直前指導⑴ | 予習:様々な授業での学習､ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝの学びを振り返り､準備をする。(1時間)<br>復習:直前指導内容を再確認し、実習の目標を明確にする。(1時間) |
| 3 | 直前指導⑵ | 予習:前回授業の内容を含め総合的に実習に備える。(１時間)<br>復習:実習への準備物などの最終チェックをする。(１時間) |
| 4 | 実習1日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入､必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 5 | 実習2日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入､必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 6 | 実習3日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 7 | 実習4日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 8 | 実習5日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 9 | 実習6日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 10 | 実習7日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 11 | 実習8日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 12 | 実習9日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 13 | 実習10日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を総合的に振り返り､日誌を記入、お礼状も準備をする。(１時間) |
| 14 | 事後指導 | 予習:目標達成､授業と実習の往還､必要な報告内容等､総合的に振り返る。(１時間)<br>復習:実習全般を総合的に振り返る。実習報告会の準備をする。(１時間) |
| 15 | 実習報告会 | 予習:報告会に必要な準備物、報告内容を再度確認する。(１時間)<br>復習:報告会での学び､自己の振り返りから､次に活かす内容を考察する。(1時間) |

《専門科目》

| 科目名 | 施設実習Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】
各種施設で現地実習を通して、施設での業務内容、施設の役割、利用者への支援方法、記録方法など実践活動を通して学ぶ。施設で働く職員の資質を習得する。10日間の現地実習を実施する。

**《授業の到達目標》**

・施設が専門分化した機能を担っていることを解釈できる。
・施設の利用者への支援が実践できる。
・施設職員の業務内容を行うことができる。
・施設職員とのコミュニケーションを図ることができる。
・関連機関との連携について解釈できる。
・実習生として真摯な態度で積極的に学ぶことができる。

**《成績評価の方法》**

実技　　60%
授業の取組　40%

**《教科書》**

新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版　[編著]石橋裕子・林 幸範
同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

実習先の評価結果をフィードバックする。実習先の評価と自身の評価を比較、省察し、自ら課題を見つめ直し、次の実習に活かす。

**《成績評価基準》**

・実習先施設の専門分化した機能について理解できたか。
・施設の利用者への対応、支援を体験できたか。
・施設職員の業務内容を理解できたか。
・施設職員とのコミュニケーションを図ることができたか。
・関連機関との連携について理解できたか。
・実習生として真摯な態度で積極的に学ぶことができたか。

**《参考図書》**

随時提示する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:事前のオリエンテーションまでに、実習先の種別･内容等を理解する。(1時間)<br>復習:実習先での指導内容をまとめ、課題(指導案･教材）の準備をする。(１時間) |
| 2 | 直前指導⑴ | 予習:様々な授業での学習､ｵﾘｴﾝの学びを総合的に振り返り､準備をする。(1時間)<br>復習:直前指導内容を再確認し、実習の目標を明確にする。(1時間) |
| 3 | 直前指導⑵ | 予習:前回授業の内容を含め総合的に実習に備える。(１時間)<br>復習:実習への準備物などの最終チェックをする。(１時間) |
| 4 | 実習初日 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入､必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 5 | 実習2日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入､必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 6 | 実習3日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 7 | 実習４日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 8 | 実習5日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:巡回指導を含め日誌を記入､必要に応じて巡回に連絡をする。(１時間) |
| 9 | 実習6日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、巡回指導内容を振り返る。(１時間) |
| 10 | 実習7日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 11 | 実習8日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 12 | 実習9日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 13 | 実習10日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を総合的に振り返り､日誌を記入、お礼状も準備をする。(１時間) |
| 14 | 事後指導 | 予習:目標達成､授業と実習の往還､必要な報告内容等､総合的に振り返る。(１時間)<br>復習:実習全般を総合的に振り返る。実習報告会の準備をする。(１時間) |
| 15 | 実習報告会 | 予習:報告会に必要な準備物、報告内容を再度確認する。(１時間)<br>復習:報告会での学び､自己の振り返りから､次に活かす内容を考察する。(1時間) |

《専門科目》

| 科目名 | 保育実習指導ⅠＢ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、和田　紘平、下稲　美里、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
保育実習指導ⅠＡの内容を復習しながら、施設実習の概要や業務内容を学ぶ。実習日誌の作成方法を演習を通して学ふ。保育所実習の概要や業務内容を学ぶ。実習日誌の作成方法や指導案の作成方法を演習を通して学ぶ。保育実習Ⅰの実践において、実習と授業の往還が実現し得る基盤作りをする。

**《授業の到達目標》**
・施設実習および保育所実習の意義と目的を説明できる。
・実習における子どもの人権と最善の利益の考慮、守秘義務について理解し説明できる。
・実習の計画、実践、観察、記録、評価方法について理解し説明できる。
・実習における自身の課題や学習目標を明確にすることができる。

**《成績評価の方法》**
レポート　50%
授業の取り組　30%
その他(提出物)　20%

**《教科書》**
新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版　[編著]石橋裕子・林 幸範
同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
課題の内容に対する解説の時間を、随時設ける。

**《成績評価基準》**
・施設実習および保育所実習の意義と目的を説明できたか。
・実習における子どもの人権と最善の利益の考慮、守秘義務について理解し説明することができたか。
・実習の計画、実践、観察、記録、評価方法について理解し説明することができたか。
・実習における自身の課題や学習目標を明確にできたか。

**《参考図書》**
実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド 小櫃智子編著
わかば社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:ⅠAでの学習内容を総復習する。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 2 | 施設実習Ⅰの概要 | 予習:教科書26～33頁を読む。施設の一日見学実習の振り返りをする。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 3 | 施設の概要⑴<br>日誌の書き方⑴ | 予習:教科書34～43頁、参考書12～19頁を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 4 | 施設の概要⑵<br>日誌の書き方⑵ | 予習:教科書44～53頁、参考書20～25を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 5 | 施設の概要⑶<br>日誌の書き方⑶ | 予習:教科書54～71頁、参考書30～35頁を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 6 | 施設種別指導⑴ | 予習:教科書82～103頁を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 7 | 施設種別指導⑵ | 予習:自分の実習先に関しての知識を深める。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 8 | 施設実習Ⅰ直前指導 | 予習:ⅠB授業内容を振り返り、実習に備える。(1時間)<br>復習:直前指導内容を振り返り、実習の準備をする。(1時間) |
| 9 | 保育所実習Ⅰの概要 | 予習:教科書150～151頁を読む。前期ⅠAでの学びを振り返る。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。提出期限前に書類を準備する。(1時間) |
| 10 | 実習日誌⑴ | 予習:参考書12～17頁、22～25頁、34～47頁を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 11 | 実習日誌⑵ | 予習:教科書180～197頁、参考書48～64頁を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 12 | 実習日誌⑶ | 予習:前回までの授業内容を振り返り、実践できるように理解する。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 13 | 指導案の書き方⑴ | 予習:教科書192～193頁、参考書66～75頁を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 14 | 指導案の書き方⑵ | 予習:参考書76～101頁を読む。(1時間)<br>復習:授業内容を整理し、理解する。(1時間) |
| 15 | まとめ　模擬保育<br>保育実習Ⅰ直前指導 | 予習:模擬保育の準備をする。準備物を作成し模擬保育の練習をする。(1時間)<br>復習:直前指導の内容を整理し、保育実習に備える。(1時間) |

《専門科目》

| 科目名 | 教育実習指導Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩、溝上　敦子、辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【幼稚園教諭必修】幼稚園教育の概要と教育実習の意義・目的、実習生の心構えなどを体験的に学ぶとともに、本実習に関する依頼電話及び一日見学実習を含めた事前訪問についての礼儀、社会人としての態度について身に付けていく。また、一日見学実習を通して、幼児の活動を発達、生活、保育内容と関連づけて学び、幼児の活動と園生活全体について理解を深め、自己評価に基づき今後の教育実習に向けた自己課題を立てる。

**《授業の到達目標》**

1.教育実習の意義・目的を関連づけて自己課題を整理し、具体的に述べることができる。 2.実習の流れを理解し、きちんと書類作成や事前訪問を行うことができる。 3.一日見学実習に意欲的に参加し、観察を通しての気付きを実習日誌に的確に記入することができる。 4.一日見学実習の事後指導や総括を通して、自己評価と今後の自己課題を具体的に述べることができる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　0%　レポート　0%
課題　40%　実技　30%
授業の取組　30%
その他（　　）　0%

**《教科書》**

『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』（2015年）小櫃智子（編）わかば社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

一日見学実習日誌、お礼状、自己課題（PDCAサイクルシート）については、評価した後、教育実習指導IIで返却し、本実習に役立てる。

実習の手続きに関する書類は提出を求め、添削して適宜指導を行う。

**《成績評価基準》**

1.教育実習の意義・目的を関連づけて自己課題を整理し、具体的に述べることができたか。 2.実習の流れを理解し書類作成や事前訪問を行うことができたか。 3.一日見学実習に意欲的に参加し、観察を通しての気付きを実習日誌に的確に記入することができたか。 4.一日見学実習の事後指導や総括を通して、自己評価と今後の自己課題を具体的に述べることができたか。

**《参考図書》**

『幼稚園教育要領解説』（2017年）文部科学省 フレーベル館
『新訂　知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』　石橋裕子・林幸範（編）　同文書院

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション、教育実習、免許について | ■予習内容　シラバス、学生便覧「教職課程履修内規」に目を通す（30分）<br>□復習内容　実習希望園について調べ、実習園希望調査票を記入し提出する（30分） |
| 2 | 教育実習の意義と目的<br>実習生の心構え | ■予習内容　教育実習の意義、目的、実習生の心構えについて調べ整理する（30分）<br>□復習内容　記入上の留意事項を確認しながら実習生調査票を作成する（30分） |
| 3 | 実習日誌の記入の仕方について① | ■予習内容　日誌の意義、目的について教科書を読み、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 4 | 実習日誌の記入の仕方について② | ■予習内容　日誌の意義、目的について教科書を読み、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り留意事項を整理する（30分） |
| 5 | 実習報告会に向けてラベルワーク | ■予習内容　2年生に質問したいことを整理する（30分）<br>□復習内容　実習報告会に向けて質問の準備をする（30分） |
| 6 | 1・2年生合同教育実習報告会 | ■予習内容　実習経験者へ質問したい内容を整理し、質問の準備をする（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 7 | 2年生から学んだこと<br>幼稚園の一日と仕事内容 | ■予習内容　2年生から学んだことを整理する。<br>□復習内容　教育実習報告会で学んだことを整理する（30分） |
| 8 | 幼稚園一日見学実習直前指導・自己課題について | ■予習内容　実習への持参物、留意事項等の確認（30分）<br>□復習内容　一日見学実習に向けて、授業で学んだことを復習し、準備をする（30分） |
| 9 | 幼稚園一日見学実習 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（30分）<br>□復習内容　実習日誌・お礼状を下書きし清書する（30分） |
| 10 | 一日見学実習事後指導<br>一日見学実習報告会準備 | ■予習内容　一日見学実習で学んだことや今後の課題を整理する（30分）<br>□復習内容　発表原稿を整理し発表の練習をする（30分） |
| 11 | 幼稚園一日見学実習報告会 | ■予習内容　幼稚園一日見学実習報告会に向けて発表の準備をする（30分）<br>□復習内容　実習報告会を省察する（30分） |
| 12 | グループワーク・実習での学びの振り返り① | ■予習内容　課題のワークシートをまとめる（30分）<br>□復習内容　グループ内での学びを自分なりに整理する（30分） |
| 13 | グループワーク・実習での学びの振り返り② | ■予習内容　課題のワークシートをまとめる（30分）<br>□復習内容　グループによる学び合いを省察する（30分） |
| 14 | 一日見学実習日誌のフィードバック | ■予習内容　実習日誌について、教科書を読んで理解を深める（30分）<br>□復習内容　実習日誌の記入の仕方、留意事項等を振り返り、整理する（30分） |
| 15 | 総括・本実習に向けて | ■予習内容　授業や実習を振り返り、本実習に向けた自己課題を明確にする（30分）<br>□復習内容　第1回～14回授業を振り返り、学んだことや自己課題を整理する（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 学外文化研修 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
事前研修：訪問する地域、施設等の特徴や文化、保育および幼児教育事情について調べる。
研修旅行：4～5日程度の学外（海外または国内）研修旅行を実施する。
事後研修：事前研修段階から研修旅行を通して調査、体験したことをレポートにまとめる。

**《授業の到達目標》**
1．学外（海外または国内）の文化、生活、保育・幼児教育について調べ、知識を得る。
2．異文化を体験し、理解しあう視点とコミュニケーション能力を身につける。
3．準備段階から主体的に計画し、目的意識を持って活動し、得られたことを記録しプレゼンテーションすることができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　%　レポート　%
課題　20%　実技　%
授業の取組　80%
その他（　　）　%

**《教科書》**
適宜資料を配付

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
発表については講評を行う。

**《成績評価基準》**
研修への参加態度：主体性、積極性、協調性、マナーなど
事前研修：取り組み、課題の遂行状況
事後研修：取り組み、レポートの提出、発表内容・態度

**《参考図書》**
各研修地についての参考文献、ガイドブック

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／学外研修の意義と概要 | 予習：訪問地について概要を調べる（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理しておく（1時間） |
| 2 | 事前研修①　旅行に必要な準備、計画 | 予習：研修旅行にあたり必要なことや希望を考えておく（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理しておく（1時間） |
| 3 | 事前研修②　見学予定地についての研究 | 予習：見学予定地、施設について調べる（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理しておく（1時間） |
| 4 | 事前研修③　見学予定地についての研究発表 | 予習：見学予定地、施設について調べたことを説明できるように準備する（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理しておく（1時間） |
| 5 | 事前研修④　グループ研修内容について | 予習：グループ研修の内容について提案できるよう準備する（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理しておく（1時間） |
| 6 | 事前研修⑤　研修計画の検討とまとめ | 予習：研修全体の計画についてまとめておく（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理しておく（1時間） |
| 7 | 事前研修⑥　直前指導、健康・安全管理 | 予習：旅行の準備について個人で確認を行う（1時間）<br>復習：直前の準備確認、体調管理（1時間） |
| 8 | 学外研修（8時間） | 予習：体調管理し、旅行の直前準備をする（1時間）<br>復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする（1時間） |
| 9 | 学外研修（8時間） | 予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する（1時間）<br>復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする（1時間） |
| 10 | 学外研修（8時間） | 予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する（1時間）<br>復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする（1時間） |
| 11 | 学外研修（8時間） | 予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する（1時間）<br>復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする（1時間） |
| 12 | 学外研修（8時間） | 予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する（1時間）<br>復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする（1時間） |
| 13 | 事後研修①<br>研修のふり返り | 予習：研修旅行内容についての記録を整理する（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理する（1時間） |
| 14 | 事後研修②<br>レポート作成 | 予習：研修によって学んだことを整理し、レポート作成の準備をする（1時間）<br>復習：授業内容をふり返り、整理する（1時間） |
| 15 | 事後研修③<br>研修体験発表会 | 予習：研修体験についての発表に向けて準備する（1時間）<br>復習：研修での学びを整理する（1時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 児童館・放課後児童クラブの機能と運営 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 岩崎　由樹巳 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
児童館・放課後児童クラブの活動の基本理念である「健全育成」の視点について学ぶ。児童館・放課後児童クラブでの実践活動や課題、講師の失敗談などを紹介しながら理解を深める。また、児童館で行われている工作や遊びを体験し、実践力を高める。

**《授業の到達目標》**
①児童館・放課後児童クラブの基本的な機能を説明できるようになる。
②現代の子どもたちの福祉的課題について理解し、さまざまな居場所の必要性について理解する。
③発達段階に応じた遊びの必要性について各々の言葉で説明できるようになる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　70%　（レポートを含む）
課題　20%
授業の取組　10%

**《教科書》**
児童館論（児童健全育成推進財団）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
課題の評価は後日コメントを付けて返却
第15回のまとめの時間にて行う。

**《成績評価基準》**
①児童館・放課後児童クラブの基本的機能を説明できること。
②発達に応じた遊びの必要性を各々のことばで説明できること。

**《参考図書》**
適宜

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習：全国の児童館について調べておく（２時間）<br>復習：講義の内容を読みかえす。（２時間） |
| 2 | 児童福祉法の理念と健全育成 | 予習：現代の子どもの福祉的課題について調べておく（２時間）<br>復習：講義の内容を読みかえす（２時間） |
| 3 | 子どもの発達と遊び | 予習：子どもの頃に夢中になった遊びをまとめておく（２時間）<br>復習：講義の内容を読みかえす（２時間） |
| 4 | 児童館・放課後児童クラブの成り立ち | 予習：テキストを読んでおく（２時間）<br>復習：講義の内容を振り返る（２時間） |
| 5 | 児童館・放課後児童クラブってどんなところ？ | 予習：児童館・放課後児童クラブについて調べる（２時間）<br>復習：講義の内容を読みかえす（２時間） |
| 6 | 児童館ガイドライン①<br>理念について | 予習：テキストの児童館ガイドラインを読んでおく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 7 | 児童館ガイドライン②<br>子どもの居場所 | 予習：テキストの児童館ガイドラインを読んでおく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 8 | 児童館ガイドライン③<br>子育て支援について | 予習：テキストの児童館ガイドラインを読んでおく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 9 | 放課後児童クラブについて | 予習：放課後児童クラブについて調べておく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 10 | 児童館と地域とのつながり | 予習：テキストの地域とのつながりを読んで、関連事項を調べておく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 11 | 安全管理・対策について | 予習：テキストの安全対策について読んでおく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 12 | 配慮を必要とする子どもたちの居場所 | 予習：テキストの配慮の必要な子どもたちを読んで関連事項を調べておく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 13 | 児童館・放課後児童クラブの職場倫理 | 予習：テキスト、児童館ガイドラインを読んでおく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 14 | 児童館・放課後児童クラブのこれから | 予習：今までの講義の内容を読んでおく（２時間）<br>復習：講義の内容をまとめておく（２時間） |
| 15 | まとめ | 予習：今までの講義の内容を読んでおく（２時間）<br>復習：まとめ |

《専門科目》

| 科目名 | レクリエーション概論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 原田　弘美 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
レクリエションという言葉の主旨が「心を元気にすること」であることを理解し、楽しさを通した心の元気づくりを行う手段としてのレクリエーション活動を有効に展開するための理論と対象や現場に合わせてレクリエーション事業を支援するためのインストラクターについての役割を理解する。

**《授業の到達目標》**
1.レクリエーションの意義や理論について理解する。
2.対象に合わせたレクリエーションのアレンジ方法を理解する。
3.レクリエーション事業について理解し、計画することができる。

**《成績評価の方法》**
筆記60%
授業の取組40%

**《教科書》**
『楽しさをとおした心の元気づくり　レクリエーション支援の理論と方法』（2017年）日本レクリエーション協会

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出課題等は評価・フィードバックをした上で返却を行う。

**《成績評価基準》**
1.レクリエーションの意義や理論について理解し、説明することができる。
2.対象に合わせたレクリエーションのアレンジ方法を理解し、実践することができたか。
3.レクリエーション事業について理解し、具体的な計画立てることができたか。

**《参考図書》**
『レクリエーション支援の基礎　楽しさ・心地よさを活かすと理論と技術』（2007年）日本レクリエーション協会

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション/資格取得に関して | 学生便覧資格取得についてを精読。関連するニュースや記事を調べる。（120分）<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 2 | レクリエーション支援/インストラクターの役割 | 教科書p4～8を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 3 | レクリエーションとは | 教科書p9～17を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 4 | 楽しさを通した心の元気づくり | 教科書p20～32を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 5 | 心の元気と地域のきずな | 教科書p33～36を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 6 | コミュニケーションと信頼づくりの理論 | 教科書p38～41を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 7 | 信頼関係づくりの理論 | 教科書p42～43を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 8 | 良好な集団づくりの理論 | 教科書p44～49を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 9 | 自主的、主体的に楽しむ力 | 教科書p50～55を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 10 | レクリエーション活動の展開とアレンジ | 教科書p66～82を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 11 | 支援場面におけるリスクマネジメント | 参考資料を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分)<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 12 | レクリエーション事業 | レクリエーションイベントに関するニュースや記事を調べる。（120分）<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 13 | レクリエーション事業の計画① | 具体的なレクリエーション活動について調べる。（120分）<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 14 | レクリエーション事業の計画② | 計画したレクリエーションイベントの全体構成を見直しておく。（120分）<br>今回の授業内容の復習（120分） |
| 15 | レクリエーション事業の提案/まとめ | 計画したレクリエーションイベントの発表の準備を行う。（120分）<br>今回の授業内容の復習（120分） |

《専門科目》

| 科目名 | レクリエーション実技Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 原田　弘美 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
様々な体験活動を通して、レクリエーション活動の意義や楽しい人間関係を構築する支援者の考え方などを学ぶ。また、レクリエーション活動の多様さを理解し、 集団や個人、環境に応じたレクリエーションの選定や提供の仕方、レクリエーション活動の展開方法などといった支援・援助の方法について学ぶ。

**《教科書》**
「レクリエーション指導者ハンドブック」　福岡県レクリエーション協会　・「楽しさをとおした心の元気づくり」日本レクリエーション協会

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出課題等は評価・フィードバックをした上で返却を行う。

**《授業の到達目標》**
1 様々なケースに対応できる多様なレクリエーションを知る。
2 支援者として、レクリエーション活動の意義や在り方を理解し、指導技術を習得する。
3 集団や個人、環境に応じた多様なレクリエーション活動プログラムの展開方法を身につける。

**《成績評価の方法》**
課題　40%
実技　40%
授業の取組　20%

**《成績評価基準》**
1 様々なケースに対応できる多様なレクリエーション活動を理解することができたか。
2 支援者として、レクリエーション活動の意義や在り方を理解して指導ができたか。
3 集団や個人、環境に応じた多様なレクリエーション活動プログラムの展開ができたか。

**《参考図書》**
「レクリエーション支援の基礎」日本レクリエーション協会
など

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | レクリエーション概論の授業を振り返る（ 30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 2 | 信頼関係づくりの方法<br>ホスピタリティ | 教科書P58～P65を精読。コミュニケーションに関連するニュースや記事を調べる（30分）　今回の授業内容の復習(30分) |
| 3 | 良好な集団づくりの方法<br>アイスブレーキング① | 教科書P66～P69を精読。30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 4 | 良好な集団づくりの方法<br>アイスブレーキング② | アイスブレーキングに適した活動について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 5 | レクリエーション活動の<br>習得　お手玉遊び | お手玉遊びの価値と効果について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 6 | レクリエーション支援の<br>方法① | 教科書P70～P77を精読。（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 7 | レクリエーション支援の<br>方法② | 教科書P78～P82を精読。（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 8 | レクリエーション活動の<br>習得　ゲーム | 集団の一体感をつくるレクリエーション活動について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 9 | レクリエーション活動の<br>習得　クラフト | クラフトの指導方法について調べてまとめる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 10 | レクリエーション活動の<br>習得　ニュースポーツ | ニュースポーツの特性について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 11 | レクリエーション支援に<br>向けた計画と練習 | レクリエーション支援の対象を理解し、レク支援の価値や効果を明確にする（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 12 | レクリエーション支援の<br>実際と評価① | レクリエーション支援の練習を行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 13 | レクリエーション支援の<br>実際と評価① | レクリエーション支援の練習を行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 14 | レクリエーション支援の<br>実際と評価 | レクリエーション支援の練習を行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 15 | まとめ | これまでの授業内容を復習する(30分)<br>今回の授業内容の復習(30分) |

# 2 年 前 期

《基礎科目》

| 科目名 | 英語Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 富永　真子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭選択】
日本の中学校までに学ぶ基礎文法を「使いこなす技能」を身に着ければ、英語での日常会話は可能です。
再度、基礎をしっかり学び、それらを応用し自信をもって自らの言葉で発話できるよう指導します。

**《授業の到達目標》**
他言語習得に必要な4技能（書く、読む、聞く、話す）の中で、瞬発力を要し、自然なコミュニケーションをとる「話す」ことに焦点をあて、基礎文法を応用し「自分自身の身の回りのことを、自分のオリジナルの言葉で伝えるようになる」ことを目標とする。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　　30%
授業内実技　70%

**《教科書》**
教科書なし
各自ノート2冊を準備する
（※1冊はオリジナルテキスト作成用）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業内での英語での発表・発言に対し、その発音、強弱、表現力等を総合的に評価し「授業内獲得ポイント」として授業内に評価し通知する。最終的な期末試験(筆記)にそれらの合計点(70点満点)を加算する。

**《成績評価基準》**
・授業で学んだ文法を使用し、オリジナルの文章を作る応用ができているか。
・発音、表情、姿勢、声のトーンなど総合的に「自然な表現」ができているか。

**《参考図書》**

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション（評価の説明など） | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 2 | 聞き取れない時の対応の仕方① | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 3 | 聞き取れない時の対応の仕方② | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 4 | 文章の種類(Be動詞かDo動詞)を区別する① | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 5 | 文章の種類(Be動詞かDo動詞)を区別する② | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 6 | 文章の形(肯定分、否定文、疑問文)① | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 7 | 文章の形(肯定分、否定文、疑問文)② | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 8 | 文章の形(肯定分、否定文、疑問文)③ | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 9 | 時制について(現在、過去、進行形)① | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 10 | 時制について(現在、過去、進行形)② | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 11 | 時制について(現在、過去、進行形)③ | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 12 | 頻度の高い動詞句(希望、強制、予定)① | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 13 | 頻度の高い動詞句(希望、強制、予定)② | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 14 | 接続詞で複数文章をつなげる、まとめ | 復習：講義内容をノートにまとめる(1時間) |
| 15 | 試験、まとめ | 半期に学んだことを総復習する |

《基礎科目》

| 科目名 | 中国語Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 菅原　尚子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
担当教員は中国留学経験があり、中国語を用いた日本語教育にも携わっている。中国語書籍の翻訳経験あり。中国語でコミュニケーションを取る為に必要な基本を学び、現代の中国や中国文化についての知識を身につけ、異文化理解を深められる授業を行う。

**《授業の到達目標》**
１．中国の地理や歴史、文化などに興味を持ち知識を深めることができる。
２．漢字（簡体字）がより多く、正しく書ける。
３．ピンインを正しく読み、書くことができる
４．中国語で自己紹介ができる。
５．数字、年月日、時間がスムーズに言える。

**《成績評価の方法》**
筆記試験（期末）　40%
課題プリント提出　40%
授業の取組　20%
（正しく発音できているか、中国語で挨拶できているか等)

**《教科書》**
グッと入門中国語　改訂版（株）金星堂
芦田久美子・氷野善寛・王牧　著

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
教科書に対応した課題プリントは、採点の上返却する。間違いが多い箇所については、授業内でフィードバックを行う。

**《成績評価基準》**
１．中国の地理や歴史、文化について理解している。
２．簡体字を正しく書いている。
３．ピンインを正しく書いている。
４　中国語で自己紹介ができている。
４．数字、年月日、時間がスムーズに言えている。

**《参考図書》**
適宜紹介します。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 【オリエンテーション】<br>教科書の使い方説明等 | この授業においての達成目標を立てる。（予習１５分）<br>中国と日本で使われる文字の違いを知る。（復習１５分） |
| 2 | 【中国について/声調】<br>地理や歴史等を知る | 教科書の索引や地図に目を通す。（予習１５分）<br>中国についての知識を得る。声調の練習。（復習２０分） |
| 3 | 【発音の基礎１】<br>母音/子音の練習 | ピンイン（発音記号）とは何かを知る。（予習１０分）<br>ピンインが読めて書けるようになる。（復習３０分） |
| 4 | 【発音の基礎２】<br>複母音/鼻母音の練習 | 声調符号の付け方を知る。（予習１０分）<br>中国語文字（簡体字）を見て、意味を知る。（復習３０分） |
| 5 | 【発音の基礎３】<br>発音のまとめ | 発音には変調やアル化が有ることを知る。（予習１５分）<br>ウォーミングアップのページを見て数字が言えるようになる。（復習２０分） |
| 6 | 【自己紹介の練習１】<br>自分の名前の中国語読み | 自分の名前の中国語読みを調べる。（予習１０分）<br>自己紹介の為の誕生日や年齢が言えるようになる。（復習２０分） |
| 7 | 【自己紹介の練習２】<br>簡単な自己紹介が出来る | 簡単な挨拶が言える。（予習１５分）<br>自己紹介の練習。同級生の名字も言えるようになる。（復習３０分） |
| 8 | 【第１課】<br>新出単語と会話文 | 【第１課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 9 | 【人称代名詞】<br>私/彼は～です。 | 人称代名詞の色々を知る。（予習１５分）<br>言い換え練習が出来るようになる。（復習３０分） |
| 10 | 【第２課】<br>新出単語と会話文 | 【第２課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習１５分）<br>新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 11 | 【指示代名詞/疑問詞】これ/あれは～です。 | 指示代名詞/疑問詞の色々を知る。（予習１５分）<br>言い換え練習が出来るようになる。（復習３０分） |
| 12 | 【第３課】<br>新出単語と会話文 | 【第３課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習１５分）<br>新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 13 | 【動詞述語文/時間】<br>いつ/どこで/何をする。 | 動詞述語文の作り方や「いつ/どこで/何を」の語順を知る。（予習１５分）<br>言い換え練習が出来るようになる。（復習３０分） |
| 14 | 【総まとめ】<br>前期の復習 | 前期の復習をする。（予習３０分）<br>練習問題を解いてみる。（復習３０分） |
| 15 | 【総まとめ】<br>習得出来ているかの確認 | 期末試験として、前期総まとめの問題を解く。（予習３０分）<br>疑問点を確認し解決する。（復習３０分） |

《専門科目》

| 科目名 | 子ども家庭支援論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
子育て家庭を取り巻く社会状況や子育て家庭の抱える問題への理解を深め、保育士としての基本姿勢や支援内容、それを実践するための方法、技術等について学ぶ。講義形式を基本とするが、事例を通してグループで検討するなど、必要に応じて演習形式を取り入れる。

**《授業の到達目標》**
・子育て家庭に対する支援の意義・目的について要約して述べることができる。
・保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本と実際を事例において関係付けて示すことができる。
・子育て家庭に対する支援の体制を整理して述べることができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%
授業の取組　20%

**《教科書》**
「子ども家庭支援論　第２版」　監修　公益財団法人　児童育成協会　編集　松原康雄　村田典子　南野奈津子　中央法規　2023

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験問題に対する振り返りや解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
・子育て家庭に対する支援の意義・目的について要約して述べることができるようになったか。
・保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本と実際を事例において関係付けて示すことができるようになったか。
・子育て家庭に対する支援の体制を整理して述べることができるようになったか。

**《参考図書》**
なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 子ども家庭支援の意義と必要性 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 2 | 子ども家庭支援の目的と機能 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 3 | 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 4 | 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 5 | 保育の専門性を活かした子ども家庭支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 6 | 子どもの育ちの喜びの共有 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 7 | 保護者および地域が有する子育て力への支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 8 | 保育士に求められる基本的態度 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 9 | 家庭の状況に応じた支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 10 | 地域資源の活用と関係機関との連携・協力 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 11 | 子ども家庭支援の内容と対象 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 12 | 保育所を利用する子どもの家庭への支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 13 | 地域の子育て家庭への支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 14 | 要保護児童およびその家庭に対する支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 15 | 子育て支援に関する課題と展望 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 相談援助 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 溝上　敦子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
　相談援助活動における教育相談を中心に授業を行う。事例をもとに幼児等の発達の状況に即しつつ、個々の心理学的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（相談の意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。授業では、ワークシートや事例についてのグループ・ディスカッション等を通して実践的な基礎力を培う。

**《授業の到達目標》**
1．学校・園における教育相談の意義と理論、課題を整理し要約できる。
2．幼児の不適応や問題行動等に気付き把握する方法を事例に即して表現できる。
3．相談の基礎的な姿勢や技法を理解し適用できる。
4．教育相談の計画の作成と校・園内体制の整備、地域の専門機関との連携の必要性を関係付けて表現できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　60%
課題 20%
授業の取組　20%

**《教科書》**
西本絹子『教師のための教育相談』萌文書林、 2018年

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出したレポートについては、2週間以内に評価し返却する。
筆記試験については、総括・まとめの時間で解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
1．教育相談の意義と理論、課題を整理し要約できたか。
2．幼児の不適応や問題行動等に気付き把握する方法を事例に即して表現できたか。
3．相談の基礎的な姿勢や技法を理解し適用できたか。
4．教育相談の計画の作成と校・園内体制の整備、地域の専門機関との連携の必要性を関係付けて表現できたか。

**《参考図書》**
『幼稚園教育要領解説』フレーベル館　・『保育所保育指針解説』フレーベル館　・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／相談援助について | 教科書pp.11～18に目を通しておくこと。30分間。<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 2 | 教育相談とは何か | 教科書pp．19～30に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 3 | 教育相談・相談援助の理論 | 教科書pp.31～42に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 4 | 教育相談・相談援助の技術①／傾聴 | 教科書pp.43～54に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 5 | 教育相談・相談援助の技術②／保護者との関係性 | 教科書pp.55～70に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 6 | 子ども理解①／発達の視点から子どもを理解 | 教科書pp.71～80に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 7 | 子ども理解②／問題のアセスメント | 教科書pp.81～92に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 8 | 子ども理解③／問題行動の捉え方 | 教科書pp.93～104に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 9 | いじめ問題への対応 | 教科書pp.105～120に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 10 | 不登校（園）への対応 | 教科書pp.121～134に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 11 | 気になる子どもへの対応①／理解と支援の考え方 | 教科書pp.135～148に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 12 | 気になる子どもへの対応②／支援の実際の基礎 | 教科書pp.149～166に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 13 | 保護者への対応①／気になる子の保護者への対応 | 教科書pp.167～179に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 14 | 保護者への対応②／不適切な養育環境への対応 | 教科書pp.179～198に目を通しておくこと。30分間<br>今回の授業で学んだ内容の復習。ワークシートの活用。30分間 |
| 15 | 相談援助・教育相談の総括・まとめ | 前週に説明した重点内容に目を通しておくこと。１時間 |

《専門科目》

| 科目名 | 子どもの食と栄養Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 大仁田　あずさ | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
保育所保育指針では、保育所における食育は、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標としている。本科目では、子どもの栄養・食生活が生涯にわたる健康と生活の基盤であることを理解し、さらに正しい栄養の基本的知識や子どもの発育・発達段階に応じた適切な栄養摂取および関連する栄養問題等について学ぶ。

**《授業の到達目標》**
1.栄養の基本的知識である栄養素の種類や機能を説明できる。
2.子どもの栄養・食生活の特徴を理解し、発育・発達段階に応じた適切な食生活のあり方について説明できる。
3.乳児期の授乳・離乳の意義とその実践の方法について具体的に述べることができる。
4.健康の保持増進、生活習慣病予防のための食生活について理解し、自身が健康的で豊かな食生活を実践することができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験80%
課題10%
授業の取組10%

**《教科書》**
「新・基本保育シリーズ⑫ 子どもの食と栄養」堤ちはる・藤澤由美子編、中央法規

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験のフィードバックとして、試験内容に対する解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
成績評価は筆記試験、課題、受講態度等を鑑み評価する。

**《参考図書》**
適宜紹介する

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>子どもの健康と食生活 | 予習：教科書 p.1～3を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 2 | 子どもの食生活の現状と課題 | 予習：教科書 p.4～9を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 3 | 栄養の基本<br>食べ物のゆくえ | 予習：教科書 p.13～19を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 4 | 栄養素の種類と働き①<br>炭水化物 | 予習：教科書 p.22～27を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 5 | 栄養素の種類と働き②<br>脂質、たんぱく質 | 予習：教科書 p.27～29を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 6 | 栄養素の種類と働き③<br>ミネラル、ビタミン | 予習：教科書 p.30～36を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 7 | 日本人の食生活の目標 | 予習：教科書 p.37～48を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 8 | 献立作成・調理の基本 | 予習：教科書 p.49～60を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 9 | 妊娠期・授乳期の栄養と食生活 | 予習：教科書 p.10～12，99～101を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 10 | 乳児期の授乳の意義と食生活① 乳児期の栄養 | 予習：教科書 p.61～63を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 11 | 乳児期の授乳の意義と食生活② 母乳、人工栄養 | 予習：教科書 p.63～72を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 12 | 乳児期の離乳の意義と食生活① 離乳の定義 | 予習：教科書 p.73～75を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 13 | 乳児期の離乳の意義と食生活② 離乳の進め方 | 予習：教科書 p.75～81を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 14 | 乳児期の離乳の意義と食生活③ 離乳期の食問題 | 予習：教科書 p.82～84を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 15 | まとめ | 予習：これまでの講義資料とノートを整理しておくこと（30分）<br>復習：これまでの授業内容を確認する（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 教育課程総論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 井上　和子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
幼児期の教育の意義や特性について理解を深めるとともに、幼稚園教育要領に基づき編成された教育課程とそれを実践していく為の指導計画について学ぶ。その上で、幼児の心身の発達・保育の実態・地域の実態等に応じた指導計画が作成できるように、テーマ別に実践事例を学び、現場で求められているカリキュラム・マネジメントとは何かを理解する。

**《授業の到達目標》**

１，幼児園教育要領を基準とした各幼稚園において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を学ぶ。
２，教育課程と、幼稚園の様々な保育計画を関連させ教育目標が達成されるよう具体的に作成された指導計画を関係づける。
３，テーマ別に実践事例を調べていくことで、教育課程や指導計画にはカリキュラム・マネジメントが必要であることが分かる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　80%　レポート　%
課題　10%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**

・『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』　文部科学省（フレーベル館）
・『幼稚園教育要領解説』　文部科学省（フレーベル館）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

試験・課題のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

**《成績評価基準》**

成績評価は、筆記試験、課題提出、受講態度等の総合的基準で評価する。

**《参考図書》**

・『教育課程総論』小田豊・神長美津子編著　(北大路書房)
・『あたらしい幼児教育課程総論』　岸井勇・横山文樹著(同文書院)

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 教育課程の意義と役割 | ・『幼稚園教育要領解説』p24～p26・p74～p77を熟読しておくこと。（30分）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 2 | 教育課程の基本的な考え方 | ・『幼稚園教育要領解説』p79～p95を熟読しておくこと。（1時間）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 3 | 保育内容の歴史的系譜 | ・『幼稚園教育要領解説』p2～p21を熟読しておくこと。（1時間）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 4 | 現代の保育内容 | ・『幼稚園教育要領解説』p272～p276を熟読しておくこと。（30分）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 5 | 教育課程の編成 | ・『幼稚園教育要領解説』p50～p73を熟読しておくこと。（1時間）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 6 | 教育課程の意義と省察・評価と改善 | ・『幼稚園教育要領解説』p104・p131～132を熟読しておくこと。（30分）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 7 | 「学校教育のはじまり」としての幼稚園教育 | ・テキストp2～p9を熟読しておくこと。（30分）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 8 | 幼稚園教育における指導性 | ・テキストp10～p22を熟読しておくこと。(1時間)<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 9 | 指導計画の意義 | ・テキストp23～p45を熟読しておくこと。(1時間)<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 10 | 小学校の教育課程との接続と指導計画 | ・テキストp46～p58を熟読しておくこと。（1時間）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 11 | 指導計画に当たっての基本的な考え方 | ・テキストp60～p68を熟読しておくこと。（30分）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 12 | 指導計画の作成の具体的な手順とポイント | ・テキストp69～p100を熟読しておくこと。（1時間）<br>・講義中に板書したノートを整理しておくこと。（30分） |
| 13 | 実践事例①長期と短期の指導計画 | ・テキストp110～p112,p136～p147を熟読しておくこと。（1時間）　・講義で学んだ実践事例について、もう一度テキストを丁寧に読み、詳細に確認すること。（30分） |
| 14 | 実践事例②小学校との円滑な接続を図る指導計画 | ・テキストp148～p157を熟読しておくこと。（1時間）　・講義で学んだ実践事例について、もう一度テキストを丁寧に読み、詳細に確認すること。（30分） |
| 15 | 実践事例③指導計画の評価・改善のポイント | ・テキストp216～p221,p233~p240を熟読しておくこと。（1時間）　・講義で学んだ実践事例について、もう一度テキストを丁寧に読み、詳細に確認すること。（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 幼児と人間関係 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】臨床心理士・公認心理士としての実務経験がある教員が授業を行う。幼児が人間関係において発達していく構造とプロセスの基礎知識と理論を、テキストに沿って講義により学ぶ。その前提となる自分自身の人間関係理解につながる考察も行う。また、構成事例や視聴覚教材を通して、幼児教育・保育現場の具体的な場面について考察し、小グループで意見交換を行い、より理解を深める。

**《授業の到達目標》**
1．幼稚園教育要領、保育所保育指針の領域「人間関係」について概説できる
2．幼児の人間関係力の育ちに関する基本事項を説明できる
3．幼児の人間関係をめぐる現代的課題について問題意識を持つことができる
4．保育現場で、関係発達論的視点から幼児の人間関係をとらえ、適切な対応を想定することができる

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%　レポート　10%
課題　%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**
「ワークで学ぶ保育内容『人間関係』」菊地篤子著、みらい

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

**《成績評価基準》**
学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解、説明ができるか。
授業に意欲を持って取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

**《参考図書》**
「体験する・調べる・考える領域人間関係」田宮縁、萌文書林

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／「人間関係」とは | 予習：教科書の「はじめに」～p13を読み、授業の流れを把握する（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 2 | 子どもを取り巻く現代社会の状況 | 予習：教科書p13～18を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 3 | 子どもの人間関係 | 予習：教科書p18～21を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 4 | 領域「人間関係」におけるねらいと内容 | 予習：教科書p24～30を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 5 | 園生活で育まれる「人間関係」 | 予習：教科書p31～35を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 6 | 人との関わりの発達①<br>乳児期 | 予習：教科書p36～45を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 7 | 人との関わりの発達②<br>幼児期前期 | 予習：教科書p46～58を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 8 | 人との関わりの発達③<br>幼児期後期 | 予習：教科書p59～70を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 9 | 子どもの自立と保育者の関わり | 予習：これまでの授業をふり返り、内容を整理しておく（30分）<br>復習：授業内容を整理する（30分） |
| 10 | 子どもの共同性と保育者の関わり | 予習：これまでの授業をふり返り、内容を整理しておく（30分）<br>復習：授業内容を整理する（30分） |
| 11 | 社会性の育ち | 予習：教科書p71～76を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 12 | 道徳性の育ち | 予習：教科書p76～82を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 13 | 家庭・地域との関わりと発達 | 予習：教科書p83～97を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 14 | 子どもたちのモデルとなる保育者の人間関係 | 予習：教科書p98～103を読む（30分）<br>復習：教科書を読み直し、授業内容を整理する（30分） |
| 15 | 子どもの人間関係を支え育てる／まとめ | 予習：授業全体をふり返り、質問を考えておく（30分）<br>復習：授業内容を整理する（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 幼児と環境 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
(1)幼児を取り巻く環境と幼児の発達にとっての意義を理解する。
(2)乳幼児期の思考、情緒的理解と科学的理解について実践事例より理解する。
(3)幼児の身近にある標識・記号・文字等、情報・施設等のかかわりを理解する。

**《授業の到達目標》**
(1)幼児を取り巻く環境の諸側面と幼児の発達にとっての環境にかかわることの意義について説明できる。
(2)乳幼児期の認知的発達の特徴と、生物・自然とのかかわりから興味・関心について説明できる。
(3)幼児の身近な標識・記号・文字等、それらが幼児の生活やあそびとの関連から説明できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　50　%
レポート　40　%
授業の取組　10　%

**《教科書》**
特に指定しない、適宜資料を配付する

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
前回のリアクションペーパーを基に授業のはじめに確認、共有化を図る。

**《成績評価基準》**
授業への取り組み姿勢、リアクションペーパー50%
試験50%

**《参考図書》**
文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館2018
高橋・目良編著「コンパス保育内容環境」建帛社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション、受講にあたっての授業概要 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 2 | 環境とは何か、幼児を取り巻く環境 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 3 | 法令法規から身近な環境との関わりに関する領域 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 4 | 実践事例より環境にかかわるとは | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 5 | 実践事例の分析と意味づけ | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 6 | 幼児期に必要な体験 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 7 | 保育室内環境と戸外環境で育つ力 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 8 | 幼児の身近な標識・記号・文字等 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 9 | 幼児の興味･関心、探求心から情緒的科学的理解 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 10 | 自然とのかかわりから育つ力 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 11 | 数助詞の使い方 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 12 | 生活やあそびをとおしての学び | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 13 | 幼児の育ちとメディア環境 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 14 | 身近な環境、情報に目を向け興味・関心、探求心 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |
| 15 | まとめと課題 | 予習：授業計画から60分<br>復習：授業内容60分 |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容「健康」の指導法 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 永山　寛 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
心身の健康に関する領域「健康」のねらいと内容及び内容の取り扱いについて理解し、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技術を身につける。特に、乳幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育・発達、運動発達の特徴の理解を深め、情報機器を活用しながら適切な指導方法を身につける。

**《授業の到達目標》**
1 幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された「健康」のねらい及び内容や内容の取り扱いに関する専門的知識を習得する。
2 子どもの発達発育に即して、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点について理解し、情報機器等を活用することができる。　3 指導案を立案し、実践することができる。
4 模擬保育の実践について反戦し、次の保育へ生かすための課題を見出し明確にすることができる。

**《成績評価の方法》**
課題50%
授業の取組50%

**《教科書》**
子どもの姿からはじまる領域・健康（2020年）
秋田喜代美ら（監）國土将平ら（編）みらい

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業内の課題やリアクションペーパー等の提出物に関しては、理解度を確認し、次回の授業内で返却、解説する。

**《成績評価基準》**
1 「健康」のねらい及び内容や内容の取り扱いに関する専門的知識を習得し、説明できたか。　2 子どもの発達発育の特徴を踏まえた指導上の注意点について、情報機器等を活用しながら理解できたか。　3 指導案を立案し、実践することができたか。　4 模擬保育の実践について反戦し、次の保育へ生かすための課題を見出し明確にすることができたか。

**《参考図書》**
幼稚園教育要領　保育所保育指針
幼保連携型認定こども園教育・保育要領
幼児期運動指針

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 心身の健康に関する領域「健康」 | 幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領を精読する（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 2 | 領域「健康」のねらいと内容について | 幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領を精読する（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 3 | 領域「健康」の内容の取り扱いについて | 幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領を精読する（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 4 | 現代の子どもの現状と健康課題について | 自分の乳幼児期の健康状態について調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 5 | 子どもの身体の発達について | 出生児から就学前前の自分の身長、体重について調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 6 | 幼児の運動能力と動き/運動遊びの意義と展開 | 自分が初めてできたことが何歳だったか調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 7 | 幼児期の健康的な生活リズムと基本的生活習慣 | 就学前、就学後の自分に就寝、起床時間について調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 8 | 子どもの食と健康/食育について | 自分の出身地（地域）の食文化について調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 9 | 安全の視点と安全への配慮について | リスクとハザードの違いについて調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 10 | 安全管理と安全教育について | 公園にある遊具、公園から消えた遊具について調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 11 | 指導計画と指導案の書き方・作成 | 幼稚園教育要領、幼児期運動指針を精読する（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 12 | 模擬保育の準備 | 幼児の学びを深めるために活用できる視覚教材等について調べる（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 13 | 模擬保育の実践 | 指導案を精読し、グループで模擬保育の実践に備える（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 14 | 模擬保育の振り返り | 模擬保育の振り返りを行う（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |
| 15 | 保育内容「健康」の指導法のまとめ | 領域「健康」について学んだことを整理する（120分）<br>授業内容を振り返り、まとめる（120分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容「言葉」の指導法 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 北野　哲也 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】

領域「言葉」の内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定し、ICTや事例映像を活用し保育の構想する方法を身につける。

**《授業の到達目標》**

１．保育指針や教育要領、教育・保育要領等に共通に示された幼児教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。２．幼児の発達や学びの過程を理解し「言葉」にかかわる指導場面を想定し、保育を構想する方法を身につける。３．乳幼児の言葉を育む環境の理解と配慮を理解する。４。選択した児童文化財を利用して保育に活用するための保育の立案ができるように個人及びグループで取り組む。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　70%　振り返りレポート　10%
課題　５%
実技　５%
授業の取組　10%　その他（　　）　%

**《教科書》**

保育内容「言葉」指導法 馬見塚昭久　小倉直子編著　ミネルヴァ書房

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

講義に関する資料及び課題、振り返り等を記入することで、求められる乳幼児の言葉の発達について理解を深め、グループによる振り返りの時間を設け、乳児から幼児への言葉の発達の理解を促します。

**《成績評価基準》**

成績評価は、筆記試験及び振り返り課題の提出、レポート、講義への積極的な参加・態度等を鑑み、評価します。

**《参考図書》**

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育保育要領及びその解説書、絵本や紙芝居、物語など

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 保育の基本と領域「言葉」との関係 | 保育の流れを知る：30分、領域「言葉」の内容を知る：30分 |
| 2 | 子どもの発達と言葉の関係―話し言葉 | 発話の発達過程を理解する：30分、言葉の発達過程を理解する：30分 |
| 3 | 子どもの発達と言葉との関係―書き言葉 | 書き言葉の発達過程を理解する：30分、書き言葉の発達過程を理解する：30分 |
| 4 | 言葉を育む環境と言葉―意欲を育む環境 | 言葉遊びの理解を広げる：30分、遊びの方法について理解する：30分 |
| 5 | 言葉を育む環境と言葉―ICTとの出会い | 遊びの方法について考える：30分、楽しい遊びを考える：30分 |
| 6 | 言葉を育む環境と言葉―話したい、聞きたい意欲 | 遊びの工夫について考える：30分、遊びを展開する方法について考える：30分 |
| 7 | 言葉を豊かにする環境構成―伝言遊び | 言葉の伝達について考える：30分、言葉の遊びについて考える：30分 |
| 8 | 言葉を豊かにする環境構成―援助方法 | 遊びから得られる言葉の役割について理解する：30分、言葉遊びを考える：30分 |
| 9 | 言葉を豊かにする教材―絵本・物語・紙芝居 | いろいろな絵本や紙芝居等に触れる：30分、季節や場にあった題材について理解する：30分、 |
| 10 | 言葉に対する感性を豊かにする実践―言葉遊び | いろいろな言葉あそびについて調べる：30分、言葉遊びを考える：30分 |
| 11 | 言葉を育む保育の実際―保育観察（DVD） | 模擬保育について話し合う：30分、教材となる題材を考える：30分 |
| 12 | 言葉を育む保育の構想―グループ討議 | 模擬保育の計画を練る：30分、指導案について理解する：30分 |
| 13 | 言葉を育む保育の構想―グループ討議 | 模擬保育の実践からの反省：30分、指導案を再考する：30分 |
| 14 | 言葉を育む保育の実際―模擬保育 | 模擬保育の実践からの反省：30分、指導案を再考する：30分 |
| 15 | まとめ、試験 | 「言葉」をめぐる現代的課題と特別な配慮が必要な園児への支援について学ぶ：30分 |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容「表現」の指導法 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩、吉原　美南子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
保育現場での表現活動について事例や視聴覚資料を使いながらレクチャーを行う。また、指導案の作成方法を身につけ模擬保育を行い、具体的な指導場面を想定し、保育を構想する方法を身につける授業とする。授業時の表現活動や模擬保育の様子は随時記録し、振り返りやドキュメンテーションの作成において活用し、学びを深めるものとする。

**《授業の到達目標》**
・幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された領域「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め説明することができる。
・幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想し創造することができる。

**《成績評価の方法》**
レポート　20%
課題　40%
実技　30%
授業の取組　10%

**《教科書》**
保育内容領域表現　日々わくわくを生きる子どもの表現
堂本真実子　編著　わかば社
幼稚園教育要領解説　フレーベル館

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出課題は、２週間以内にコメントをつけて返却する。

**《成績評価基準》**
・幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された領域「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め説明することができたか。
・幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想し創造することができたか。

**《参考図書》**
保育所保育指針解説
幼稚園教育要領解説

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ５領域の表現とは，幼児期の表現活動について | ○予習内容(2時間)　1年後期「幼児と表現」の授業内容を振り返る<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 2 | 豊かな感性と創造性を育む環境構成のあり方 | ○予習内容(2時間)　指定されたテーマで指導案を作成しておく<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 3 | 子どもの豊かな感性と造形表現について | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 4 | 子どもの豊かな感性と音楽表現について | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 5 | 模擬保育の計画と準備① | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 6 | 模擬保育の計画と準備② | ○予習内容(2時間)　模擬保育の自己課題を考えまとめておく<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 7 | 模擬保育①造形表現 | ○予習内容(2時間)　指導案に基づいて、模擬保育の準備、リハーサルをしておく<br>○復習時間(2時間)　模擬保育の反省点、改善策をラベル図解にまとめる |
| 8 | ドキュメンテーションの制作① | ○予習内容(2時間)　ドキュメンテーション作成のための画像を整理し準備する<br>○復習時間(2時間)　ドキュメンテーション制作を通しての気づきをまとめる |
| 9 | 模擬保育の振り返り① | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 10 | 模擬保育の計画と準備③ | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 11 | 模擬保育の計画と準備④ | ○予習内容(2時間)　模擬保育の自己課題を考えまとめておく<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 12 | 模擬保育②音楽表現 | ○予習内容(2時間)　指導案に基づいて、模擬保育の準備、リハーサルをしておく<br>○復習時間(2時間)　模擬保育の反省点、改善策をラベル図解にまとめる |
| 13 | ドキュメンテーションの制作② | ○予習内容(2時間)　ドキュメンテーション作成のための画像を整理し準備する<br>○復習時間(2時間)　ドキュメンテーション制作を通しての気づきをまとめる |
| 14 | 模擬保育の振り返り② | ○予習内容(2時間)　これまで作成した指導案・ワークシートを振り返りまとめる<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |
| 15 | 半期の学びの振り返り | ○予習内容(2時間)　これまでの学びをポートフォリオにまとめる<br>○復習時間(2時間)　教科書等を読み直し、授業での気づきと合わせノートにまとめる |

《専門科目》

| 科目名 | 障害児保育Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 三吉　愛子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
「障害児保育Ⅰ」に引き続き、障害の理解を深め、具体的な支援内容・方法等を実践的に学ぶ。特に、保育現場で急増している発達障害児の理解と支援を中心に、事例等を活用しながら、保育現場で実際に役立つ配慮事項や環境調整の工夫など実践力の向上を図る。また、最新の実践研究等に関して、授業内容と関連させながら適宜提供する。

**《授業の到達目標》**
・「発達」について理解を深める。
・各障害の特性について説明できる。
・気になる子どもの背景を理解し、望ましい支援方法について説明できる。
・授業で学んだ支援方法を、実習等に生かすことができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　60%
授業の取組　40%

**《教科書》**
なし
資料を適宜配布する

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験問題に対する振り返りや解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
・「発達」について理解が深まったか。
・各障害の特性について説明できるようになったか。
・気になる子どもの背景を理解し、望ましい支援方法について説明できるようになったか。
・授業で学んだ支援方法を、実習等に生かすことができたか。

**《参考図書》**
「障害児保育ワークブック」　編著 星山麻木　萌文書林 2019
「障害児保育演習ブック」　監修 松本峰雄 編著 増南太志 ミネルヴァ書房 2021

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | なぜ、特別な支援が必要なのか | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 2 | 発達を理解する | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 3 | 発達の違いを理解する | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 4 | 障害の特性を理解する 1 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 5 | 障害の特性を理解する 2 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 6 | 支援方法を理解する<br>1　心の支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 7 | 支援方法を理解する<br>2　発達論による支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 8 | 支援方法を理解する<br>3　行動への支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 9 | 支援方法を理解する<br>4　環境調整による支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 10 | 支援方法を理解する<br>5　連携による支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 11 | 支援の方法を考える実践ワーク | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 12 | 個別の教育支援計画をつくる | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 13 | ケーススタディ | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 14 | 保護者支援と今後の課題 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 15 | 障害児保育のまとめ | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 子どものためのピアノ表現Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、和田　紘平、加藤　みゆき、室北　昌子、巣山　千恵、小柳　厚子、横須賀　紋子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
1年生後期科目「子どものためのピアノ表現Ⅰ」と同様に、1クラス数名のグループに分け、グループごとに弾き歌いを中心とした個人レッスンを行う。集団でのグループレッスンでは、バイエルの楽曲を中心に、さらなるピアノ技術の向上を目指す。各種実習でのピアノや弾き歌いの課題については、レッスンの中で指導を受けることができる。

**《授業の到達目標》**
・幼児の音楽教育で必要とされるピアノ演奏技術の習得にあたり、楽譜に書かれた速度記号、強弱記号、曲想を解釈し、ピアノで表情豊かに表現することができる。
・季節の歌やいろいろな歌のレパートリーを増やす。
・歌詞から情景をイメージし、歌詞の内容に合う音色で伴奏をしながら豊かな歌唱表現をすることができる。

**《成績評価の方法》**
レポート　20%
実技　50%
授業の取組　30%

**《教科書》**
「教職課程のための大学ﾋﾟｱﾉ教本ﾊﾞｲｴﾙとﾂｪﾙﾆｰによる展開」教育芸術社　　「あなたも弾ける　やさしい童謡唱歌集」木村鈴代編著　同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業内での学び(個人レッスンでのアドバイス、自己反省を含む）、ピアノ練習計画(予習、復習、自主練習時間、曲名、気づき等)を音楽表現ノートに記入し、次の個人レッスンの授業時間に提出する。教員のコメント記入後、授業内に受け取り、次回の授業に備える。

**《成績評価基準》**
表情豊かにピアノで表現できる：楽譜に書かれた用語の意味を解釈し、音として表現することができたか。
楽曲のレパートリーを増やす：自信を持って弾き歌いできる楽曲を増やすことができたか。（個人レッスンで合格曲を増やすことができたか）
歌詞の情景をイメージする：表情豊かに弾き歌いできたか。

**《参考図書》**
必要に応じて提示する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 2 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ① | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 3 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ② | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 4 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ③ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 5 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ④ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 6 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑤ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 7 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑥ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 8 | 中間発表会 | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:中間発表会の成果と反省をまとめる。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 9 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑦ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 10 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑧ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 11 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑨ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 12 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑩ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 13 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑪ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 14 | 弾き歌いの個人ﾚｯｽﾝ・ﾋﾟｱﾉのｸﾞﾙｰﾌﾟﾚｯｽﾝ⑫ | 予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし、両手で弾いてくる（30分）<br>復習:レッスンで扱った楽曲を弾き込む。音楽表現ノートを記入する（30分） |
| 15 | ピアノ表現および弾き歌いの表現技術発表 | 予習:指定された楽曲の練習をする。(30分)<br>復習:授業での学びや反省点を音楽表現ノートに記入し、今後に活かす。(30分) |

《専門科目》

| 科目名 | 子どもと造形表現 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
実習や保育現場で役立つ造形について、アフォーダンスをキーワードに教材研究的に授業を進める。具体的には材料や道具の特性を活かすための工夫・設定保育のアイデアなどについて制作を通して学んでいく。またラベルワークを取り入れたグループワークを適宜取り入れ学びの共有化を図る。付箋を活用し日頃から五感で感じことや教材研究に使えそうなネタなどを集めるためのスキルを身につけるプログラムを実施する。

**《授業の到達目標》**
○子どもたちの持つ素朴な創造性を引き出し、豊かな表現へと導くための理論と方法について理解を深める。
○身近な素材を用いてオリジナルの保育教材を創造することができる。
○ものづくりを通して自らの感性や創造性の現状に気づき磨くことができる。
○環境に潜むアフォーダンスを見つけ出すことができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　%　　レポート　20%
課題　　70%　　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**
適宜資料を配布

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
○制作課題については、提出後に講評と個別指導を行う。
○学びのアート図解については、提出の翌週に講評を行う。
○レポート課題は、提出後コメントを添えて返却する。

**《成績評価基準》**
○子どもたちの持つ素朴な創造性を引き出し、豊かな表現へと導くための理論と方法について理解を深めることができたか。
○身近な素材を用いてオリジナルの保育教材を開発することができたか。
○ものづくりを通して自らの感性や創造性の現状に気づき磨くための工夫を考え実践することができたか。

**《参考図書》**
保育所保育指針解説　厚生労働省編

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 保育教材研究とは何か | ○予習内容　シラバスを読み講義内容を把握する（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 2 | クレパスを使った<br>絵画制作 | ○予習内容　クレパスを使った絵画技法について調べる（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 3 | 動くおもちゃの制作①<br>-飛ばす- | ○予習内容　動くおもちゃについて事前に調べる（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 4 | 動くおもちゃの制作②<br>-回す- | ○予習内容　動くおもちゃについて事前に調べる（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 5 | 雨をテーマにした<br>教材研究①　-アイデア- | ○予習内容　雨をテーマにした絵本や歌について調べる（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 6 | 雨をテーマにした<br>教材研究②　-制作- | ○予習内容　制作材料を自ら探す（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 7 | 雨をテーマにした<br>教材研究③　-発表- | ○予習内容　プレゼンテーションの準備（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 8 | 夏をテーマにした<br>おもちゃの制作 | ○予習内容　夏をテーマにしたおもちゃのアイデアを考える（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 9 | 切り絵による壁面構成①<br>-イラストの書き方- | ○予習内容　テーマに合わせた下絵制作（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 10 | 切り絵による壁面構成②<br>-切り絵技法の習得- | ○予習内容　色の組み合わせ方について調べる（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 11 | 切り絵による壁面構成②<br>-制作- | ○予習内容　空間配置について調べる（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 12 | オリジナル教材の開発①<br>-制作- | ○予習内容　オリジナル教材のアイデアを考える（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 13 | オリジナル教材の開発②<br>-発表- | ○予習内容　制作材料を自ら探す（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 14 | 学びのアート図解作成 | ○予習内容　ノートを整理する（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |
| 15 | まとめ<br>-素朴な創造性と感性- | ○予習内容　保育所保育指針解説の指定された箇所を熟読する（30分）<br>○復習内容　授業での気づきをノートにまとめる（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育所実習Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】
既習の教科や保育所実習Ⅰの経験を踏まえ、保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深め、子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。そして、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。将来に向けて保育士として自己の課題を明確化にする。

**《授業の到達目標》**

1.保育所の役割や機能について、実践を通して理解を深める。2.子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。3.既習の教科や保育所実習Ⅰの内容を踏まえ、保育及び保護者支援について総合的に理解する。4.保育の計画・観察・記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解する。5.保育士の業務内容や職業倫理について、実践に結びつけて理解する。6.実習における自己の課題を明確化できる。

**《成績評価の方法》**

実技　60%
事前・事後指導・実習報告会・提出物　40%

**《教科書》**

新訂知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド第二版［編著］石橋裕子・林幸範

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

実習の直前指導で記入したワークシートは、事後指導時に返却する。
事後指導時に記入したワークシートは、実習報告会終了後に返却する。
実習終了後に提出した実習日誌については、評価した後随時返却する。

**《成績評価基準》**

1.保育所の役割や機能について理解できたか。2.子どもの観察や関わりの視点を明確にし保育の理解できたか。3.保育及び保護者支援について理解することができたか。4.保育の計画・観察・記録及び自己評価等について理解することができたか。5.保育士の業務内容や職業倫理について理解できたか。6.実習における自己課題を明確化できたか。

**《参考図書》**

新訂2版これだけは知っておきたい　保育のマナーと言葉　長島和代（編）わかば社
その他の参考書は、授業内で適宜提示する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:事前のオリエンテーションまでに、実習先の種別･内容等を理解する。(1時間)<br>復習:実習先での指導内容をまとめ、課題(指導案･教材）の準備をする。(１時間) |
| 2 | 直前指導⑴ | 予習:様々な授業での学習､ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝの学びを総合的に振り返り､準備をする。(1時間)<br>復習:直前指導内容を再確認し、実習の目標を明確にする。(1時間) |
| 3 | 直前指導⑵ | 予習:前回授業の内容を含め総合的に実習に備える。(１時間)<br>復習:実習への準備物などの最終チェックをする。(１時間) |
| 4 | 実習1日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 5 | 実習2日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 6 | 実習3日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 7 | 実習4日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 8 | 実習5日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 9 | 実習6日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 10 | 実習7日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 11 | 実習8日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 12 | 実習9日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を振り返り､日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(１時間) |
| 13 | 実習10日目 | 予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(１時間)<br>復習:実習を総合的に振り返り､日誌を記入、お礼状も準備をする。(１時間) |
| 14 | 事後指導 | 予習:目標達成､授業と実習の往還､必要な報告内容等､総合的に振り返る。(１時間)<br>復習:実習全般を総合的に振り返る。実習報告会の準備をする。(１時間) |
| 15 | 実習報告会 | 予習:報告会に必要な準備物、報告内容を再度確認する。(１時間)<br>復習:報告会での学び､自己の振り返りから､次に活かす内容を考察する。(1時間) |

《専門科目》

| 科目名 | 施設実習Ⅱ（施設・児童館） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
各種施設、児童館での現地実習を通して、施設での業務内容、施設の役割、利用者への支援方法、記録方法など実践活動を通して学ぶ。施設で働く職員の資質を習得する。10日間の現地実習を実施する。

**《授業の到達目標》**
1.既習の教科目や保育実習の経験を踏まえて、児童福祉施設などの役割や機能について実践を通して理解する。
2.家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障がい児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。
3.保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。
4.実習における自己課題を理解する。

**《成績評価の方法》**
実技　60%
その他(直前指導･事後指導･報告会･提出物)　40%

**《教科書》**
新訂　知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド　第二版　【編著】石橋裕子・林幸範　　同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
実習先の評価結果のフィードバックの時間を設ける。

**《成績評価基準》**
1.学内の学びや保育実習経験を踏まえ､実習施設の役割､機能について実践を通して理解できたか。
2.子ども家庭福祉､社会的養護に対する理解をもとに､保護者支援､家庭支援のための知識､技術､判断力を習得できたか。
3.保育士の業務内容や職業倫理を具体的に理解できたか。
4.実習における自己課題を理解できたか。

**《参考図書》**
実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド　小櫃智子編著　わかば社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:実習先の役割と機能について調べ、理解する。(1時間)<br>復習:実習先での学びをまとめ、理解し、準備物などを整える。(1時間) |
| 2 | 直前指導① | 予習:保育士資格取得最終の実習であることを意識し準備をする。(1時間)<br>復習:既習の教科目､保育実習の経験を踏まえ､最終の実習準備をする。(1時間) |
| 3 | 直前指導② | 予習:直前指導内容を熟知し､必要な準備物を整え、実習に備える。(1時間)<br>復習:既習の教科目､保育実習の経験を踏まえ､最終の実習準備をする。(1時間) |
| 4 | 実習初日 | 予習:オリエンテーションでの学びを再確認し、理解を深める。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ､実習先の役割と機能を実践を通して理解する。(1時間) |
| 5 | 実習2日目 | 予習:本日の学びの目標を､受容と共感する態度のもと考える。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ、考察する。(1時間) |
| 6 | 実習3日目 | 予習:個人差､生活環境に伴う子どものニーズの把握､子ども理解を考える。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ、考察する。(1時間) |
| 7 | 実習4日目 | 予習:個別支援計画の作成と実践を考える．(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ、考察する。(1時間) |
| 8 | 実習5日目 | 予習:子ども(利用者)の家族への支援と対応について考える。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ、考察する。(1時間) |
| 9 | 実習6日目 | 予習:多様な専門職との連携及び協働について考える。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ、考察する。(1時間) |
| 10 | 実習7日目 | 予習:地域社会との連携及び協働について考える。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ、考察する。(1時間) |
| 11 | 実習8日目 | 予習:保育士の多様な業務と職業倫理について考える。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめる。総合的に実習を振り返る。(1時間) |
| 12 | 実習9日目 | 予習:保育士としての自己課題を考え、明確化する。(1時間)<br>復習:本日の反省をまとめ、9日間の実習を総合的に振り返る。(1時間) |
| 13 | 実習10日目 | 予習:総合的に実習を省み、最終日に備える。(1時間)<br>復習:総合的に10日間の実習を振り返りまとめる。お礼状を準備する。(1時間) |
| 14 | 事後指導 | 予習:実習全体を総合的に振り返る。(1時間)<br>復習:保育者としての自己課題を理解する。(1時間) |
| 15 | 実習報告会 | 予習:報告会の準備をする。(1時間)<br>復習:自己の振り返り､報告会で得た学びを､自己課題解決に活かす。(1時間) |

《専門科目》

| 科目名 | 保育実習指導Ⅱ（保育所） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、和田　紘平、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
実習に行くまでの必要な手続き・心構えについて学ぶ。
保育所実習Ⅰの学びをまとめ、報告会にて口頭発表を行う。
実習の記録の仕方について復習し、子どもを観察する力、自身の学びをまとめる力を養う。
指導案立案の演習を通して、責任実習に向けて応用力をつける。

**《授業の到達目標》**
１.保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。２.実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。３.保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。４.保育士の専門性と職業倫理について理解する。５.実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

**《成績評価の方法》**
レポート25%
実技　25%
授業の取組　30%
実習に行くにあたり必要な書類の手続き　20%

**《教科書》**
新訂知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド第二版［編著］石橋裕子・林幸範

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業において提出したワークシートについては２週間以内に返却する。
実習報告会及び指導案のプレゼンテーションについては、翌週の授業内で講評を述べる。

**《成績評価基準》**
１.保育実習の意義と目的を明確に述べることができる。２.実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、指導案や日誌及び、自身の課題設定に反映することができる。３.子どもの様子や保育士の配慮を観察し、気づきを述べることができる。４.保育士の専門性と職業倫理について説明することができる。５.実習報告会にて自身の経験や課題を述べることができる。

**《参考図書》**
新訂2版これだけは知っておきたい　保育のマナーと言葉　長島和代（編）わかば社
その他の参考書は、授業内で適宜提示する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション/選択実習依頼指導 | 1年次を振り返り、2年次前期の目標を立てる（30分）<br>次の実習までの流れを熟読する（30分） |
| 2 | 実習報告会に向けて/保育所実習フィードバック | 保育所実習Ⅰの振り返りシートを記入する（30分）<br>保育所実習Ⅰのエピソードを記入する（30分） |
| 3 | 実習報告会に向けて/保育所実習フィードバック | 保育所実習Ⅰを振り返り、事前に自己評価をする（30分）<br>フィードバックを元に目標を立てる（30分） |
| 4 | 実習報告会に向けて/日誌フィードバック | 保育所実習Ⅰの実習報告会に向けてスライドを作成する（30分）<br>保育所実習Ⅰの実習報告会に向けてスライドを作成する（30分） |
| 5 | 実習報告会に向けて/日誌フィードバック | 教科書の該当ページを熟読する（30分）<br>日誌に関するワークシートを作成する（30分） |
| 6 | 実習報告会に向けて/実習に向けた書類作成 | 事前オリエンテーションに関する書類の下書きを作成する（30分）<br>日誌に関するワークシートを作成する（30分） |
| 7 | 実習報告会最終打ち合わせ | 発表の内容や原稿をまとめる（30分）<br>報告会のワークシートを記入する（30分） |
| 8 | 保育士に求められる資質と職業倫理 | 教科書の該当ページを熟読する（30分）<br>フィードバック内容についてまとめる（30分） |
| 9 | 指導案立案について① | 教科書の該当ページを熟読する（30分）<br>指導案に関するワークシートを記入（30分） |
| 10 | 指導案立案について② | 教科書の該当ページを熟読する（30分）<br>指導案の下書きを作成する（30分） |
| 11 | 指導案立案について③ | 教科書の該当ページを熟読する（30分）<br>指導案の下書きを作成する（30分） |
| 12 | 指導案プレゼンテーション準備 | 指導案の作成及び教材の準備を行う（30分）<br>ワークシートをまとめる（30分） |
| 13 | 保育士としての自己課題の明確化 | 2年次の目標・計画について振り返りを記入する（30分）<br>保育所実習Ⅱの目標を立てる（30分） |
| 14 | 指導案のプレゼンテーション | 指導案及び教材を作成し、発表内容をまとめる（30分）<br>ワークシートをまとめる（30分） |
| 15 | 保育所実習Ⅱ直前指導 | 実習の心得を熟読する（30分）<br>実習までの課題に取り組む（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育実習指導Ⅲ（施設・児童館） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、和田　紘平、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】保育実習による総合的な学びとして、子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解、子どもの保育と保護者支援を学ぶ。子ども(利用者)の状態に応じた適切な関わり、保育の知識・技術を活かした保育実践力の育成。保育の全体計画に基づく具体的計画、実践、観察、記録、自己評価に基づく保育の改善。保育士の専門性と職業倫理。事後指導における実習の総括と自己評価、課題の明確化を行う。

**《授業の到達目標》**

1.保育実習の意義と目的を理解し保育を総合的に理解する。
2.実習、学内の学びを踏まえ、保育の実践力を習得する。
3.保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して理解し、保育士の専門性と職業倫理について理解する。
4.実習の事後指導を通して、実習の総括、自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

**《成績評価の方法》**

レポート　25%
実技　　25%
授業の取組30%
その他（書類の手続きを含む）20%

**《教科書》**

新訂　知りたいときにすぐわかる幼稚園・保言う書・児童福祉施設等実習ガイド 第二版 [編著]石橋裕子・林幸範　同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

レポート課題の内容に関する解説時間を設ける。
授業内提出のワークシートについては2週間以内に返却する。
実習報告会及び指導案のプレゼンテーションについて翌週の授業にて講評を述べる。

**《成績評価基準》**

1.保育実習の意義と目的を総合的に理解できたか。
2.実習、学内の学びを踏まえ、保育の実践力を習得できたか。
3.保育の観察、記録等を踏まえ、実践や事例を通し保育士の専門性と職業倫理について理解できたか。
4.実習の事後指導を通して、実習の総括、自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にできたか。

**《参考図書》**

実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド　小櫃智子編著　わかば社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ<br>選択実習依頼指導 | 予習:1年次の保育実習指導を振り返る。次の実習に向けて目標･計画を考える。(30分)<br>復習:次の実習に向けて、流れ･手続き等を熟知する。(30分) |
| 2 | 保育実習Ⅰ報告会に向けて①　ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ① | 予習:保育実習Ⅰの振り返りシートを記入する。(30分)<br>復習:保育実習Ⅰのエピソードをまとめる。(30分) |
| 3 | 保育実習Ⅰ報告会に向けて②　ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ② | 予習:保育実習Ⅰの振り返りから自己評価を考える。(30分)<br>復習:保育実習Ⅰの自己評価を基に改善策を考え、次の目標を立てる。(30分) |
| 4 | 保育実習Ⅰ報告会に向けて③　ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ③ | 予習:保育実習Ⅰの報告会に向けて準備をする。(30分)<br>復習:報告会に向けて、スライドを作成する。(30分) |
| 5 | 保育実習Ⅰ報告会に向けて④　ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ④ | 予習:保育実習Ⅰの報告会に向けて準備をする。(30分)<br>復習:報告会に向けて、発表内容を精査する。(30分) |
| 6 | 実習報告会の準備<br>実習書類作成 | 予習:保育実習Ⅰの報告会に向けて準備をする。(30分)<br>復習:報告会に向けて、発表内容をまとめる。(30分) |
| 7 | 実習報告会の最終準備 | 予習:グループで協働して発表の準備をする。(30分)<br>復習:報告会での学びをまとめ、自分の実習を総括し自己課題を明確化する。(30分) |
| 8 | 施設保育士に求められる資質と職業倫理 | 予習:保育士の資質と職業倫理についてまとめる。(30分)<br>復習:自分の実習経験から得られた保育士の資質と職業倫理について考える。(30分) |
| 9 | 指導案の立案について① | 予習:指導案について実習での学びを踏まえ、教科書を読み返す。(30分)<br>復習:指導案の内容を考え、下書きする。(30分) |
| 10 | 指導案の立案について② | 予習:責任実習の指導案立案を考える。(30分)<br>復習:実習での指導案立案を踏まえ、自己課題と改善策を考える。(30分) |
| 11 | 指導案の立案について③ | 予習:立案した指導案の改善箇所を検討する。(30分)<br>復習:他の授業などで学んだ内容を反映させ、指導案を改良する。(30分) |
| 12 | 指導案ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ準備 | 予習:様々な授業で学んだ内容を活かし、指導案の内容を充実させる。(30分)<br>復習:指導案を仕上げ、練習を重ねる。(30分) |
| 13 | 施設保育士としての自己課題の明確化 | 予習:最後の実習に向けて、自己の課題を再認識し、目標や計画を見直す。(30分)<br>復習:実習での総合的な学びを具体的に理解し、実習目標を立てる。(30分) |
| 14 | 指導案のプレゼンテーション | 予習:ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの準備を行い、保育実践に必要な知識･技術を確認する。(30分)<br>復習:ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの自己評価から課題･改善策を明確化する。(30分) |
| 15 | 保育所実習Ⅲ直前指導 | 予習:実習の準備を計画的に行い、実習の心得を熟読、理解する。(30分)<br>復習:実習準備の最終チェックを行い、保育士資格取得最後の実習に備える。(30分) |

《専門科目》

| 科目名 | 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 片本　仁 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
児童館・放課後児童クラブの役割や活動の流れの理解
健全育成につながる行事等の企画立案の方法を学ぶ
ソーシャルワークをベースとした発達段階に応じた子ども理解と支援の方法、基本的活動の実施方法を学ぶ

**《教科書》**
児童健全育成財団「児童館論」
※１年時と使用分を引き続き使用

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
子どものニーズに基づいた行事の企画・立案・発表を実施、講評する。

**《授業の到達目標》**
1、児童館の役割や児童館・放課後児童クラブにおける健全育成の理解。
2，児童会館・放課後児童クラブにおける活動の流れを理解し、行事の企画・立案ができるようになる。
3，発達段階に応じた子ども理解を深め、ソーシャルワークをベースとした居場所づくりや遊びを通しての支援ができるようになる。

**《成績評価基準》**
①あそびを通した子どもの健全育成について理解している事
②健全育成につながる、遊びのプログラム、行事の企画立案ができる事

**《成績評価の方法》**
行事の企画・立案・発表　50%
課題　40%
授業の取組　10%

**《参考図書》**
プリント等の配布資料

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:１年に学習した、「児童館・放課後児童クラブの機能と運営」について資料やノートの見ないし等により復習しておく。復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 2 | あそびを通した児童の健全育成 | 予習:健全育成とは何かについて調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 3 | 児童館・放課後児童クラブの流れと活動のねらい | 予習:児童館でどのような事を行っているか調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 4 | 児童館、放課後児童クラブにおける環境構成 | 予習:子どもにとっての安全・安心して遊べる場とはどんな場所か調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 5 | 子育て支援の活動 | 予習:様々な市町村において行われている子育て支援プログラムを調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 6 | 小学生の仲間づくり・居場所づくり | 予習:小学生を対象に行われている事業でどのようなものが行われているか調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 7 | 中高生の居場所づくりを支援 | 予習:居場所とは何かを調べておく、また、あなたにとっての居場所をまとめておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 8 | 児童館・児童クラブにおける生活・学習支援 | 予習:子どもの福祉的課題は何かを調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 9 | 保護者、学校、地域との連携/ボランティア育成 | 予習:子どもを取り巻く社会的な環境（組織や団体、個人）を調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 10 | 児童館、児童クラブにおけるグループワーク | 予習:自分が関わった集団や組織はどんなところがあるかまとめておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 11 | 児童館、放課後児童クラブにおけるケースワーク | 予習：子どもたちの状況や課題（憂い）を調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 12 | あそびを通じた支援の実施/プログラムづくり等 | 予習:子どもたちを対象にした健全育成につながる行事の実際を調べておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 13 | ニーズに基づいた行事やイベントの企画・立案 | 予習：配布した資料を読みこみ、事業に企画の方法について確認しておく<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 14 | 企画発表会、講評 | 予習:企画したプログラム案を整理、発表準備<br>復習:講義で学んだ内容について見直しや復習 |
| 15 | 総括・まとめ | 予習：これまでの講義のノートや資料等を読み込んでおく |

《専門科目》

| 科目名 | レクリエーション実技Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 原田　弘美 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
レクリエーション実技Ⅰで学んだ技術を活かし、演習を行う。対象や目的に合わせたレクリエーション活動の選択を支援案の作成を通して、プログラムの展開、指導方法などの技術を学ぶ。また、子どもだけでなく、高齢者や障がい者に対するレクリエーションの技術を習得し、ふりかえりを行うことで今後の活動に活かす。

**《授業の到達目標》**
1　レクリエーション支援者として必要とされる指導法を身に付け、自らレクリエーション活動を工夫、発展させていくことができる。
2　目的・対象に合わせてレクリエーションプログラムの企画・実施ができる。
3　集団や個人、環境に応じた多様なレクリエーション活動プログラムの展開方法を身につける。

**《成績評価の方法》**
課題　30%
実技　50%
授業の取組　20%

**《教科書》**
『楽しさを通した心の元気づくり　レクリエーション支援の理論と方法』（2017年）日本レクリエーション協会（レクリエーション概論で使用したもの）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出課題等は評価・フィードバックをした上で返却を行う。

**《成績評価基準》**
1　個々の指導法を身に付け、レクリエーション活動を工夫、発展させることができる。
2　目的・対象に合わせてレクリエーションプログラムの企画・実施ができる。
3　集団や個人、環境に応じた多様なレクリエーション活動プログラムの展開ができる。

**《参考図書》**
『レクリエーション支援の基礎～楽しさ・心地よさを活かす理論と技術～』（2007年）日本レクリエーション協会　など

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／レクリエーションの展開 | レクリエーション実技Ⅰの内容を振り返る（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 2 | レクリエーション活動の実際① | 協力・協調を引きだすレクリエーション活動について調べて、まとめる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 3 | レクリエーション活動の実際② | ニュースポーツの指導方法について調べて、まとめる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 4 | レクリエーション活動の実際③ | クラフトの指導方法について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 5 | プログラムの立案 | プログラム立案に必要なレク財について調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 6 | レクリエーション支援の実際① | 支援案を元に、練習、準備、ふりかえりを行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 7 | レクリエーション支援の実際② | 支援案を元に、練習、準備、ふりかえりを行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 8 | レクリエーション支援の実際③ | 支援案を元に、練習、準備、ふりかえりを行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 9 | レクリエーション支援の実際④ | 支援案を元に、練習、準備、ふりかえりを行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 10 | レクリエーション支援の実際⑤ | 支援案を元に、練習、準備、ふりかえりを行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 11 | レクリエーション支援の実際⑥ | 支援案を元に、練習、準備、ふりかえりを行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 12 | レクリエーション支援の振り返り | 支援経験を元にふりかえりを行う（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 13 | 季節に合わせた活動① | 季節に合わせた活動について、どのようなものがあるか調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 14 | 季節に合わせた活動② | 季節に合わせた活動について、どのようなものがあるか調べる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |
| 15 | まとめ | 支援者として求められる資質や知識について調べて、まとめる（30分）<br>今回の授業内容の復習(30分) |

# ２ 年 後 期

《基礎科目》

| 科目名 | 日本国憲法 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 村上　悠 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
本授業では、憲法における人権論を中心に、具体的な事例を取り上げながら解説し、教育者として必要な人権の内容について学びます。
また、憲法改正をめぐる議論が活発化しているため、その動向についても紹介していきます。

**《授業の到達目標》**
①日本国憲法に関する基本的な知識や考え方を修得すること
②修得した知識や考え方に基づいて、憲法の保障する人権について、倫理的、多角的に考えることができるようになること

**《成績評価の方法》**
筆記試験（90%）及び、普段の授業への取り組み（10%）から評価します。

**《教科書》**
プリントを配布します

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
課題については解説の時間を設けます

**《成績評価基準》**
成績は、日本国憲法の基礎的な知識や考え方を修得できているか、また、修得した知識を基に憲法の保障する人権についての倫理的・多角的思考ができているかについて評価を行います。

**《参考図書》**
初宿正典ほか編著『目で見る憲法　第5版』有斐閣、2018年。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ガイダンス | 憲法に関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 2 | 憲法とは何か | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 3 | 民主主義における憲法 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 4 | 人権の享有主体 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 5 | 象徴天皇 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 6 | 日本国憲法の三大原理・選挙制度 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 7 | 法の下の平等 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 8 | 幸福追求権、自己決定権 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 9 | 人権の分類 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 10 | 思想良心の自由、表現の自由、信教の自由 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 11 | 経済的自由権、身体的自由権 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 12 | 社会権、生存権 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 13 | 教育を受ける権利、労働基本権 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 14 | 三権分立 | 講義テーマに関する新聞記事などの調査・熟読（1時間）<br>配布プリントの整理・再読（1時間） |
| 15 | まとめ | これまでの講義内容の再確認（2時間）<br>配布プリントの整理・再読（2時間） |

《基礎科目》

| 科目名 | 英語Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 富永　真子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士選択】【幼稚園教諭選択】
フォニックス（英語圏の子供達が、読み書きを身につけるための学習法）を学習することで「カタカナ英語」にならない、自然なスピードで発話できるよう指導します。英語Ⅰで学習した基礎文法を応用した様々な場面での会話例を「自然な発音」で躊躇なく話す練習を行う。

**《授業の到達目標》**
小学校の英語教育改革が始まり、就学前の園児の英語教育が注目される中、園児を指導するにあたり、手本となる発音、英語圏の多様な知識・文化の習得が必要です。
前期で学習した「言語としての基礎知識」にとどまらず、授業を通して一人一人が自信を持って「指導する側」に立てるようになることを目標とする。

**《成績評価の方法》**
筆記試験30%
授業内実技70%

**《教科書》**
教科書なし
各自ノート2冊を準備する
（※1冊はオリジナルテキスト作成用）

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
授業内での対話文のペアワークの発表や、課題に対する回答発言に対し、その発音、強弱、表現力等を総合的に評価し「授業内獲得ポイント」として授業内に評価し通知する。最終的な期末試験(筆記)にそれらの合計点(70点満点)を加算する。

**《成績評価基準》**
・フォニックスを意識して正しく発音できているか？さらにフォニックスをふまえた上で、表情、姿勢、声のトーンなど総合的に「自然な表現」ができているか。

**《参考図書》**

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 日本語「50音」との音の違い（フォニックス） | 復習：毎日10分発音練習 |
| 2 | ■フォニックス(t,d郡、b,p,m郡、f,v軍) | 復習：毎日10分発音練習 |
| 3 | 対話文Ⅰ「ショッピングでのシーン」① | 復習：毎日10分発音練習 |
| 4 | 対話文Ⅰ「ショッピングでのシーン」② | 復習：毎日10分発音練習 |
| 5 | 対話文Ⅰ「ショッピングでのシーン」③ | 復習：毎日10分発音練習 |
| 6 | ■フォニックス(r/lの違い、「h」「th」) | 復習：毎日10分発音練習 |
| 7 | 対話文Ⅱ「道を訪ねる／教えるシーン」① | 復習：毎日10分発音練習 |
| 8 | 対話文Ⅱ「道を訪ねる／教えるシーン」② | 復習：毎日10分発音練習 |
| 9 | 対話文Ⅱ「道を訪ねる／教えるシーン」③ | 復習：毎日10分発音練習 |
| 10 | ■フォニックス（カタカナ単語を英語読みに | 復習：毎日10分発音練習 |
| 11 | 対話文Ⅲ「ホテルチェックインするシーン」① | 復習：毎日10分発音練習 |
| 12 | 対話文Ⅲ「ホテルチェックインするシーン」② | 復習：毎日10分発音練習 |
| 13 | 対話文Ⅲ「ホテルチェックインするシーン」③ | 復習：毎日10分発音練習 |
| 14 | 確認と総復習 | 半期に学んだ「気づき」をノートにまとめる |
| 15 | 試験、まとめ | 半年間の「毎日10分発音練習」を続けていく |

《基礎科目》

| 科目名 | 中国語Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 菅原　尚子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 | | | | |

**《授業の概要》**
担当教員は中国留学経験があり、中国語を用いた日本語教育にも携わっている。中国語書籍の翻訳経験あり。中国語でコミュニケーションを取る為に必要な基本を学び、現代の中国や中国文化についての知識を身につけ、異文化理解を深められる授業を行う。

**《授業の到達目標》**
１．中国の地理や歴史、文化などに興味を持ち知識を深めることができる。
２．漢字（簡体字）がより多く、正しく書ける。
３．日本語とは違う漢字の意味を正しく知り、筆談が出来たり、SNSなどで発信された記事が読み取れるようになる。
４．中国語で自分の名前や趣味などが言えるようになる。
５．学籍番号、電話番号、金額が言えるようになる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験（期末）　40%
課題プリント提出　40%
授業の取組　20%
（正しく発音できているか、中国語で挨拶できているか等)

**《教科書》**
グッと入門中国語改訂版（株）金星堂
芦田久美子・氷野善寛・王牧　著

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
教科書に対応した課題プリントは、採点の上返却する。間違いが多い箇所については、授業内でフィードバックを行う。

**《成績評価基準》**
1　中国の地理や歴史、文化について理解している。
2　簡体字を正しく書いている。
3　日本語とは違う漢字の意味を知っている。
4　中国語で自己紹介ができている。
5　学籍番号、電話番号、金額がスムーズに言えている。

**《参考図書》**
適宜紹介します

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 【第４課】<br>新出単語と会話文 | 【第４課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 2 | 【形容詞述語文】<br>形容詞色々、程度副詞 | 形容詞色々を学ぶ。（予習２０分）<br>天気などについて、程度や否定の言い方を覚える。（復習３０分） |
| 3 | 【第５課】<br>新出単語と会話文 | 【第５課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 4 | 【量詞】①<br>年齢や学年 | 個数や人数の数え方を学ぶ。（予習２０分）<br>年齢や学年の言い方、所有を表す表現を覚える。（復習３０分） |
| 5 | 【第６課】<br>新出単語と会話文 | 【第６課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 6 | 【場所代名詞】<br>建物の場所 | 「ここ/あそこ/どこ」について学ぶ。（予習２０分）<br>方位詞と所在を表す表現を覚える。（復習３０分） |
| 7 | 【第７課】<br>新出単語と会話文 | 【第７課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 8 | 【時刻の言い方】<br>自己紹介の練習① | 自分の好きな事や趣味を中国語で言う練習をする。（予習２０分）<br>時刻を中国語で言う。（復習３０分） |
| 9 | 【第８課】量詞②<br>新出単語と会話文 | 【第８課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 10 | 【助動詞】<br>想と会について | したいことを言う練習をする（予習２０分）<br>連動文を理解する（復習３０分） |
| 11 | 【第９課】<br>新出単語と会話文 | 【第９課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 12 | 【介詞】<br>自己紹介の練習② | どこで何をしているか言える。（予習３０分）<br>自分の名前、年齢、趣味などの発音の練習をする。（復習３０分） |
| 13 | 【第１０課】<br>新出単語と会話文 | 【第１０課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習２０分）<br>漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分） |
| 14 | 【総復習】<br>後期のまとめ | これまでに学習した内容について復習する（予習３０分）<br>練習問題を解く（復習３０分） |
| 15 | 【総まとめ】<br>習得出来ているかの確認 | 期末試験として、後期総まとめの問題を解く。（予習３０分）<br>疑問点を確認し解決する。（復習３０分） |

《専門科目》

| 科目名 | 幼児教育教師論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 溝上　敦子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

過去の歴史を踏まえつつ、今日の幼児教育の理念や理論を理解し、幼児教育に携わることの意義、教師の役割について理解を深める。また、法が求める教師の要件やこれからの幼児教育に求められる教師像を認識し、保育者としての資質・能力の基盤を培う。授業では、実習での体験や実践事例のグループワーク分析等を通して、実践的な基礎力を身に着ける。

**《授業の到達目標》**

①日本における幼児教育や保育者の社会的な意義を理解し、教育の動向を踏まえて保育者の今日的な役割や資質・能力について説明できる。
②保育者の職務内容の全体像や保育者に課せられた服務上・身分上の意義を理解し、自分の理想とする保育者像が語れる。
③保育施設の今日的役割を認識し、専門家や地域等との連携やチームとしての組織的な取組の必要性を理解し説明できる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　60%
課題　20%
授業の取組　20%

**《教科書》**

田中卓也他『子どもとともに未来をデザインする保育者論・教育者論』』わかば社、2020年

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

提出した課題レポートについては、2週間以内に評価し返却する。
筆記試験については、総括・まとめの時間で解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**

①日本における幼児教育や保育者の社会的な意義を理解し、保育者の今日的な役割や資質・能力について説明できたか。
②保育者の職務内容の全体像や保育者の服務上・身分上の意義を理解し、自分の理想とする保育者像が語れたか。
③保育施設の今日的役割を認識し、専門家や地域等との連携やチームとしての組織的な取組の必要性を理解し説明できたか。

**《参考図書》**

『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館（2018）秋田喜代美編『今に生きる保育者論〔第4版〕』みらい（2019）

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション・教職の社会的意義 | 教科書pp.８～13に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 2 | 人格形成の基礎を培う意義と保育者の倫理 | 教科書pp.13～23に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 3 | 教職観の変遷と保育・教育の歴史 | 教科書pp.24～35に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 4 | 保育施設等における子どもの生活と保育者の役割 | 教科書pp.36～49に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 5 | 法令等に見る教員の資格・免許と資質・専門性 | 教科書pp.16～23、pp.134～138に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 6 | 子どもの成長と発達/子ども理解と集団づくり | 教科書pp.60～77に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 7 | 保育の特質について（環境を活かす） | 教科書pp.78～85に目を通しておくこと。１時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。１時間 |
| 8 | 専門的知識を理解する/保育技術 | 教科書pp.86～99に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 9 | 多様化する保育者の課題と必要な資質・専門性 | 教科書pp.50～59、pp.86～99に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 10 | 教育の動向を踏まえた教職の役割 | 教科書pp.100～109に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 11 | チーム学校運営の必要性の理解/幼保小連携 | 教科書pp.116～123に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 12 | 保育者のメンタルヘルス/保育者の研修研修 | 教科書pp.110～115、pp.124～133に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 13 | 様々な子どもや保護者への支援/子育て支援 | 教科書pp.100～109に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 14 | 地域環境の変化と今後の課題 | 教科書pp.１34～142に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。２時間 |
| 15 | 総括・まとめ | 前週に説明した重点内容に目を通しておくこと。２時間<br>今回の授業で学んだ内容の振り返り。２時間 |

《専門科目》

| 科目名 | 子ども家庭支援の心理学 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
行政機関の家庭児童相談員の実務経験がある教員が授業を行う。
現代社会の家族や子育てに関する問題について、心理学的な視点から事象を読み解けるようになるよう、テキストに沿った講義により学ぶ。社会問題となっている事例について考察し、グループディスカッションを通して理解を深める。

**《授業の到達目標》**
1．生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を説明できる
2．家族、家庭の意義や機能を理解し、親子関係や家族関係についての発達的な視点をそなえる
3．現代の子育て家庭の社会的状況と課題について知り、子どもとその家庭のニーズを把握できる
4．子どもや子育てをする親の精神保健を理解し、社会的課題と望ましい支援について説明することができる

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%　レポート　10%
課題　%　実技　%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**
「子ども家庭支援の心理学」松本園子・永田陽子・長谷部比呂美・日比暁美・堀口美智子著、ななみ書房

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

**《成績評価基準》**
学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解、説明ができるか。
授業に意欲を持って取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

**《参考図書》**
「子どもを愛せなくなる母親の心がわかる本」大日向雅美（監修）　講談社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション／子育て家庭支援の視点 | 予習：新聞等で子育てに関する問題を調べる（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 2 | 生涯発達と初期経験の重要性 | 予習：教科書ｐ9～19を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 3 | 家族、家庭の理解 | 予習：教科書ｐ21～27を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 4 | 子育てを取り巻く社会的状況 | 予習：教科書ｐ29～41を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 5 | ライフコースと仕事、子育て | 予習：教科書ｐ41～45を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 6 | 多様な家庭とその理解 | 予習：教科書ｐ46～55を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 7 | 特別なニーズを持つ家庭と援助①　障がい等 | 予習：教科書ｐ57～68を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 8 | 特別なニーズを持つ家庭と援助②　DV | 予習：教科書ｐ68～72を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 9 | 特別なニーズを持つ家庭と援助③　ひとり親 | 予習：教科書ｐ73～83を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 10 | 子どもの精神保健と課題①子どもの心の理解 | 予習：教科書ｐ85～93を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 11 | 子どもの精神保健と課題②幼児期の精神保健 | 予習：教科書ｐ93～100を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 12 | 子どもの精神保健と課題③　児童期・青年期 | 予習：教科書ｐ101～107を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 13 | 子どもの精神保健と課題④喪失体験への対応 | 予習：教科書ｐ107～111を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 14 | 児童虐待 | 予習：教科書ｐ111～117を読む（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |
| 15 | 事例を通した考察／授業のまとめ | 予習：授業全体をふり返り、質問を考えておく（2時間）<br>復習：プリントを活用して授業内容をまとめる（2時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 子どもの食と栄養Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 大仁田　あずさ | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
本科目では、「子どもの食と栄養Ⅰ」で習得した知識を基に、調理実習を通じて、子どもの発育・発達段階に応じた望ましい食事のとり方について学ぶ。また、保育における食育の意義や近年、深刻化している食物アレルギー等の特別な配慮を要する子どもの食生活の現状と対応についても理解を深める。

**《授業の到達目標》**
1.調理実習を通して調理技術を習得し、発育・発達段階に応じた望ましい子どもの食事を作ることができる。
2.保育における食育の意義と内容を理解し、保育の一環としての食育を展開することができる。
3.食物アレルギー等の特別な配慮を要する子どもの食生活の現状と対応について説明できる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験70%
課題10%
実技10%
授業の取組10%

**《教科書》**
「新・基本保育シリーズ⑫ 子どもの食と栄養」堤ちはる・藤澤由美子編、中央法規

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
試験のフィードバックとして、試験内容に対する解説の時間を設ける。

**《成績評価基準》**
成績評価は筆記試験、課題、実技、受講態度等を鑑み評価する。

**《参考図書》**
「令和4年版 食育白書」農林水産省編、日経印刷

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 幼児期の心身の発達と食生活① 幼児期の食生活 | 予習：教科書 p.85～88を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 2 | 幼児期の心身の発達と食生活② 幼児期の間食 | 予習：教科書 p.88～96を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 3 | 調理実習①【調乳実習・ベビーフードの試食】 | 予習：教科書 p.66～69を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 4 | 調理実習②【離乳食1】離乳中期の食事 | 予習：教科書 p.75～77を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 5 | 調理実習③【離乳食2】離乳完了期の食事 | 予習：教科書 p.76～79を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 6 | 調理実習④【幼児食1】3～5歳児の食事 | 予習：教科書 p.88～91を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 7 | 調理実習⑤【幼児食2】3～5歳児の間食 | 予習：教科書 p.89,92,93を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 8 | 学童期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活 | 予習：教科書 p.97～99,102,103を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 9 | 食育の基本と内容①<br>食育の意義と考え方 | 予習：教科書 p.109～120を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 10 | 食育の基本と内容②<br>食育の内容と計画、評価 | 予習：教科書 p.121～136を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 11 | 食育の基本と内容③<br>地域や家庭との連携 | 予習：教科書 p.137～148を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 12 | 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 | 予習：教科書 p.149～160を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 13 | 特別な配慮を要する子どもの食①疾病、障がい等 | 予習：教科書 p.161～172,176～179を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 14 | 特別な配慮を要する子どもの食②食物アレルギー | 予習：教科書 p.173～177,180～186を熟読しておくこと（30分）<br>復習：講義資料をもとに授業内容を整理する（30分） |
| 15 | まとめ | 予習：これまでの講義資料とノートを整理しておくこと（30分）<br>復習：これまでの授業内容を確認する（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容「人間関係」の指導法 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 三吉　愛子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
「幼児と人間関係」の授業で学んだことについて、より理解を深め、実際の指導場面で実践ができるために、教科書、オリジナル資料、DVD 教材等を用いながら、ワークや事例についての検討・考察を行うことで深く理解していく。また、ロールプレイを通した考察、ICT も活用した指導案作成、模擬保育等を通して実践力をつける。

**《授業の到達目標》**
1.幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「人間関係」において育みたい資質能力について説明できる。2.領域「人間関係」のねらいと内容について理解を深め、説明することができる。3.幼稚園等での人間関係に関わる具体的な指導場面を想定して、適切な保育・教育を実践する方法がわかり、行うことが出来る。4.一個人として日常の人間関係において、子どもたちの人的環境および行動モデルになるあり方を意識できている。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　50%
課題　20%
授業の取組　30%

**《教科書》**
「ワークで学ぶ保育内容『人間関係』」菊地篤子著、みらい

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。筆記試験の後は解説を行う。

**《成績評価基準》**
体験から学んだ視点、指導方法について、現場で臨機応変に活かせることを説明できるか。また、授業に意欲をもって取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

**《参考図書》**
「体験する・調べる・考える領域人間関係」田宮縁　萌文書林

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 領域「人間関係」のより深い理解のために | 予習：教科書の第2編に目を通し、授業の概要を見ておく（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 2 | 領域「人間関係」を理解し説明する | 予習：教科書 P106～11 を読み領域「人間関係」の基本事項を見直す（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 3 | 事例検討①集団における子どもの内面について | 予習：教科書 P12～118を読む（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 4 | 事例検討②子どもの自立を促す保育者のかかわり | 予習：実習での体験から保育者が子どもにかかわる場面を抽出しておく（2時間）<br>復習：授業内容をふりかえり整理する（2時間） |
| 5 | 事例検討③遊びから人との関わりを育てるには | 予習：子どもどうしのいざこざ場面について抽出しておく（2時間）<br>復習：授業内容をふりかえり整理する（2時間） |
| 6 | 事例検討④生活に必要な人とｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを育む | 予習：自分自身のコミュニケーションのあり方に意識してみる（2時間）<br>復習：授業内容をふりかえり、自身の課題にとりくむ（2時間） |
| 7 | 事例検討⑤「困った子ども」との関わりを考える | 予習：教科書 P150～158を読む（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 8 | 行事での指導と人間関係①情報収集と指導案作成 | 予習：実習での行事場面の指導について抽出しておく（2時間）<br>復習：授業内容についてふり返り整理する（2時間） |
| 9 | 行事での指導と人間関係②模擬保育と映像の検討 | 予習：指導場面についての模擬保育について準備する（2時間）<br>復習：授業内容をふり返り整理する（2時間） |
| 10 | 人との関わりが豊かになるための環境構成 | 予習：教科書 P18～122を読む（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 11 | 人との関りが豊かになる子どもの環境 | 予習：教科書 P123～131を読む（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 12 | 子どもどうしの関係を育むための遊び | 予習：教科書 P132～149を読む（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 13 | 模擬保育と検討 | 予習：指導案を完成させ模擬保育ができるよう準備する（2時間）<br>復習：授業内容についてふりかえり整理する（2時間） |
| 14 | 小学校生活以降へつながる人間関係の土台づくり | 予習：教科書 P159～168を読む（2時間）<br>復習：教科書を読みなおし、授業内容を整理する（2時間） |
| 15 | 豊かな人間関係構築、自他尊重的な素地づくり | 予習：授業全体をふり返り、質問を考えておく（2時間）<br>復習：授業内容を整理する（2時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 保育内容「環境」の指導法 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】保育事例や子どもの映像資料等をもとに、子どもにとっての「身近な環境」と「環境を通して行う」ことの重要性について理解した上で、領域「環境」に関するねらい及び内容が達成されるような計画、指導計画の立案を行う。その際に、ICTを活用し情報を収集する。また、グループ毎に指導計画を立案し、模擬保育の実践や実践後の省察を通して、領域「環境」に関する指導法を身に付ける。

**《授業の到達目標》**

1.幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された領域「環境」のねらい及び内容の基本的専門知識の習得と幼児教育の特徴である「環境を通して行う」ことの重要性を理解する。 2.子どもの発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程をふまえ、領域「環境」の具体的な指導場面から保育を構想する方法を身に付ける。 3.指導案を立案し、実践できる。 4.模擬保育実践を省察し、課題を見出し明確にすることができる。

**《成績評価の方法》**

筆記試験　0%　レポート　40%
課題　30%　実技　0%
授業の取組　30%
その他（　　）　0%

**《教科書》**

幼稚園教育要領（2017年）文部科学省
保育所保育指針（2017年）厚生労働省

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

毎授業の終盤で感想の記入を求めるが、授業内容の捉え方のずれや質問等があった場合は、授業内で全体に解説を行う。
課題（指導案）は、適宜コメント等をつけて返却する。
模擬保育の実践後は、授業内でフィードバックと講評を行う。

**《成績評価基準》**

1．授業に意欲的に参加し、グループで協働する意識を持ち、指導案立案、実践準備、実践、省察の流れを遂行できたか。
2．感想や指導案立案等の課題に真摯に取り組み、期日までに提出ができたか。
3．本授業で学んだことを自分の言葉で説明したり、述べたりすることができ、授業の到達目標が達成できたか。

**《参考図書》**

授業内で適宜紹介する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション ～保育内容「環境」 | ■予習内容　幼稚園教育要領を熟読する（2時間）<br>□復習内容　授業の資料を振り返り、整理する（2時間） |
| 2 | 子どもの発達と領域「環境」 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 3 | 保育環境の理解と観察記録 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 4 | 領域「環境」のねらい及び内容 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 5 | 自然環境と保育① ～ICTを活用した情報収集 | ■予習内容　野菜の栽培に関する情報を収集し、まとめる（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 6 | 自然環境と保育② ～野菜の栽培に関する立案 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 7 | 自然環境と保育③ ～指導案プレゼンテーション | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 8 | 自然環境と保育④ 模擬保育者観省察 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 9 | 数量・図形への興味・関心 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 10 | 標識・文字等への興味・関心 ～学内探索 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 11 | 身近な素材や自然物を用いた指導案作成、準備 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 12 | 身近な素材や自然物を用いた模擬保育① | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 13 | 身近な素材や自然物を用いた模擬保育② | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 14 | 身近な素材や自然物を用いた保育実践の省察 | ■予習内容　授業内で提示した課題に取り組む（2時間）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間） |
| 15 | まとめ | ■予習内容　第1～14回授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（2時間）<br>□復習内容　第1～15回授業を振り返り、学びを整理する（2時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 社会的養護Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 永瀬　枯緑 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて<br>重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】
「社会的養護Ⅰ」に引き続き、家庭養護と施設養護の概要と役割について理解を深める。また、映像教材等を使って施設現場の現状や課題等を把握し、社会的養護における保育士としての役割と倫理について学び、基本的な知識や技術等を修得し、実践力の向上を図る。なお、国の動向等についても、授業内容と関連させ適宜情報提供する。

**《授業の到達目標》**
・施設養護と家庭養護の制度および各施設の概要と役割について具体的に説明できる。
・社会的養護における保育士の役割と倫理を説明できる。
・社会的養護の課題と展望を的確に述べることができる。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　80%
授業の取組　20%

**《教科書》**
「社会的養護Ⅱ」　監修　公益財団法人　児童育成協会　編集　相沢仁　村井美紀　大竹智　中央法規　2019

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
毎回、講義の初めに、前回の講義内容に対する振り返りや解説の時間を設けることで、課題（試験）のフィードバックを行う。

**《成績評価基準》**
・施設養護と家庭養護の制度および各施設の概要と役割について具体的に説明できるようになったか。
・社会的養護における保育士の役割と倫理を説明できるようになったか。
・社会的養護の課題と展望を的確に述べることができるようになったか。

**《参考図書》**
なし

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 子どもの権利擁護 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 2 | 社会的養護における子どもの理解 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 3 | 社会的養護の内容①<br>日常生活支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 4 | 社会的養護の内容②<br>心理的支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 5 | 社会的養護の内容③<br>自立支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 6 | 施設養護の生活特性および実際①乳児院等 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 7 | 施設養護の生活特性および実際②障害児施設等 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 8 | 家庭養護の生活特性および実際 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 9 | アセスメントと個別支援計画の作成 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 10 | 記録および自己評価 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 11 | 保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 12 | 相談援助の知識・技術とその実践 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 13 | 社会的養護におけるソーシャルワーク | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 14 | 社会的養護における家庭支援 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |
| 15 | 今後の社会的養護の課題と展望 | 予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと（30分）<br>復習：授業で使用したシート等を振り返ること（30分） |

《専門科目》

| 科目名 | 子育て支援 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 北野　哲也 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】子育て支援の実際の事例をもとに、国家資格として保育士に求められている子どもの保育と保護者に対する保育に関する指導の理解を深め、保育に関する専門的知識・技術・倫理・価値観など子どもの成長を通して親子をユニットとしてとらえ、それぞれへの関係性を構築するための子育て支援の知識と技術を理解する。

**《授業の到達目標》**
１．子育て支援の意義と原則について理解を深め、保育者としての使命感や倫理観を高める。２．子育て支援の基本を理解し、子どもの成長に沿った親育ちの過程と関係性を理解する。３子育て支援の実際を学び、内容と方法を理解し、保育士の専門的基礎知識と判断力を習得する。４．子育て支援の実際を通して保育所や認定こども園等の福祉施設や地域の関係機関との連携を構築する現状について理解する。

**《成績評価の方法》**
筆記試験　70%　レポート　５%
課題　５%　実技　10%
授業の取組　10%
その他（　　）　%

**《教科書》**
子育て支援　小橋明子　監修・執筆　木脇奈智子　編集・執筆
小橋拓真　川口めぐみ　執筆　中山書店

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
講義に関連する資料及び課題、振り返り等を記入することで求められる支援内容の理解に努め、グループによる振り返りの時間を設け、子育て支援についての共通理解を高めます。

**《成績評価基準》**
成績評価は、筆記試験及び課題及び講義の取り組み態度等を鑑み評価する。

**《参考図書》**
保育所保育指針およびその解説書、認定こども園及び幼稚園教育要領、関係法令集　など

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 子どもの保育とともに行う保護者の支援 | 保育の特性についての理解：30分、保育士の業務の理解：30分 |
| 2 | 日常的、継続的な保護者との信頼関係づくり | 保護者との相互理解：30分、保育者の基本的態度の理解：30分 |
| 3 | 保護者や家庭にかかわる支援の理解 | 支援のニーズ：30分、支援のプロセス：30分 |
| 4 | 子どもおよび保護者の状況、状態の把握 | 支援のツールの理解：30分、アセスメントの理解：30分 |
| 5 | 支援の計画と環境の構築 | 目標の設定：30分、計画の内容：30分 |
| 6 | 支援の実践・記録・評価・カンファレンス | 評価の支援：30分、PDCAサイクルの理解：30分 |
| 7 | 職員間の連携・協働 | 職員間の協働：30分、キャリアアップ研修の流れ：30分 |
| 8 | 社会資源の活用と専門性と連携・協働 | 地域資源の理解：30分、地域資源の活用：30分 |
| 9 | 保育所等における支援 | 保護者のニーズ：30分、育児の現状の理解：30分 |
| 10 | 地域の子育て家庭に対する支援 | 拠点保育所の役割：30分、地域子育て支援：30分 |
| 11 | 障害児およびその家庭に対する支援 | 障害児のいる家庭への理解：30分、いろいろな環境にいる子どもの理：30分解 |
| 12 | 特別な配慮を要する子どもとその家庭 | 特別な配慮を必要とする家庭の理解：30分、気になる子ども：30分 |
| 13 | 子どもの虐待の予防と対応 | 児童虐待防止法の理解：30分、ステップファミリー：30分 |
| 14 | 多様な支援ニーズを抱える子育て支援 | 親子関係の問題：30分、要保護児童の理解：30分 |
| 15 | 試験及び振り返り | グループによる振り返りと見通し |

《専門科目》

| 科目名 | 子どもと音楽表現 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 吉原　美南子、和田　紘平、加藤　みゆき、室北　昌子、小柳　厚子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
個人ﾚｯｽﾝ形式の音楽表現活動の実践により、実習園からの課題、就職試験の課題曲等、各自の不得意な音楽的要素の克服をはじめ、自分自身の課題を見つめ直すことができる。日々の小さな積み重ねによる音楽表現活動記録の記入により、保育者として子どもと楽しい音楽表現活動を行う上で不可欠な音楽表現技術の更なる実力アップに繋ぐことができ、保育者として喜びに溢れた音楽表現活動実践力を培う。

**《授業の到達目標》**
1.保育内容の理解と方法(音遊び)、子どものためのピアノ表現Ⅰ・Ⅱの授業で習得した内容を踏まえ、更なる応用的な技術と豊かな表現力を身につける。
2.日々の音楽表現活動の記録を付け、自身の弱点を把握し、改善策を考え実行し、実力アップにつなぐ。
3.保育現場で用いられる様々な音楽表現活動のレパートリーを増やし、現場での実践力を身につける。

**《成績評価の方法》**
実技　50%
授業の取組(中間発表を含む)　50%

**《教科書》**
「あなたも弾けるやさしい童謡唱歌集」木村鈴代編著 同文書院
「教職課程のための大学ピアノ教本-バイエルとツェルニーによる展開」教育芸術社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
毎回、予習、復習、授業内での学びを音楽表現ノートに記入し、授業時に、教員に提示する。
教員のコメント記入後、各自受け取り、次回の授業に備える。

**《成績評価基準》**
1.応用的技術を習得し、豊かな音楽表現を身につけることができたか。
2.音楽表現活動の記録(音楽表現ノート）を付け、自身の弱点を把握し克服できたか。
3.保育現場で用いられる音楽表現活動のレパートリーを増やし、実践できる力を身につけることができたか。

**《参考図書》**
随時提示する。

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 2 | 個人レッスン① | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 3 | 個人レッスン② | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 4 | 個人レッスン③ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 5 | 個人レッスン④ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 6 | 個人レッスン⑤ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 7 | 個人レッスン⑥ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 8 | 中間発表会 | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:発表会での他者演奏の良い点、自己反省を記し、練習法を改善する。 (計30分) |
| 9 | 個人レッスン⑦ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 10 | 個人レッスン⑧ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 11 | 個人レッスン⑨ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 12 | 個人レッスン⑩ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 13 | 個人レッスン⑪ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 14 | 個人レッスン⑫ | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:授業での学び、気づき、改善策を考え、活かした練習を行い記録を記す。(計30分) |
| 15 | 音楽表現実技の発表 | 予習:音楽表現活動(ピアノ実技、弾き歌い)を毎日練習し記録を記す。(合計30分)<br>復習:保育者としての楽しい音楽表現実現に必要な練習を重ねていく。(計30分) |

《専門科目》

| 科目名 | 保育・教職実践演習（幼稚園） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩、溝上　敦子、辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。<br>○　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
【保育士必修】【幼稚園教諭必修】
これまでの実習で学んできたことを基に、役割演技や事例研究等を通して、保育者としての資質・能力の形成状況を確認するとともに、自己の課題を自覚し不足しているところを補い改善を図ってより良い保育者としてスタートできるように備える。グループ討論、ロールプレイング等の授業方法を活用し学生が主体的に学ぶ授業を展開する。

**《授業の到達目標》**
1.実習で学んだ子ども理解や援助、保育者の役割や使命について具体的に説明することができる。
2.保育者としての倫理観や責任感、対人関係能力、学級経営力等についての資質の向上を目指す準備をすることができる。
3.保育者になる上で自分にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技術等を補うことができる。

**《成績評価の方法》**
レポート　20%
課題　50%
授業の取組　30%

**《教科書》**
「これまでの学びと保育者への歩み」
　小櫃智子・矢藤誠慈郎　わかば社

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
提出課題は、２週間以内にコメントをつけて返却する。

**《成績評価基準》**
1.実習で学んだ子ども理解や援助、保育者の役割や使命について具体的に説明することができたか。
2.保育者としての倫理観や責任感、対人関係能力、学級経営力等についての資質の向上を目指す準備をすることができたか。
3.保育者になる上で自分にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技術等を補うことができたか。

**《参考図書》**
「幼稚園教育要領解説」　フレーベル館
「保育所保育指針解説」　フレーベル館
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 保育・教職実践演習のねらい | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 2 | 子ども理解の方法と実際 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 3 | 教育課程・全体的な計画の検討① | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 4 | 教育課程・全体的な計画の検討② | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 5 | 協同的な学びと育ちへ | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 6 | 保育内容と保育方法の研究①保育者の職務の検討 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 7 | 保育内容と保育方法の研究②保育内容の理解 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 8 | 保育内容と保育方法の研究③模擬保育 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 9 | 保育内容と保育方法の研究④模擬保育の振り返り | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 10 | 保護者及び地域との関係づくり・幼保小の連携 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 11 | 保育現場の現状と課題 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 12 | 園の安全管理 | ○予習内容(2時間)　実習経験をもとに保育現場の課題についてまとめる<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 13 | 保育者の専門性の理解 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 14 | 気になる子どもの行動と理解と対応 | ○予習内容(2時間)　指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと<br>○復習内容(2時間)　学習したことを教科書等を読み返しノートに整理する |
| 15 | 自分の保育者像を目指して | ○予習内容(2時間)　半期の学びを整理する<br>○復習内容(2時間)　半期の学びを振り返りレポートを作成する。 |

# ２ 年 通 年

《専門科目》

| 科目名 | 教育実習指導Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩、溝上　敦子、辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・通年　（前期） |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**

【幼稚園教諭必修】

教育実習に係る事前指導と事後指導を行う。

実習終了後は、PDCAサイクルシートを活用し自己課題を明確にする。また、1・2年生合同でグループワーク形態の実習報告会を行い、学びの共有化を図る。

授業と実習の経験を総合的に省察し、就職後の自分をイメージして幼児教育の学びを確かなものにする。

**《授業の到達目標》**

1.教育実習の意義や目的を理解し、実習の自己課題を具体的に述べることができる。 2.実習に関する手続きや書類作成など、準備を確実に遂行することができる。3.実習終了後、自己課題の評価を的確に行い、成果と課題を報告会で報告することができる。4.実習後自らの実習を総合的に点検し、省察して自己課題を整理し具体的に述べることができる。

**《成績評価の方法》**

レポート　30%
課題　50%
授業の取組　20%

**《教科書》**

『新訂　知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』　石橋裕子・林幸範（編）　同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**

実習の手続きに関する書類は回収し、添削して適宜指導を行う。課題やレポートについては、第1回及び第2回教育実習報告会終了後に評価して返却する。

**《成績評価基準》**

1.教育実習の意義や目的を理解し、実習の自己課題を具体的に述べることができたか。 2.実習に関する手続きや書類作成など、準備を確実に遂行することができたか。3.実習終了後、自己課題の評価を的確に行い、成果と課題を報告会で報告することができたか。4.実習後自らの実習を総合的に点検し、省察して自己課題を整理し具体的に述べることができたか。

**《参考図書》**

『幼稚園教育要領解説』文部科学省　フレーベル館
『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』小櫃智子（編）わかば社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | ■予習内容　「教職課程履修内規」（学生便覧）に目を通す（30分）<br>□復習内容　事前訪問書類、課題「実習園の概要」に取り組む（30分） |
| 2 | 教育実習に必要な心構えと準備 | ■予習内容　参考書（パーフェクトガイド）pp.18-25を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 3 | 実習の目標と自己課題の設定 | ■予習内容　参考書（パーフェクトガイド）pp.26-29を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、実習に向けて自己課題を整理する（30分） |
| 4 | 観察の仕方とメモの取り方 | ■予習内容　これまでの実習から観察の仕方やメモのポイントを振り返る（30分）<br>□復習内容　再度観察の仕方やメモのポイントについて整理する（30分） |
| 5 | 実習日誌の意義と書き方 | ■予習内容　教科書pp.12-13を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　実習日誌の表紙、pp.1-3を下書きして清書する（30分） |
| 6 | 第1回教育実習直前指導 | ■予習内容　実習に向けての準備をする（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 7 | 第1回教育実習事後指導、実習の自己評価 | ■予習内容　お礼状の書き方を確認し作成する（30分）<br>□復習内容　第2回教育実習に向けて再度自己課題を整理する（30分） |
| 8 | 実習報告会の準備、第2回教育実習の準備 | ■予習内容　実習報告会に向けて、学んだことや自己課題を整理する（30分）<br>□復習内容　事前訪問書類を作成する、第2回教育実習先に電話依頼をする（30分） |
| 9 | 第1回教育実習グループ内報告会 | ■予習内容　実習報告会に向けて、発表することをまとめる（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 10 | 実習の目標と自己課題の設定 | ■予習内容　参考書（パーフェクトガイド）pp.18-19を熟読し、整理する（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |

《専門科目》

| 科目名 | 教育実習 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 4単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・通年　（前期） |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
【幼稚園教諭必修】1年次における学修を通して身に付けた知識・技能を活用して、総合的に実践する体験的な学習を行う。第1回教育実習及び第2回教育実習を PDCA の連続的な転回とし、総合的な実践力を育成する。事前指導では、教育実習生としての自覚を持ち、教育活動に参画する意識を高める。教育実習生として、観察実習、参加実習、責任実習を体験する。事後指導では、実習の体験から成果と課題を省察する。

**《授業の到達目標》**
1．実習生としての役割を果たし、積極的に質問をし、意欲的に学ぶことができる。2．子どもと積極的にかかわり、子どもの人権・人格を尊重して実習を行うことができる。3．幼稚園の機能・教師の役割について理解し、進んで協力し自分の役割を果たすことができる。4．実習を振り返って自己評価を行い、今後の自己課題を具体的に見出すことができる。

**《成績評価の方法》**
実技(実習園評価)　60%
授業の取組(事前事後指導提出物等)　40%

**《教科書》**
『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』
小櫃智子（編）　わかば社
『幼稚園教育要領解説』文部科学省　フレーベル館

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
教育実習日誌の返却については、全員提出後に評価し、第1回分は第2回教育実習直前指導の時間に、第2回分は教育実習指導Ⅱの第15回で返却する。

**《成績評価基準》**
1.実習生としての役割を果たし、積極的に質問をし意欲的に学ぶことができたか。2.子どもと積極的にかかわり、子どもの人権・人格を尊重して実習を行うことができたか。3.幼稚園の機能・教師の役割について理解し、進んで協力し自分の役割を果たすことができたか。4.実習を振り返って自己評価を行い、今後の自己課題を具体的に見出すことができたか。

**《参考図書》**
各授業の教科書

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | ■第1回教育実習<br>直前指導 | ○実習前の予習内容（5時間）　事前オリエンテーションにおいて、実習園の先生からの事前指導を把握し、実習園の教育・指導方針を理解する。 |
| 2 | 第1回教育実習　10日間<br>自己課題を設定する | ○実習前の予習内容（5時間）<br>事前指導を踏まえ、指導計画の立案、ピアノの練習、教材準備等を行う。 |
| 3 | 第1週 ： 園の一日の流れを理解する | ○実習前の復習内容（2時間）<br>事前の依頼訪問時及び実習前オリエンテーション訪問で受けた指導内容を整理する。 |
| 4 | 第1週 ： 園児の園での生活を観察する | ○実習中の予習内容（毎日2時間）　毎日、日々の自己課題（個別課題）を設定し、指導計画の立案、ピアノの練習、教材準備等を行う。 |
| 5 | 第2週：指導計画の作成 | ○実習中の復習内容　(毎日2時間)<br>毎日の実習終了後に実習日誌に記録を記入し、実習内容を振り返る |
| 6 | 第2週：部分保育や設定保育を担当する。 | ○実習後の予習内容　(毎日2時間)<br>実習日誌を整理する。自己課題等のワークシートを整理する。 |
| 7 | 第1回教育実習事後指導 | ○実習後の復習内容　次の実習や就職に向け、自分に不足している専門的知識や保育技術について把握し自主的に学んでいく |
| 8 | ■第2回教育実習<br>直前指導 | ○実習前の予習内容（5時間）　事前オリエンテーションにおいて、実習園の先生からの事前指導を把握し、実習園の教育・指導方針を理解し、課題・教材等の準備する。 |
| 9 | 第2回教育実習　10日間<br>自己課題を設定する | ○実習前の復習内容（2時間）<br>事前の依頼訪問時及び実習前オリエンテーション訪問で受けた指導内容を整理する |
| 10 | 第1週 ： 幼稚園の機能と教師の役割を理解する | ○実習中の予習内容（毎日2時間）　毎日、日々の自己課題（個別課題）を設定し、指導計画の立案、ピアノの練習、教材準備等を行う。 |
| 11 | 第1週 :第1回教育実習の反省を踏まえて実習する | ○実習中の復習内容　(毎日2時間)<br>毎日の実習終了後に実習日誌に記録を記入し、実習内容を振り返る |
| 12 | 第2週 ： 積極的に質問をし意欲的に学ぶ。 | ○実習後の予習内容　(毎日2時間)<br>実習日誌を整理する。自己課題等のワークシートを整理する。 |
| 13 | 第2週 ： 導入・展開の技術を身につける。 | ○実習後の復習内容　次の実習や就職に向け、自分に不足している専門的知識や保育技術について把握し自主的に学んでいく。 |
| 14 | 第2回教育実習事後指導 | ○実習後の予習内容　教育実習報告会に向けて準備する。 |
| 15 | 教育実習報告会に向けて学びを整理する。 | ○実習後の復習内容　教育実習報告会でのプレゼンテーションを通して、あらためて気　づいた課題について整理する。 |

《専門科目》

| 科目名 | 卒業研究 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子、平山　隆浩、吉原　美南子、溝上　敦子、和田　紘平、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 2年・通年　（前期） |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ○　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。<br>◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
各教員の専門性に関連する内容の中で、それぞれが研究テーマを設定し、1年を通して応用的、探索的に研究を行う。
14回目には卒業研究中間報告会を開催し、各ゼミにおける取り組みを発表する。

**《授業の到達目標》**
1．保育者としての専門的知識と基礎スキルを、ゼミナール形式の演習を通して身につける
2．自ら課題を設定し、主体的に学び、テーマについて探求することができる
3．ゼミ活動を通して、保育者として求められる他者との協働性や協調性を身につける

**《成績評価の方法》**
筆記試験　%　レポート　%
課題　70%　実技　%
授業の取組　30%
その他（　　）　%

**《教科書》**
ゼミごとに指定する

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
ゼミごとに指定する

**《成績評価基準》**
・保育者としての専門的知識と基礎スキルを身につけることができたか。
・自ら設定した課題について主体的に学び、テーマについて探求したか。
・ゼミ活動を通して、保育者として求められる他者との協働性や協調性を身につけることができたか。

**《参考図書》**
ゼミごとに指定する

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 卒業研究とは | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 2 | 研究テーマの設定 | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 3 | 研究テーマプレゼンテーション | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 4 | テーマに基づいた研究① | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 5 | テーマに基づいた研究② | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 6 | テーマに基づいた研究③ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 7 | テーマに基づいた研究④ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 8 | テーマに基づいた研究⑤ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 9 | テーマに基づいた研究⑥ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 10 | テーマに基づいた研究⑦ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 11 | 中間のまとめ① | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 12 | 中間のまとめ② | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 13 | 卒業研究中間報告会準備 | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 14 | 卒業研究中間報告会 | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 15 | 前期のまとめ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |

《専門科目》

| 科目名 | 教育実習指導Ⅱ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 平山　隆浩、溝上　敦子、辻　優子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・通年　（後期） |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎　1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

**《授業の概要》**
【幼稚園教諭必修】
教育実習に係る事前指導と事後指導を行う。
実習終了後は、PDCAサイクルシートを活用し自己課題を明確にする。また、1・2年生合同でグループワーク形態の実習報告会を行い、学びの共有化を図る。
授業と実習の経験を総合的に省察し、就職後の自分をイメージして幼児教育の学びを確かなものにする。

**《授業の到達目標》**
1.教育実習の意義や目的を理解し、実習の自己課題を具体的に述べることができる。 2.実習に関する手続きや書類作成など、準備を確実に遂行することができる。3.実習終了後、自己課題の評価を的確に行い、成果と課題を報告会で報告することができる。4.実習後自らの実習を総合的に点検し、省察して自己課題を整理し具体的に述べることができる。

**《成績評価の方法》**
レポート　30%
課題　50%
授業の取組　20%

**《教科書》**
『新訂　知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』　石橋裕子・林幸範（編）　同文書院

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
実習の手続きに関する書類は回収し、添削して適宜指導を行う。課題やレポートについては、第1回及び第2回教育実習報告会終了後に評価して返却する。

**《成績評価基準》**
1.教育実習の意義や目的を理解し、実習の自己課題を具体的に述べることができたか。 2.実習に関する手続きや書類作成など、準備を確実に遂行することができたか。3.実習終了後、自己課題の評価を的確に行い、成果と課題を報告会で報告することができたか。4.実習後自らの実習を総合的に点検し、省察して自己課題を整理し具体的に述べることができたか。

**《参考図書》**
『幼稚園教育要領解説』文部科学省　フレーベル館
『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』小櫃智子（編）わかば社

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 第2回教育実習直前指導 | ■予習内容　実習に向けての準備をする（30分）<br>□復習内容　授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる（30分） |
| 2 | 第2回教育実習事後指導 | ■予習内容　お礼状を作成する（30分）<br>□復習内容　20日間の実習を終えて、実習で学んだことを整理する（30分） |
| 3 | 教育実習報告会準備 | ■予習内容　実習報告に向けて、報告したい内容を整理する（30分）<br>□復習内容　1年生からの事前質問の回答を準備する（30分） |
| 4 | 1・2年生合同教育実習報告会 | ■予習内容　報告会で報告する内容、紹介物（日誌、教材等）を準備する（30分）<br>□復習内容　報告会の内容を省察し、整理する（30分） |
| 5 | 就職に向けての自己課題 | ■予習内容　保育者になる上での今後の自己課題を考える（30分）<br>□復習内容　授業、実習を経験して、学んだことや自己課題を整理する（30分） |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |

《専門科目》

| 科目名 | 卒業研究 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 冨永　明子、平山　隆浩、吉原　美南子、溝上　敦子、和田　紘平、髙丘　有季乃 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 2年・通年　（後期） |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ○　1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。<br>◎　1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。 | | | | |

**《授業の概要》**
各教員の専門性に関連する内容の中で、それぞれが研究テーマを設定し、1年を通して応用的、探索的に研究を行う。
後期には、研究テーマを確定し、15回終了後には卒業研究発表会を開催し、各ゼミにおける取り組みを発表する。

**《授業の到達目標》**
1．保育者としての専門的知識と基礎スキルを、ゼミナール形式の演習を通して身につける
2．自ら課題を設定し、主体的に学び、テーマについて探求することができる
3．ゼミ活動を通して、保育者として求められる他者との協働性や協調性を身につける

**《成績評価の方法》**
筆記試験　%　レポート　%
課題　70%　実技　%
授業の取組　30%
その他（　　）　%

**《教科書》**
ゼミごとに指定する

**《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》**
ゼミごとに指定する

**《成績評価基準》**
・保育者としての専門的知識と基礎スキルを身につけることができたか。
・自ら設定した課題について主体的に学び、テーマについて探求したか。
・ゼミ活動を通して、保育者として求められる他者との協働性や協調性を身につけることができたか。

**《参考図書》**
ゼミごとに指定する

**《授業計画》**

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|---|---|---|
| 1 | 研究テーマの再考 | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 2 | テーマに基づいた研究① | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 3 | テーマに基づいた研究② | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 4 | テーマに基づいた研究③ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 5 | テーマに基づいた研究④ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 6 | テーマに基づいた研究⑤ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 7 | テーマに基づいた研究⑥ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 8 | テーマに基づいた研究⑦ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 9 | テーマに基づいた研究⑧ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 10 | 研究のまとめ① | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 11 | 研究のまとめ② | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 12 | 研究のまとめ③ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 13 | 卒業研究発表会準備 | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 14 | 卒業研究発表会リハーサル | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |
| 15 | 1年間のゼミ活動のまとめ | ゼミごとに指定された課題を行う（予習：2時間、復習：2時間） |